

安曇野市文化振興計画 中間評価書

平成 28 年 3 月

安曇野市

## 目次

1	はじめに	1
2	評価の方法	1
3	中間評価	1
(1)	全体評価	1
(2)	施策評価	2
4	資料	11
(1)	市民アンケート	11
(2)	団体アンケート	59
(3)	施策評価シート	100

## 1 経過

文化芸術は、私たちに喜びや感動、心のやすらぎをもたらし、人生に潤いを与えてくれるものです。また、豊かな感性や創造性を育み、人間形成に資するものでもあります。

安曇野市では、心豊かな市民生活が実現できるよう、そして安曇野市の活力と魅力が高まるよう、平成 23 年度に「安曇野市文化振興計画」を策定し、今後の安曇野市の文化芸術を振興するうえでの目標とその実現に向けた取り組みの方向性を明らかにしました。

計画は、平成 29 年度を目標年度としており、中間での評価、特に実施目標を短期に設定した事業の評価が必要となっています。そこで、計画期間の半分が経過した平成 27 年度に中間評価を実施し、本評価書をまとめました。

## 2 評価の方法

計画書では、「市は責務として、文化振興に関する情報を収集し、多様な主体と連携調整しながら、文化芸術振興施策を総合的かつ計画的に推進」することとなっています。また、「進捗状況について検証及び評価する機会を設け、「アンケートやモニタリングなど様々な方法を活用することで広く市民の意向を把握、集約、検討し、主役である市民の声が反映できるように努めます」としています。

中間評価にあたり、基礎資料を得るため、平成 27 年 10 月から 11 月に市民アンケート及び団体アンケートを実施し、また、施策評価シートにより市内各課の取り組み状況を把握しました。

これらに基づき、教育委員会教育部文化課が中間評価をまとめました。

## 3 中間評価

### (1) 全体評価

「安曇野市文化振興計画」では、「学ぶ心が育ち 文化のかおるまちをつくります」の基本理念のもと、12 の施策と 45 の具体的な取り組みを掲げ、それぞれに実施目標を設定しています。

具体的な取り組みについては、施策評価の項で示すように、全てに何らかの形で着手しています。特に図書館・交流学习センター・美術館・公民館などの施設整備については、市民アンケートでも高い満足度が得られています。

一方、情報発信、人材の育成、文化芸術の活用などいわゆるソフト面は、市民アンケートの満足度が芳しくありません。施策に基づき多くの取り組みがなされているのですが、「関心のある催し物、活動がない」「情報が少ない」という声が多く聞かれたように、市民に十分に伝わっていなかった面があります。また、市民が主役になっていなかった事業もあったかもしれません。より魅力的な事業を展開するとともに、発信の方法についても見直しが必要です。

文化芸術施策は、画一的な指標、一律の価値基準で評価することが難しい側面を持っています。掲げられた施策、具体的な取り組みについては概ね実施されていましたが、このことをもって達成とするのではなく、今後、さらに長期的かつ継続的に取り組んでいくこと、より良い取り組みを探り実践していくことが必要となります。

市民アンケートでは、「文化振興計画」の認知度が低いという結果も表れました。計画の進行管理も十分に機能していなかった面があります。市は、多様な主体が情報交換や相互に連携を図ることができるよう、環境づくりにより一層努めていく必要があります。

(2) 施策評価

施策番号	施策	具体的な取組	内容	実施目標		評価
				短期	中長期	
1101	自然環境の保全	自然との共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「水の恵み」について学ぶ機会を設けます。また、市民と協働で、その保全に取り組みます。</li> <li>・自然と触れ合い親しむ中で自然を大切にす意識を醸成します。</li> <li>・自然と調和したまちづくりを進めます。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館・博物館等で多様な学ぶ機会を設けている。これら事業を通じて意識の醸成にも努めている。</li> <li>・概ね実施されている。長期的かつ継続的に取り組んでいくことが必要。</li> <li>・学習の拠点と期待される博物館の体制づくりが課題。</li> </ul>
1201	文化的景観の保全	文化的景観の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道祖神や文化財を活かした良好な景観づくり、まちづくりを進めます。</li> <li>・田園や里山、さらに堰や屋敷林などを「景観モデル地区」あるいは「文化的景観」として選定し保護していくことを目指します。</li> <li>・景観をつくる樹木や植生などの保存整備に努めます。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画、景観条例を整備し文化的景観の保全に取り組んでいる。</li> <li>・「文化のかおるまち」という言葉から、「美しい文化的景観をもったまち」をイメージする市民が多い。市民アンケートでは、「文化的景観を活かしたまちづくり」について 5割強が満足・やや満足と回答している。</li> <li>・「景観モデル地区」、「文化的景観」の選定・保護までには至っていない。関係する部署が連携し、安曇野らしい景観の整備について研究していくことが必要。</li> <li>・概ね実施されている。長期的かつ継続的に取り組んでいくことが必要。</li> </ul>
2101	先人・文化人の顕彰	先人の顕彰	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各方面からの情報収集に努め、「安曇野市ゆかりの先人たち」のデータベースを充実します。</li> <li>・先人たちの営みから、明るい安曇野、豊かな未来を創造する指針を得、まちづくりに活かします。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「安曇野市ゆかりの先人たち」データベースを整備し、活用を図っている。</li> <li>・公民館・博物館の講座や展覧会等を通じて先人の顕彰を図っている。</li> <li>・市民アンケートでは、興味がない・わからないとの回答が約 3割ある。市民に関心を持っていただけるよう発信(活用)していくことが必要。</li> <li>・概ね実施されているが、さらに先人を発掘し顕彰することが必要。</li> </ul>
2102		資料・作品の計画的な収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の先人たちが遺した資料・作品を計画的に収集・保存し、活用を図ります。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館や博物館で資料の収集に努めている。</li> <li>・美術資料については収集基準を設け、選定委員会を組織した。</li> <li>・今後も計画的に収集を進めるとともに、収集した資料の活用に努めなければならない。</li> </ul>

施策 番号	施策	具体的な取組	内容	実施目標		評価
				短期	中長期	
2201	地域文化の継承	地域文化の理解と尊重	・市内それぞれの地域で守り伝えられてきた多様な文化について知る機会を設けます。また、多様な文化を尊重する意識を醸成します。	○	○	・安曇野検定や講座、展覧会等により多様な文化について学ぶ機会を設けた。 ・概ね実施されている。継続して取り組んでいくことが必要。
2202		伝統文化の継承	・衣食住などの伝統文化、安曇野の風土に根ざした暮らしの知恵を大事にし、その継承を図ります。	○	○	・講座や展覧会で、学ぶ機会を設けている。 ・「文化のかおるまち」という言葉から、「歴史があり伝統文化が受け継がれているまち」をイメージする市民が多い。 ・概ね実施されている。長期的かつ継続的に取り組むことが必要。継承について効果的な取り組みを研究する必要がある。
2203		郷土芸能の保存・継承	・郷土芸能や祭礼行事の伝承活動を地域全体で支援します。また、広く市民が郷土芸能にふれる機会を設けます。	○	○	・講座や展覧会で、発表する機会や学ぶ機会を設けている。 ・保存・継承のための補助金を交付している。 ・育成・支援のために継続して取り組んでいくことが必要。
2204		世代間の交流と文化の継承	・伝統的な祭りや催しを通じて、そこに暮らす子どもから高齢者まで様々な世代の地域住民が交流を深めることにより、文化の継承並びに元気で活力ある地域社会の創造を目指します。	○	○	・保存・継承及び交流が図れるよう補助金を交付し支援した。 ・さらに交流機会を設け、活力ある地域社会の創造に高めていくことが必要。
3101	文化芸術施設の整備・充実	豊科近代美術館の整備	・豊科近代美術館に市所有の美術資料を集約し、安曇野市の基幹美術館とします。 ・基幹美術館にふさわしい名称に変更するとともに、展示環境や収蔵環境などを整備し、活動を充実させます。	○		・基幹美術館にふさわしい展示環境や収蔵環境などを整備した。 ・市民アンケートでは、「美術館、博物館の整備」について満足・やや満足が約6割を占めた。 ・名称変更は、今後、他施設と調整のうえ行うこととしている。 ・施設が概ね整備されたことから、今後はソフト面の充実を図る必要がある。

施策番号	施策	具体的な取組	内容	実施目標		評価
				短期	中長期	
3102	文化芸術施設の整備・充実	新市立博物館構想の具体化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊科郷土博物館や各地域の郷土資料館等の事業を引き継ぎ、郷土の情報センター・学習センターとなるべき新市立博物館について、構想の具体化を目指します。</li> <li>・新市立博物館構想の準備として、既存施設を利用し、歴史文書や民俗資料、出土遺物等の整理保管機能をもった施設を設置し、資料の調査研究、収集活動を進めます。</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館の附属施設として文化財資料センターを設置した。</li> <li>・「安曇野市新市立博物館構想」を策定し、施設の再編整理と新市立博物館構想の方向性、新市立博物館が目指す姿、事業・活動構想、施設構想、管理運営構想を示した。</li> <li>・構想の実現に向け、体制及び準備室の活動を充実させる必要がある。</li> </ul>
3103		郷土資料館の統廃合と有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土資料館の統廃合を進め、一部は収蔵施設に転換します。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「郷土資料館等の統廃合と今後の運営方針について」を策定し、閉館、収蔵施設への転換等を進めた。</li> </ul>
3104		公民館の整備充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術活動の身近な拠点である公民館の整備充実を図り、市民の活動を積極的に支援していきます。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明科公民館の新築、穂高公民館、豊科公民館の大規模改修を行った。さらに堀金公民館、三郷公民館の整備を進めている。</li> <li>・市民アンケートでは、「公民館の整備」について、満足・やや満足が約6割を占めた。また、団体アンケートでも施設に対する不満が少なかった。</li> <li>・施設が概ね整備されたことから、今後はソフト面の充実を図る必要がある。</li> </ul>
3105		交流学习センターの整備充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が集い、交流を深め、学ぶ場として、図書館を核とした交流学习センターの整備充実を図ります。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明科、穂高、豊科地域の整備が済み、堀金、三郷地域の整備を進めている。</li> <li>・市民アンケートでは、図書館や交流学习センターの整備について、満足・やや満足が約7割を占めた。</li> <li>・施設が概ね整備されることから、今後はソフト面の充実を図る必要がある。</li> </ul>
3106		図書館の整備充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域文化に関する市民の自主的な学習活動を支援するため、図書館及びその資料の整備充実を図ります。</li> </ul>	○	○	
3107		市民文化ホールの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が舞台や音楽活動に親しみ、各種催し等にも対応できる、適正な規模の市民文化ホールの整備を目指します。</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流学习センターに200席規模の多目的ホールを整備した。また、豊科公民館ホール(700席)を改修した。</li> <li>・市民アンケートでは、ホールやギャラリーについて、芸術鑑賞の場としても活動の発表場所としても、ともに半数が不満・やや不満と回答し、一部に大ホールを望む声もあった。一方、団体アンケート(音楽・芸能分野)では、松本市内施設の利用も認められるものの、不満は少なかった。長期的には、適正規模についての再検討が必要。</li> </ul>

施策 番号	施策	具体的な取組	内容	実施目標		評価
				短期	中長期	
3108	文化芸術施設の整備・充実	ユニバーサルデザインに基づく施設整備	・ユニバーサルデザインに基づいた施設整備を進め、誰もが芸術文化に親しめる環境を整備します。	○	○	・文化芸術施設のトイレ洋式化、エレベーター設置を進めた。 ・古い施設では、効果的な整備が難しいという課題がある。
3201	文化芸術施設の運営	運営方法の見直し	・施設利用者のニーズにあった柔軟で効率的な施設運営に努めます。 ・市民特に子どもたちが地域の芸術文化に親しむことができるよう、施設の入館料(利用料)を見直します。 ・直営及び指定管理が混在している管理運営方法について、それぞれの効果を検証し、より効果的な方法に改めます。	○	○	・無料開放、臨時開館、夜間開館など柔軟な施設運営に努めている。 ・中学生以下及び市内在住 70 歳以上の入館を無料にした。 ・指定管理の導入あるいは直営化など、施設ごとに、より効果的な運営となるよう管理運営を改めた。 ・入館料については、市民アンケートで「知っている」と答えた市民が約 2 割と認知度が低い。さらなる広報が必要。
3202		特色ある事業運営	・市民の多様なニーズに沿い、各施設の個性や特徴を活かした魅力ある事業運営に努めます(別表:博物館・資料館の活動理念)。また、市民参画を促し協働で事業を展開します。	○	○	・各館でそれぞれの個性や特徴を活かした展覧会や講座を開設し、団体や事業者と連携(協働)した取組みも進められている。 ・市民アンケートでは、それぞれの館を 1 度も利用していないと回答した市民が約 7 割を占めている。また、「特色ある事業運営」については、半数近くが不満、やや不満と回答している。より魅力的な事業運営に改める必要がある。
3203		館外活動の充実	・市民にとってより身近な文化施設となるよう館外活動(アウトリーチ活動)を積極的に展開します。	○	○	・学校や大勢の市民が集う交流学习センターに出向いての活動を行っている。 ・学校との連携を深めるなど、今後、さらに充実させる必要がある。
3204		施設間の連携強化	・施設相互の情報交換を密にし連携を強めます。また、民間文化芸術施設と連携し、協働の取り組みを推進します。	○	○	・安曇野アートライン推進協議会や、安曇野市美術館博物館連携事業実行委員会等で諸事業を実施している。 ・より効果的な事業展開となるよう工夫が必要。

施策 番号	施策	具体的な取組	内容	実施目標		評価
				短期	中長期	
3301	文化芸術活動の推進	芸術鑑賞機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が身近な場所で良質な文化芸術に親しみ、喜びや感動を味わうとともに感性を磨き創造意欲を高めていくことができるよう、優れた作品を鑑賞できる機会の充実に努めます。</li> <li>・多様な文化芸術にふれることができるよう、音楽、美術、演劇や伝統芸能など様々な文化芸術事業をバランスよく企画実施します。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設で多くの事業を実施している。しかし、市民アンケートで、市民の6割がこの1年間に文化芸術を鑑賞しておらず、その理由として関心のある催し物、活動がないことをあげている。また、芸術鑑賞機会について5割強、文化情報の入手については6割が、不満・やや不満と回答している。市民ニーズを把握したうえでの企画、広報の充実(方法の改善)が求められる。</li> <li>・市民アンケートでは、「事業(イベント)への参加度」が低水準だった。交流学习センター事業など、新しい事業で定員が限られていたこともあるが、今後高めていく努力が必要である。</li> <li>・概ね実施されているが、市民満足度を高めることが必要。</li> </ul>
3302		市民活動の育成支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民がライフステージにあわせて幅広く文化活動に参加し、日々の生活を充実させ、楽しむことができるように、身近な地域に文化芸術活動に参加できる場と機会が設けられるよう支援します。</li> <li>・文化祭や音楽祭、市民芸術祭などを開催し、市民に発表の機会を提供します。</li> <li>・市民と協働で、「信州安曇野薪能」「早春賦音楽祭」「童謡まつり」等を開催します。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの施設で発表機会を提供し、また、市民と協働で諸事業を実施している。</li> <li>・活動の発表場所となるホールやギャラリーの充実について、市民アンケートでは半数近くが不満・やや不満と答えている。一方、団体アンケートでは、利用する施設や設備についての不満は2割に満たない。</li> <li>・継続して文化芸術活動を行っている市民は1割強であり、増やす施策が必要。</li> <li>・文化芸術団体の多くが、メンバーの高齢化、新たなメンバーの確保を課題としている。活動が多様化している中、団体との意見交換などを通じて必要な支援を研究していく必要がある。</li> </ul>
4101	文化財の保存と活用	普及・啓発活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財が身近に感じられるよう、標柱の設置や整備を進めるとともに、展示公開や印刷物等で市民にわかりやすく紹介します。</li> <li>・市民とりわけ子どもたちが、学校や地域において、地域の伝統文化や文化財を学習、体験できる機会の充実に図ります。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の標柱・説明板の設置やマップの作成配布を行っている。</li> <li>・市民アンケートにおいて、「文化財の保存・継承」について、3割が興味がない・よくわからないと答えている。博物館・NPO等市民団体と連携をとるなど、学習・体験する機会の充実に図る必要がある。</li> </ul>



施策番号	施策	具体的な取組	内容	実施目標		評価
				短期	中長期	
4102	文化財の保存と活用	有形文化財の保存と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建造物・絵画・工芸品・典籍など歴史的または芸術的な価値を持つ文化的所産の保存・活用に努めます。また、修復が必要なものは計画的に進めます。</li> <li>・建造物や収蔵施設の防災対策を進めます。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有形文化財の公開を行ったり、有形文化財を活用した講座を実施している。</li> <li>・修理方針等の指導を行うとともに、助成を行っている。</li> <li>・長期的かつ継続的に取り組んでいくことが必要。</li> </ul>
4103		無形文化財の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演劇、音楽、工芸技術その他の無形の文化的所産について、継承に努めるとともに、映像等による記録化を図ります。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取材と記録化を進めている。</li> <li>・長期的かつ継続的に取り組んでいくことが必要。また、記録を活用していくことも必要。</li> </ul>
4104		民俗文化財の継承、収集保存と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭礼や民俗芸能、伝統行事や伝統芸能等について、継承に努めるとともに、映像等による記録化を図ります。</li> <li>・暮らしや生業に係る資料について系統的に収集し、その価値をわかりやすく伝えます。</li> <li>・資料館の廃止にあわせ、分散している民俗資料を集約し、整理作業等を行うことのできる施設を整備します。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取材と記録化を進めている。</li> <li>・文化財資料センターを開設し、民俗資料の集約・整理を進めている。</li> <li>・長期的かつ継続的に取り組んでいくことが必要。また、記録を活用していくことも必要。</li> </ul>
4105		記念物の保護と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡・名勝・天然記念物についての調査を行い、保存、整備・活用に努めます。その価値をわかりやすく伝えるとともに、景観の一部として、まちづくりに積極的に活かします。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中房温泉の膠状珪酸および珪華については、保存管理計画を策定し、これに基づき保存、整備、活用を進めている。</li> <li>・史跡等については、博物館・NPO等市民団体と連携をとるなど、学習・体験する機会の充実を図る必要がある。</li> </ul>
4106		埋蔵文化財の保護と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財について、分布図の整備を進めるとともに、調査や出土品の公開を通じて、周知・活用に努めます。また、安曇野の歴史にとって特に貴重な遺跡は、主体的に調査を進めます。</li> <li>・分散している出土資料を集約し、整理作業等を行うことのできる施設を整備します。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財の適正な保全が図られるよう手引書を配布したり研修を行っている。</li> <li>・現地説明会、出土品の展示等を行い、普及啓発に努めている。</li> <li>・概ね実施されている。長期的かつ継続的な取り組みが必要。</li> </ul>

施策番号	施策	具体的な取組	内容	実施目標		評価
				短期	中長期	
4201	書誌資料の保存と活用	古文書の整理・保存	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に伝わる古文書について、所在を確認し目録を作成します。また、古文書学習グループと協働で読み下しを行い、活用を図ります。</li> <li>・個人所有の古文書について保存のための支援を行います。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文書の所在調査を行い、借用できたものについてはデジタル化及び整理作業、目録作成を行っている。</li> <li>・緊急性のあるものについて、保存措置を講じる必要がある。</li> <li>・長期的かつ継続的な取り組みが必要。</li> </ul>
4202		歴史的価値ある行政文書の保存と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史資料として重要な公文書について、一定のルールに基づいて系統的かつ継続的に移管・収集・保存活用される仕組みを整備します。</li> <li>・収集保存並びに調査研究、普及啓発活動を行う文書館機能をもった施設を整備します。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安曇野市公文書等選別収集ガイドラインに沿って、搬入された歴史的な文書等の整理及び配架作業を行った。</li> <li>・手狭で、今後、保管庫の増設が必要となる。</li> </ul>
4203		デジタルアーカイブの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な資料についてデジタル化を進め、資料保存を図るとともに多方面での利活用に供します。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧町村誌編さん時の資料、古文書、写真、映像等のデジタル化を進め、資料保存を図っている。</li> <li>・長期的かつ継続的に取り組んでいくことが必要。また、記録を活用していくことも必要。</li> </ul>
4204		市史(誌)の編さん	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『安曇野市史(誌)』の計画的かつ継続的な刊行を目指し、編さん事業に着手します。</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編纂事業は具体化していないが、近い将来に見込まれる事業に向けて、資料収集・整理を行っている。</li> </ul>
5101	地域文化を支える人材の育成	学校における文化芸術教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが個々にもっている能力を引き出し、感性を磨き、創造性豊かな人間形成がなされるように、文化芸術の鑑賞・創作体験の機会を提供します。</li> <li>・大学生による中学生の楽器演奏指導事業、能楽教室、放課後子ども教室、美術館・博物館等の講座などで、子どもたちが様々な文化芸術を体験できるようプログラムを提供します。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内においては能楽教室や学校ミュージアムなど、校外においては藝大交流事業や早春賦音楽祭、中高美術展など、多様な機会を提供している。</li> <li>・学校との連携を深め、さらに効果的な事業展開を図る必要がある。</li> </ul>

施策番号	施策	具体的な取組	内容	実施目標		評価
				短期	中長期	
5102	地域文化を支える人材の育成	芸術家の育成支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術家を育成支援するために、成果発表の場となる展覧会やコンサートなどを継続的に開催します。</li> <li>・山岳写真、自然写真分野の新人発掘を目的に、「田淵行男賞写真作品公募」を定期的に行います。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新進音楽家オーディションや田淵行男賞など、音楽・写真分野の新人発掘を目的とした事業を実施している。</li> <li>・多様な発表機会を設けるなど支援をしている。</li> <li>・芸術家からの意見要望もふまえ、市内で活躍していただけるよう効果的な支援を考えていく必要がある。</li> </ul>
5103		専門的な人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化施設の管理運営、マネジメントにあたる人材、さらに学芸員や司書、社会教育主事など文化芸術に携わる専門的な人材を確保し、市民の文化芸術活動を支えます。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分な配置とは言えない状況がある。市民アンケートでも、支援体制(人材)についての満足度は満足・やや満足合わせて約1割と極めて低い。</li> </ul>
5104		生涯学習リーダーバンクの充実・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習リーダーバンクを充実し、文化芸術に関する登録者の活躍の場を広げ、文化芸術活動に取り組む市民の技術の向上に努めます。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要綱を改正し、更新制度と登録推進期間を設けるなど、充実に努めた。</li> <li>・学びあい、支えあう仕組みづくりについて研究が必要。</li> </ul>
5105		ボランティアの育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化施設において活動を支えるボランティアを育成します。また、そうした人材が活躍できる場を確保します。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館、交流学习センター、美術館等で活動していたが、人数は限られている。</li> <li>・市民アンケートでは、参加意欲がある方は2割強に過ぎない。より大勢の市民が自ら活動し、支えあう仕組みを構築していく必要がある。</li> </ul>
5201	地域文化の創造	協働による地域文化学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土安曇野について、市民と協働で学習を深めます。また、その成果をさまざまな方法で発信します。</li> <li>・図書館や博物館の地域研究資料を充実し、市民の学習を支援します。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設で協働の事業を進めている。</li> <li>・図書館や博物館で、地域研究資料の充実を図っている。</li> <li>・概ね実施されている。長期的かつ継続的に取り組んでいくことが必要。</li> </ul>
5202		文化芸術関連団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民グループをはじめ芸術文化協会、安曇野アートライン推進協議会、安曇野スタイルネットワークなど諸団体と連携・協働して文化芸術活動を推進します。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体と連携・協力して文化芸術活動を推進している。</li> <li>・芸術文化協会は、会員の減少や高齢化などの課題を抱えている。望ましい支援について検討が必要。</li> </ul>

施策 番号	施策	具体的な取組	内容	実施目標		評価
				短期	中長期	
5203	地域文化の創造	支援環境の整備	・企業のメセナ活動など、文化活動を行う主体を地域社会全体が幅広く支援できるよう、望ましい環境の整備に努めます。	○	○	・薪金など、企業の協賛を得て事業を実施している。 ・企業のメセナ活動に対し、必要があれば支援している。 ・望ましい環境について研究し整備をしていくことが必要。
5204		安曇野文化財団構想	・安曇野市の文化振興の一翼を担う組織として、市の外郭団体である財団法人豊科文化財団の(仮)安曇野市文化財団への発展改組並びに自主事業の充実を促します。	○	○	・H24.4、公益法人制度改革にあわせ、公益財団法人安曇野文化財団に移行した。 ・新たに穂高地域の施設を指定管理するなど活動の幅を広げた。
5301	文化資源の発掘と活用	情報の収集と発信	・情報通信技術(ICT)など様々な媒体を活用しながら、文化芸術に関するさまざまな情報の収集と発信に努めます。 ・市が所蔵する文化財や美術品等のデータベースを作成し、公開することを目指します。	○	○	・美術館、博物館で統一したデータベース導入を検討している。 ・市民アンケートでは、「文化情報の入手」について約6割が不満・やや不満と回答しており、情報の収集と発信について改善が必要。
5302		商業、観光との連携	・地域の伝統文化や文化財を活用した観光振興を推進し、文化資源から付加価値を生み出します。 ・文化芸術を高め、地域の活性化につなげます。	○	○	・主に観光と連携した事業が取り組まれている。 ・今後、さらに連携の幅を拡げ、文化芸術を高め、安曇野市の活力と魅力を増していくことが必要。
5303		友好都市、姉妹都市との文化交流の促進	・友好都市や姉妹都市等との文化交流を促進し、異なった文化についての相互理解を深め友好の絆を深めます。また、連携を深め、所蔵する美術作品の相互貸借や共同事業、巡回事業の実施を目指します。	○	○	・友好都市等との交流の中で、文化交流を図っている。 ・美術館や博物館で協働事業、巡回事業の取り組み行われている。 ・交流が限られており、今後、さらに拡大していくことが必要。
5304		多様な文化との交流	・多様な文化施策を図るため、国・長野県・近隣市町村・諸機関・諸団体との連携や交流を深めます。 ・交流機会を通じ、安曇野の文化の再認識と、その魅力の発信に努めます。 ・外国籍市民や旅行者への文化情報の提供や各種事業における交流機会の充実に努め、国際性豊かな市民感覚を育みます。	○	○	・多様な文化との交流が図られているが、さらに拡がりを図る必要がある。

# 文化振興に関するアンケート

## 調査結果報告書

### 【市民対象】

平成 28 年 1 月

安曇野市

## 調査の概要

### 1 調査の目的

安曇野市では、平成23年度に「安曇野市文化振興計画」を策定し、この計画に基づいて文化振興の諸施策を進めております。この計画期間は平成29年度までとなっており、現在、中間での評価、特に実施目標を短期に設定した事業の評価が必要となっております。また、計画の進行管理にあたっては、アンケート等により、文化振興の主役である市民の声が計画に反映できるよう努めることも掲げられています。このような状況を踏まえ、今回、中間評価に必要な基礎資料とするため、市民アンケート調査を実施しました。

### 2 調査設計

- 1) 調査対象 18歳以上の安曇野市民から1,500人を無作為抽出
- 2) 調査方法 郵送により配布、郵送により回収
- 3) 調査期間 平成27年10月2日～10月20日
- 4) 配布数 1,500票
- 5) 回収数 627票
- 6) 回収率 41.8%

### 3 集計上の留意点

1) 回答率(割合(%))は、小数点第2位を四捨五入して、小数点第1位までを表記しました。このため、合計が100%にならない場合があります。

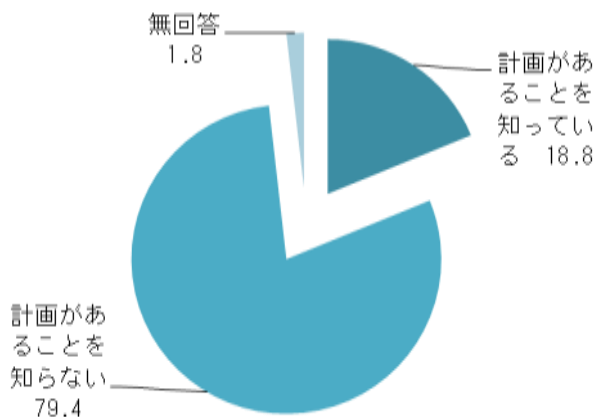
2) 複数回答方式(マルチ回答)の設問では、回答率(割合(%))は回答者総数に対する回答数の割合を示しています。したがって、回答率の合計は100になりません。同様に、回答数の合計は回答者総数とは一致しません。

3) クロス集計は、性別・年齢別・居住地区別・居住年数別・職業別について行い、主なもののみを記載しました。

質問1 あなたは、「安曇野市文化振興計画」をご存知ですか。

	回答数	割合 (%)
計画があることを知っている	118	18.8
計画があることを知らない	498	79.4
無回答	11	1.8
回答者総数 (%ベース)	627	100

安曇野市文化振興計画の認知度  
(総数627、単位%)



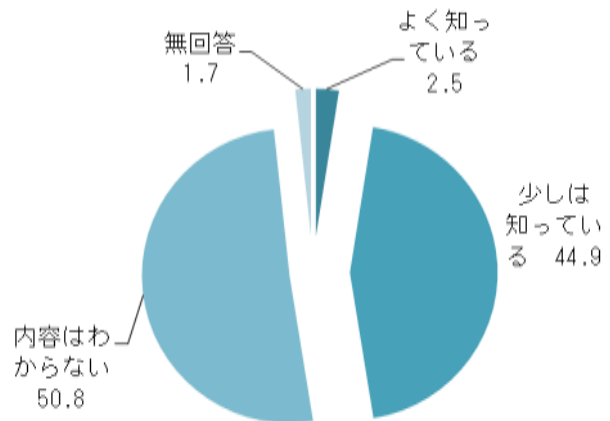
●計画のあることを知らない人が約8割

「安曇野市文化振興計画」について、「計画があることを知っている」が18.8%に対し、「計画があることを知らない」と答えた人は79.4%で、回答者の約8割が知らないと答えています。

質問2 「計画があることを知っている」を選択した方におたずねします。計画の内容をどの程度ご存知ですか。

	回答数	割合 (%)
よく知っている	3	2.5
少しは知っている	53	44.9
内容はわからない	60	50.8
無回答	2	1.7
回答者総数 (%ベース)	118	100

安曇野市文化振興計画の内容の認知度  
(総数118、単位%)



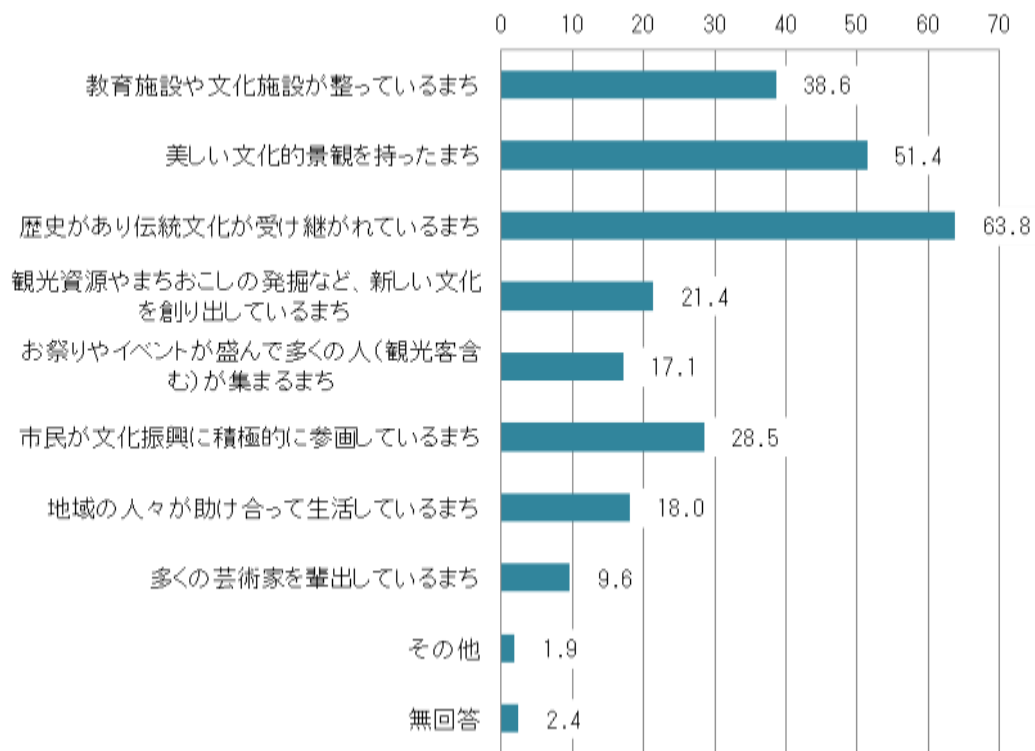
●知っている人の約半数が内容まではわからない

計画の内容について「よく知っている」「少しは知っている」人が合わせて47.4%。これに対し「内容はわからない」と答えた人は50.8%です。知っている人と知らない人が半々となっています。

質問3 「文化のかおるまち」という言葉から、どのようなまちをイメージしますか。

	回答数	割合 (%)
教育施設や文化施設が整っているまち	242	38.6
美しい文化的景観を持ったまち	322	51.4
歴史があり伝統文化が受け継がれているまち	400	63.8
観光資源やまちおこしの発掘など、新しい文化を創り出しているまち	134	21.4
お祭りやイベントが盛んで多くの人（観光客含む）が集まるまち	107	17.1
市民が文化振興に積極的に参画しているまち	179	28.5
地域の人々が助け合って生活しているまち	113	18.0
多くの芸術家を輩出しているまち	60	9.6
その他	12	1.9
無回答	15	2.4
回答者総数 (%ベース)	627	100

「文化のかおるまち」のイメージ(総数627、3つまで複数回答、単位%)



●「文化のかおるまち」のイメージは、歴史と伝統文化を受け継ぎ、美しい文化景観を有するまち

「歴史があり伝統文化が受け継がれているまち」が63.8%で最も多く、次いで「美しい文化的景観を持ったまち」が51.4%、「教育施設や文化施設が整っているまち」が38.6%、「市民が文化振興に積極的に参画しているまち」が28.5%などとなっています。

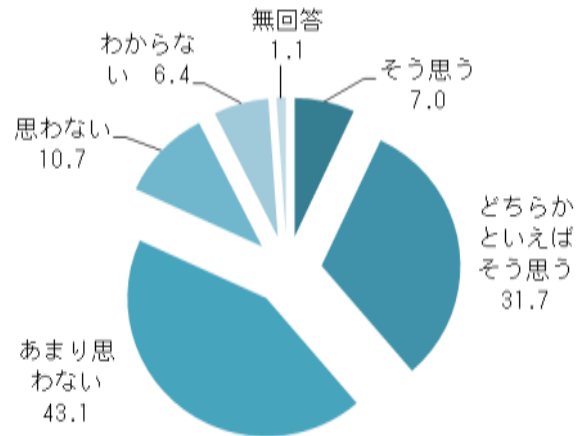
【「その他」の主な記述内容】コンサートや美術展が多く開かれるまち | 文化的なイベント等が頻繁にある | 文化が大いにPRされ、誰もがその共通認識をもてるまち



質問4 あなたは、安曇野市が「文化のかおるまち」だと思いますか。

	回答数	割合 (%)
そう思う	44	7.0
どちらかといえばそう思う	199	31.7
あまり思わない	270	43.1
思わない	67	10.7
わからない	40	6.4
無回答	7	1.1
回答者総数 (%ベース)	627	100

安曇野市が「文化のかおるまち」だと思いますか（総数627、単位%）



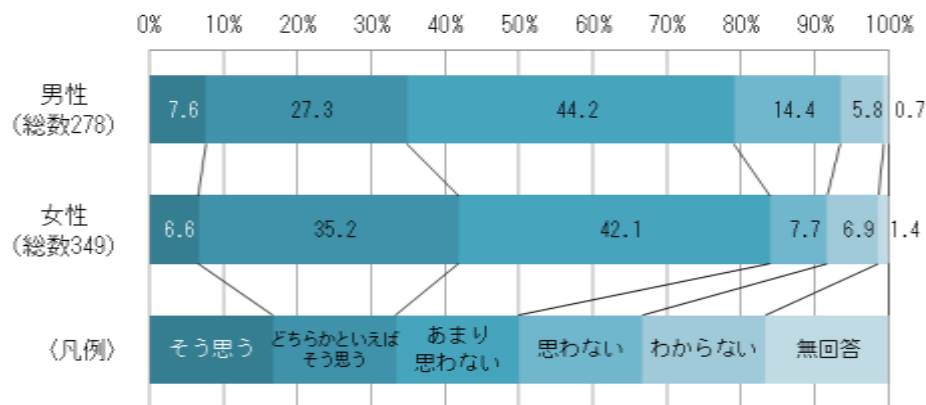
●「あまり思わない」「思わない」が約5割

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が合わせて38.7%であるのに対し、「あまり思わない」「思わない」は合わせて53.8%となっています。

男女別●質問4 あなたは、安曇野市が「文化のかおるまち」だと思いますか。

上段：回答数 下段：割合 (%)	合計	そう思う	どちらかといえばそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	無回答
男性	278 100.0	21 7.6	76 27.3	123 44.2	40 14.4	16 5.8	2 0.7
女性	349 100.0	23 6.6	123 35.2	147 42.1	27 7.7	24 6.9	5 1.4

男女別●あなたは安曇野市が「文化のかおるまち」だと思いますか



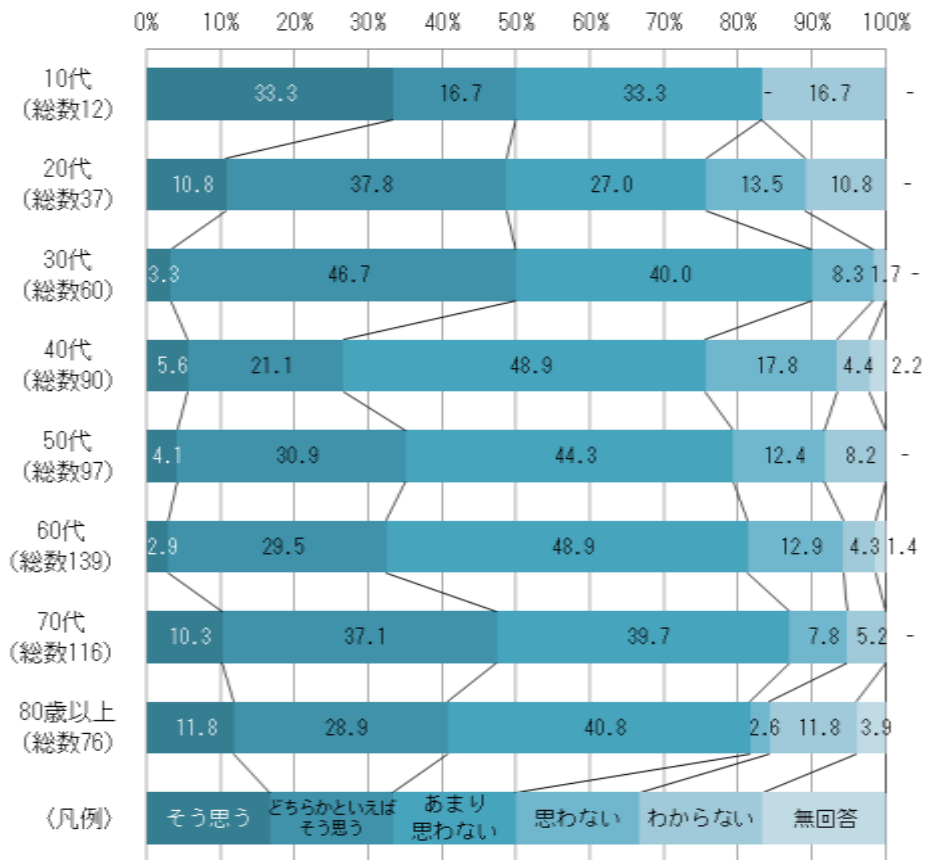
●男性では「あまり思わない」「思わない」が約6割

男女別にみると、男性では「あまり思わない」「思わない」が合わせて58.6%、これに対し女性は「あまり思わない」「思わない」が合わせて49.8%で、男性の方が約9ポイント評価が厳しくなっています。

年代別●質問4 あなたは、安曇野市が「文化のかおるまち」だと思いますか。

上段：回答数 下段：割合（％）	合計	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	あまり思わ ない	思わない	わからない	無回答
10代	12 100.0	4 33.3	2 16.7	4 33.3	- -	2 16.7	- -
20代	37 100.0	4 10.8	14 37.8	10 27.0	5 13.5	4 10.8	- -
30代	60 100.0	2 3.3	28 46.7	24 40.0	5 8.3	1 1.7	- -
40代	90 100.0	5 5.6	19 21.1	44 48.9	16 17.8	4 4.4	2 2.2
50代	97 100.0	4 4.1	30 30.9	43 44.3	12 12.4	8 8.2	- -
60代	139 100.0	4 2.9	41 29.5	68 48.9	18 12.9	6 4.3	2 1.4
70代	116 100.0	12 10.3	43 37.1	46 39.7	9 7.8	6 5.2	- -
80歳以上	76 100.0	9 11.8	22 28.9	31 40.8	2 2.6	9 11.8	3 3.9

年代別●あなたは安曇野市が「文化のかおるまち」だと思いますか



●40～60代で厳しい評価

世代別にみると、10～30代と40～60代とで大きな差がみられます。10～30代では「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が合わせて50%付近で推移しているのに対し、40代では同26.7%、50代では同35.0%、60代では同32.4%と30%前後になっています。特に40代の評価が低く、「あまり思わない」「思わない」では合わせて66.7%に達しています。

居住地域別●質問4 あなたは、安曇野市が「文化のかおるまち」だと思いますか。

上段：回答数 下段：割合（％）	合計	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	あまり思わ ない	思わない	わからない	無回答
豊科地域	190 100.0	6 3.2	62 32.6	82 43.2	24 12.6	14 7.4	2 1.1
穂高地域	205 100.0	22 10.7	65 31.7	82 40.0	21 10.2	13 6.3	2 1.0
三郷地域	121 100.0	6 5.0	33 27.3	58 47.9	16 13.2	6 5.0	2 1.7
堀金地域	57 100.0	8 14.0	22 38.6	23 40.4	2 3.5	2 3.5	-
明科地域	53 100.0	2 3.8	17 32.1	25 47.2	4 7.5	4 7.5	1 1.9
無回答	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-

居住地域別●あなたは安曇野市が「文化のかおるまち」だと思いますか



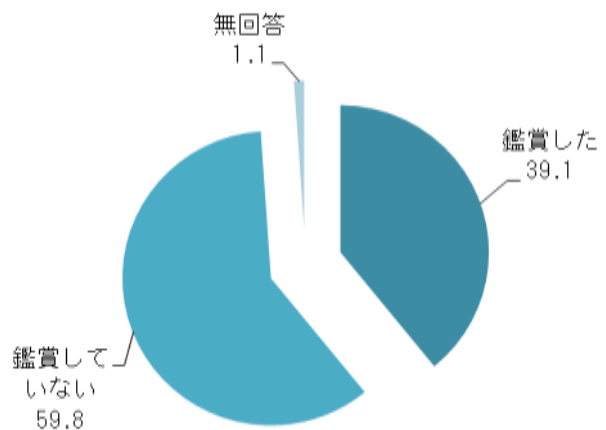
●大きい地域差、「そう思う」「どちらかといえそう思う」が5割を超える地域も

地域差がはっきりみられます。堀金地域で「そう思う」「どちらかといえそう思う」が合わせて52.6%であるのに対し、三郷地域では同32.3%、明科地域では同35.9%、豊科地域では同35.8%、穂高地域では同42.4%となっています。

質問5 この1年間に、コンサートや展覧会に出かけるなど文化芸術を鑑賞しましたか。

	回答数	割合 (%)
鑑賞した	245	39.1
鑑賞していない	375	59.8
無回答	7	1.1
回答者総数 (%ベース)	627	100

この1年間の文化芸術鑑賞の有無  
(総数627、単位%)



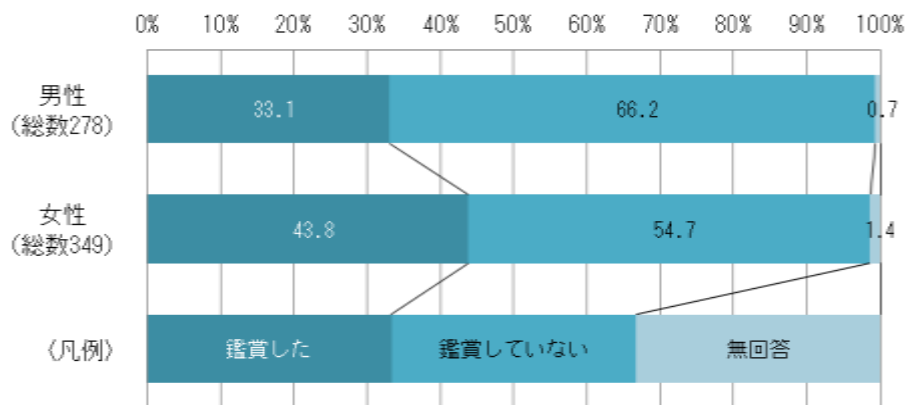
●約6割が鑑賞していない

「鑑賞した」が39.1%、「鑑賞していない」が59.8%となっています。

男女別●質問5 この1年間に、コンサートや展覧会に出かけるなど文化芸術を鑑賞しましたか。

上段：回答数 下段：割合 (%)	合計	鑑賞した	鑑賞していない	無回答
男性	278 100.0	92 33.1	184 66.2	2 0.7
女性	349 100.0	153 43.8	191 54.7	5 1.4

男女別●この1年間の文化芸術鑑賞の有無



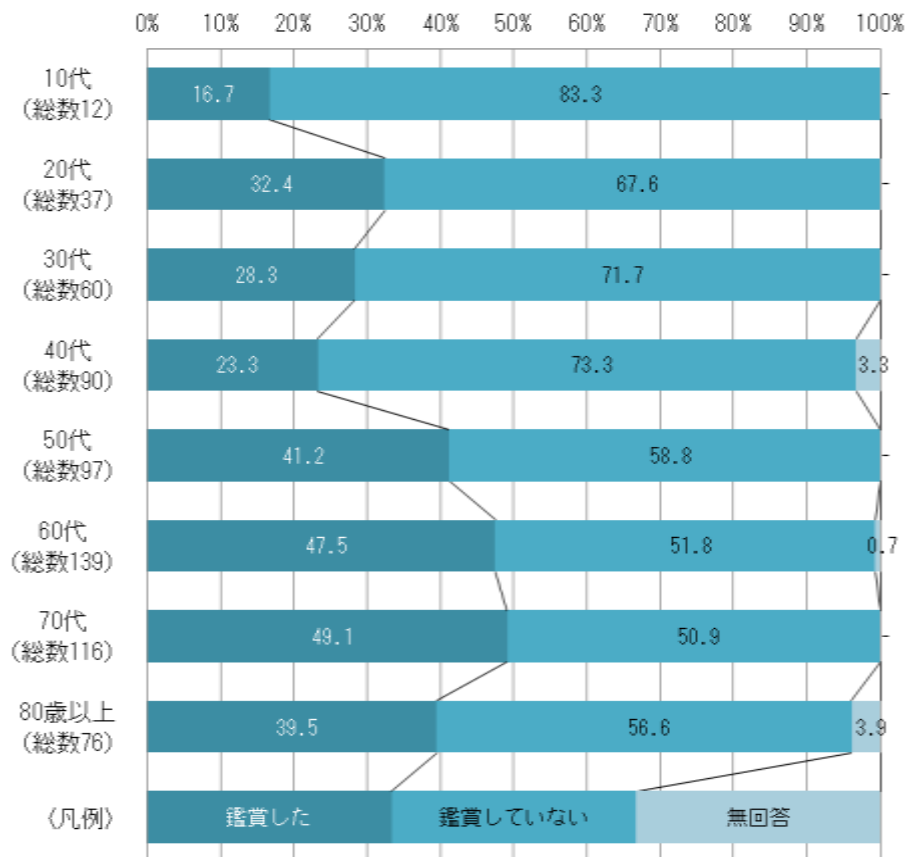
●男女で10ポイントの差

男女別では、「鑑賞した」が男性33.1%に対し、女性43.8%です。男女で10ポイントの差がみられます。

年代別●質問5 この1年間に、コンサートや展覧会に出かけるなど文化芸術を鑑賞しましたか。

上段：回答数 下段：割合（%）	合計	鑑賞した	鑑賞していない	無回答
10代	12 100.0	2 16.7	10 83.3	- -
20代	37 100.0	12 32.4	25 67.6	- -
30代	60 100.0	17 28.3	43 71.7	- -
40代	90 100.0	21 23.3	66 73.3	3 3.3
50代	97 100.0	40 41.2	57 58.8	- -
60代	139 100.0	66 47.5	72 51.8	1 0.7
70代	116 100.0	57 49.1	59 50.9	- -
80歳以上	76 100.0	30 39.5	43 56.6	3 3.9

年代別●この1年間の文化芸術鑑賞の有無



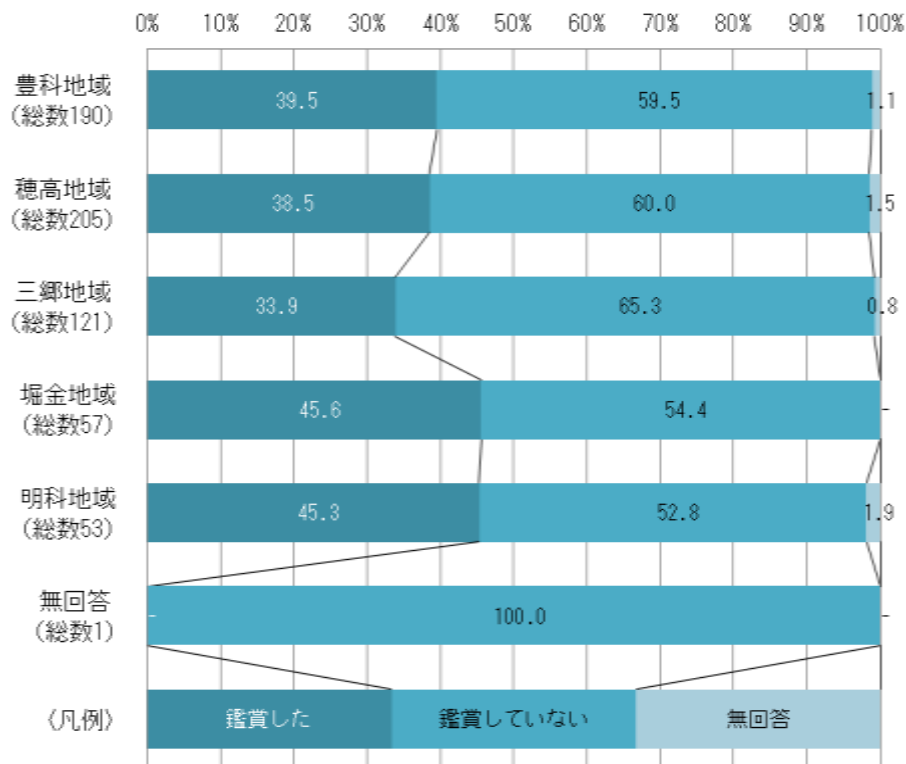
●世代間で鑑賞の有無に大きな差

40代以下と50代以上で大きな差がみられます。40代以下で「鑑賞した」がおおむね30%前後かそれ以下であるのに対し、50代以上ではほぼ40%以上です。このうち、「鑑賞した」が最も低いのは10代の16.7%、最も高いのは70代の49.1%で、その差は30ポイントを超えています。

居住地域別●質問5 この1年間に、コンサートや展覧会に出かけるなど文化芸術を鑑賞しましたか。

上段：回答数 下段：割合(%)	合計	鑑賞した	鑑賞していない	無回答
豊科地域	190 100.0	75 39.5	113 59.5	2 1.1
穂高地域	205 100.0	79 38.5	123 60.0	3 1.5
三郷地域	121 100.0	41 33.9	79 65.3	1 0.8
堀金地域	57 100.0	26 45.6	31 54.4	- -
明科地域	53 100.0	24 45.3	28 52.8	1 1.9
無回答	1 100.0	- -	1 100.0	- -

居住地域別●この1年間の文化芸術鑑賞の有無



●地域で12ポイント近い差

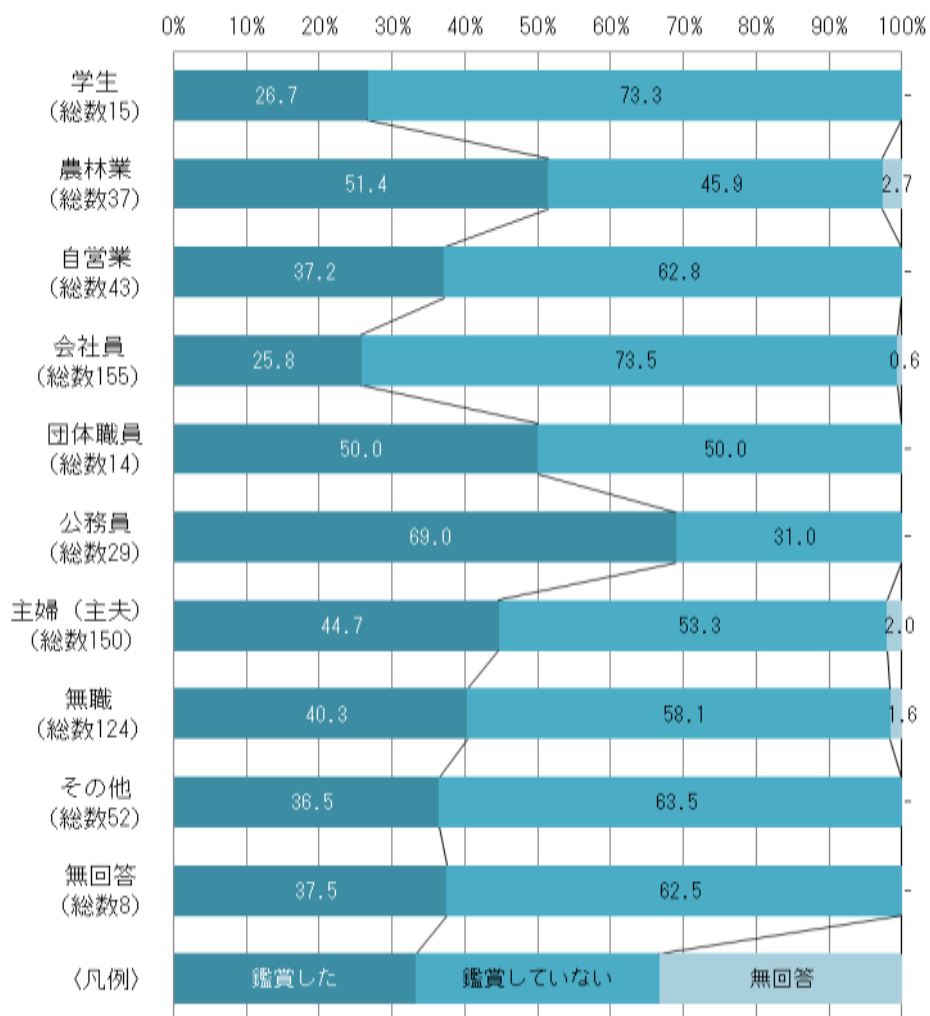
居住地域別では、「鑑賞した」が最も高いのが堀金地域の45.6%で、次いで明科地域45.3%、豊科地域39.5%、穂高地域38.5%、三郷地域33.9%となっています。最も高い堀金地域と最も低い三郷地域では12ポイント近い差がみられます。



職業別●質問5 この1年間に、コンサートや展覧会に出かけるなど文化芸術を鑑賞しましたか。

上段：回答数 下段：割合(%)	合計	鑑賞した	鑑賞していない	無回答
学生	15 100.0	4 26.7	11 73.3	- -
農林業	37 100.0	19 51.4	17 45.9	1 2.7
自営業	43 100.0	16 37.2	27 62.8	- -
会社員	155 100.0	40 25.8	114 73.5	1 0.6
団体職員	14 100.0	7 50.0	7 50.0	- -
公務員	29 100.0	20 69.0	9 31.0	- -
主婦（主夫）	150 100.0	67 44.7	80 53.3	3 2.0
無職	124 100.0	50 40.3	72 58.1	2 1.6
その他	52 100.0	19 36.5	33 63.5	- -
無回答	8 100.0	3 37.5	5 62.5	- -

職業別●この1年間の文化芸術鑑賞の有無



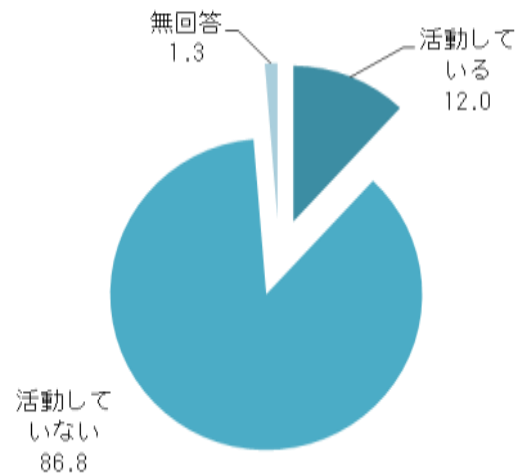
●職業別で鑑賞の有無に大きな差

職業別で大きな差がみられます。「鑑賞した」は、公務員で69.0%と飛び抜けて高く、次いで農林業51.4%、団体職員50.0%など。これに対して低いのは、会社員25.8%、学生26.7%、自営業37.2%などです。

質問6 現在、ご自分で制作したり演じたり、継続的に文化芸術活動を行っていますか。

	回答数	割合 (%)
活動している	75	12.0
活動していない	544	86.8
無回答	8	1.3
回答者総数 (%ベース)	627	100

継続的な文化芸術活動の有無  
(総数627、単位%)



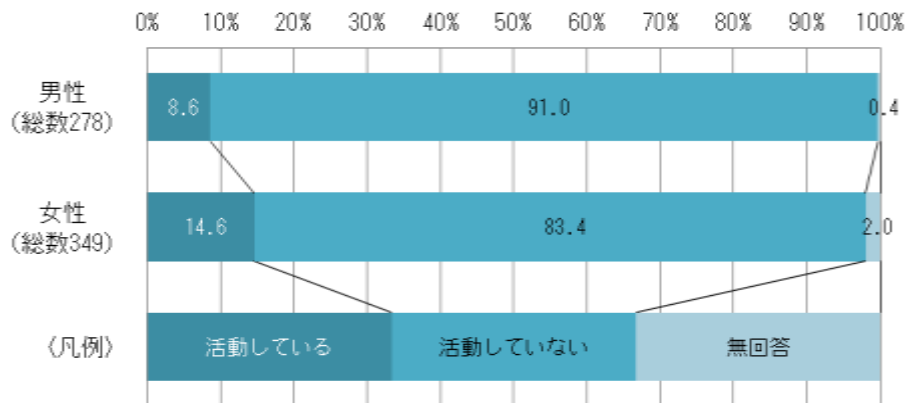
●9割近くが「活動していない」

「活動している」の12.0%に対し、「活動していない」は86.8%です。

男女別●質問6 現在、ご自分で制作したり演じたり、継続的に文化芸術活動を行っていますか。

上段：回答数 下段：割合 (%)	合計	活動している	活動していない	無回答
男性	278 100.0	24 8.6	253 91.0	1 0.4
女性	349 100.0	51 14.6	291 83.4	7 2.0

男女別●継続的な文化芸術活動の有無



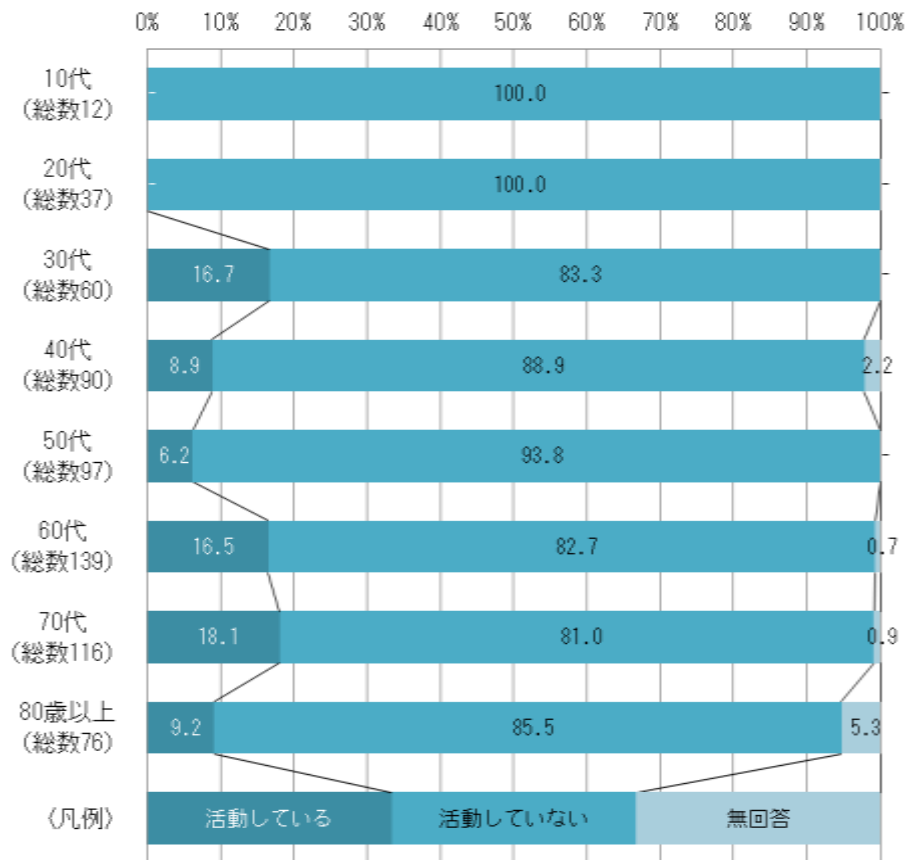
●活動の有無に男女で大きな差

「活動している」が、男性の8.6%に対し、女性では14.6%と、6ポイント上回っています。

年代別●質問6 現在、ご自分で制作したり演じたり、継続的に文化芸術活動を行っていますか。

上段：回答数 下段：割合(%)	合計	活動している	活動していない	無回答
10代	12 100.0	- -	12 100.0	- -
20代	37 100.0	- -	37 100.0	- -
30代	60 100.0	10 16.7	50 83.3	- -
40代	90 100.0	8 8.9	80 88.9	2 2.2
50代	97 100.0	6 6.2	91 93.8	- -
60代	139 100.0	23 16.5	115 82.7	1 0.7
70代	116 100.0	21 18.1	94 81.0	1 0.9
80歳以上	76 100.0	7 9.2	65 85.5	4 5.3
無回答	- -	- -	- -	- -

年代別●継続的な文化芸術活動の有無



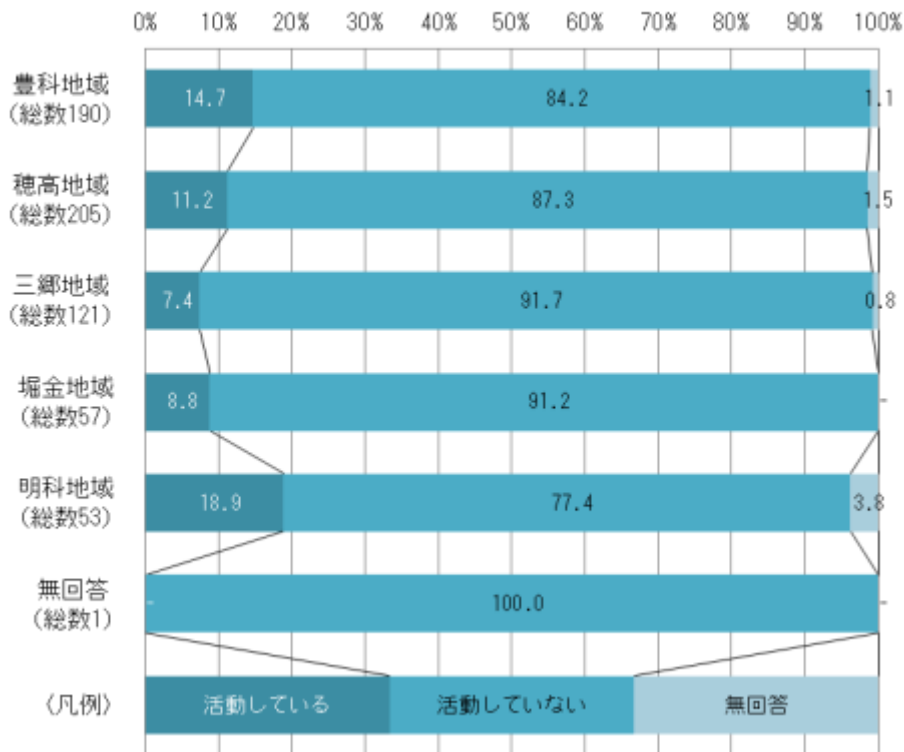
●70代で最も高い活動割合

30代と60～70代が二つのピークとなっています。30代16.7%、60代16.5%、70代18.1%で、70代が最も高い割合を示しています。これに対し、10代、20代では全員が「活動していない」という回答です。

居住地域別●質問6 現在、ご自分で制作したり演じたり、継続的に文化芸術活動を行っていますか。

上段：回答数 下段：割合(%)	合計	活動している	活動していない	無回答
豊科地域	190 100.0	28 14.7	160 84.2	2 1.1
穂高地域	205 100.0	23 11.2	179 87.3	3 1.5
三郷地域	121 100.0	9 7.4	111 91.7	1 0.8
堀金地域	57 100.0	5 8.8	52 91.2	- -
明科地域	53 100.0	10 18.9	41 77.4	2 3.8
無回答	1 100.0	- -	1 100.0	- -

居住地域別●継続的な文化芸術活動の有無

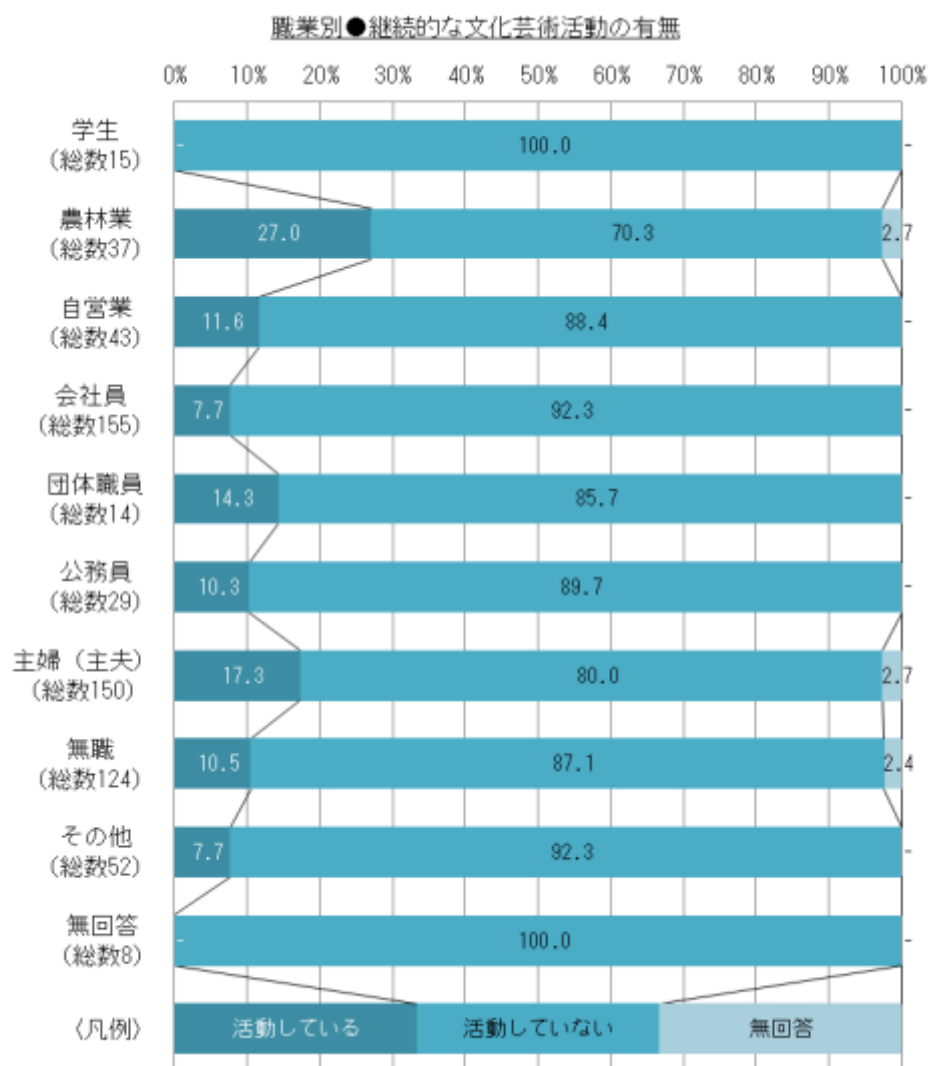


●地域で大きな差

「活動している」人の割合は、明科地域が最も高く18.9%、次いで豊科地域14.7%、穂高地域11.2%、堀金地域8.8%、三郷地域7.4%となっています。最も高い明科地域と最も低い三郷地域では、10ポイント以上の差がみられます。

職業別●質問6 現在、ご自分で制作したり演じたり、継続的に文化芸術活動を行っていますか。

上段：回答数 下段：割合(%)	合計	活動している	活動していない	無回答
学生	15 100.0	- -	15 100.0	- -
農林業	37 100.0	10 27.0	26 70.3	1 2.7
自営業	43 100.0	5 11.6	38 88.4	- -
会社員	155 100.0	12 7.7	143 92.3	- -
団体職員	14 100.0	2 14.3	12 85.7	- -
公務員	29 100.0	3 10.3	26 89.7	- -
主婦（主夫）	150 100.0	26 17.3	120 80.0	4 2.7
無職	124 100.0	13 10.5	108 87.1	3 2.4
その他	52 100.0	4 7.7	48 92.3	- -
無回答	8 100.0	- -	8 100.0	- -



**●職業別で大きな差**

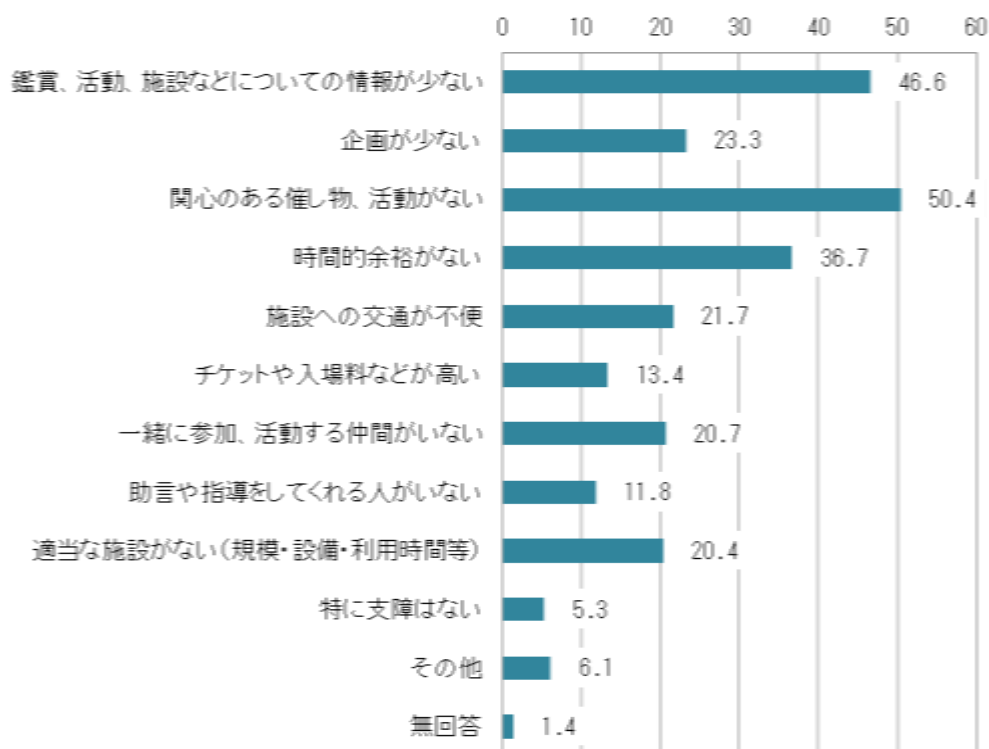
農林業が27.0%で最も高く、次いで主婦（主夫）17.3%、団体職員14.3%などとなっています。最も低い学生0.0%と最も高い農林業では27ポイントの差がみられます。



質問7 現在、市内で芸術文化を鑑賞したり活動を行ううえで、支障となっているものは何ですか。

	回答数	割合 (%)
鑑賞、活動、施設などについての情報が少ない	292	46.6
企画が少ない	146	23.3
関心のある催し物、活動がない	316	50.4
時間的余裕がない	230	36.7
施設への交通が不便	136	21.7
チケットや入場料などが高い	84	13.4
一緒に参加、活動する仲間がいない	130	20.7
助言や指導をしてくれる人がいない	74	11.8
適当な施設がない(規模・設備・利用時間等)	128	20.4
特に支障はない	33	5.3
その他	38	6.1
無回答	9	1.4
回答者総数 (%ベース)	627	100

市内の文化芸術活動・鑑賞の支障となっているもの  
(総数627、複数回答、単位%)



●「関心のある催し物、活動がない」が半数

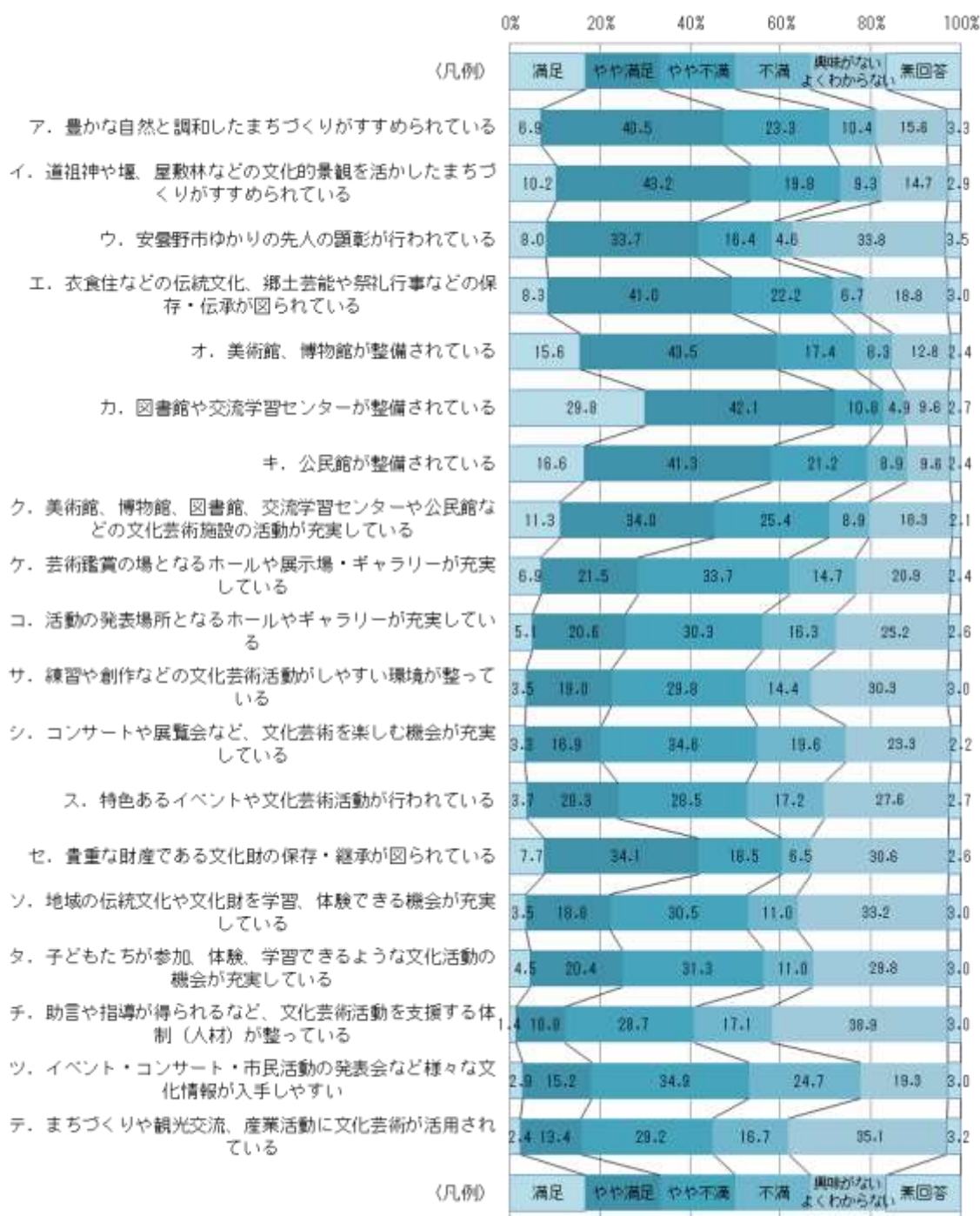
「関心のある催し物、活動がない」が50.4%で最も高く、次いで、「鑑賞、活動、施設などについての情報が少ない」46.6%、「時間的余裕がない」36.7%などとなっています。反面、「助言や指導をしてくれる人がいない」「チケットや入場料などが高い」などは10%台前半となっています。

【「その他」の主な記述内容】活動するチャンス・接点がない | 演劇、コンサートを鑑賞できるホールがない | 子供がまだ小さいので | 子供が小さいため出かける場所が限られる | 経済的な余裕がない | 敷居が高い

質問8 安曇野市の文化芸術環境についての満足度をお伺いします。各項目ごとに、あてはまるものを1つずつ選び、○をつけてください。

上段：回答数 下段：割合（％）	満足	やや満足	やや不満	不満	興味が ない／よく わからない	無回答
ア. 豊かな自然と調和したまちづくりがすす められている	43 6.9	254 40.5	146 23.3	65 10.4	98 15.6	21 3.3
イ. 道祖神や堰、屋敷林などの文化的景観を 活かしたまちづくりがすすめられている	64 10.2	271 43.2	124 19.8	58 9.3	92 14.7	18 2.9
ウ. 安曇野市ゆかりの先人の顕彰が行われて いる	50 8.0	211 33.7	103 16.4	29 4.6	212 33.8	22 3.5
エ. 衣食住などの伝統文化、郷土芸能や祭礼 行事などの保存・伝承が図られている	52 8.3	257 41.0	139 22.2	42 6.7	118 18.8	19 3.0
オ. 美術館、博物館が整備されている	98 15.6	273 43.5	109 17.4	52 8.3	80 12.8	15 2.4
カ. 図書館や交流学習センターが整備されて いる	187 29.8	264 42.1	68 10.8	31 4.9	60 9.6	17 2.7
キ. 公民館が整備されている	104 16.6	259 41.3	133 21.2	56 8.9	60 9.6	15 2.4
ク. 美術館、博物館、図書館、交流学習セン ターや公民館などの文化芸術施設の活動が充 実している	71 11.3	213 34.0	159 25.4	56 8.9	115 18.3	13 2.1
ケ. 芸術鑑賞の場となるホールや展示場・ギ ャラリーが充実している	43 6.9	135 21.5	211 33.7	92 14.7	131 20.9	15 2.4
コ. 活動の発表場所となるホールやギャラリ ーが充実している	32 5.1	129 20.6	190 30.3	102 16.3	158 25.2	16 2.6
サ. 練習や創作などの文化芸術活動がしやす い環境が整っている	22 3.5	119 19.0	187 29.8	90 14.4	190 30.3	19 3.0
シ. コンサートや展覧会など、文化芸術を楽 しむ機会が充実している	21 3.3	106 16.9	217 34.6	123 19.6	146 23.3	14 2.2
ス. 特色あるイベントや文化芸術活動が行わ れている	23 3.7	127 20.3	179 28.5	108 17.2	173 27.6	17 2.7
セ. 貴重な財産である文化財の保存・継承が 図られている	48 7.7	214 34.1	116 18.5	41 6.5	192 30.6	16 2.6
ソ. 地域の伝統文化や文化財を学習、体験で きる機会が充実している	22 3.5	118 18.8	191 30.5	69 11.0	208 33.2	19 3.0
タ. 子どもたちが参加、体験、学習できるよ うな文化活動の機会が充実している	28 4.5	128 20.4	196 31.3	69 11.0	187 29.8	19 3.0
チ. 助言や指導が得られるなど、文化芸術活 動を支援する体制（人材）が整っている	9 1.4	68 10.8	180 28.7	107 17.1	244 38.9	19 3.0
ツ. イベント・コンサート・市民活動の発表 会など様々な文化情報が入手しやすい	18 2.9	95 15.2	219 34.9	155 24.7	121 19.3	19 3.0
テ. まちづくりや観光交流、産業活動に文化 芸術が活用されている	15 2.4	84 13.4	183 29.2	105 16.7	220 35.1	20 3.2

安曇野市の文化芸術環境についての満足度（総数627）



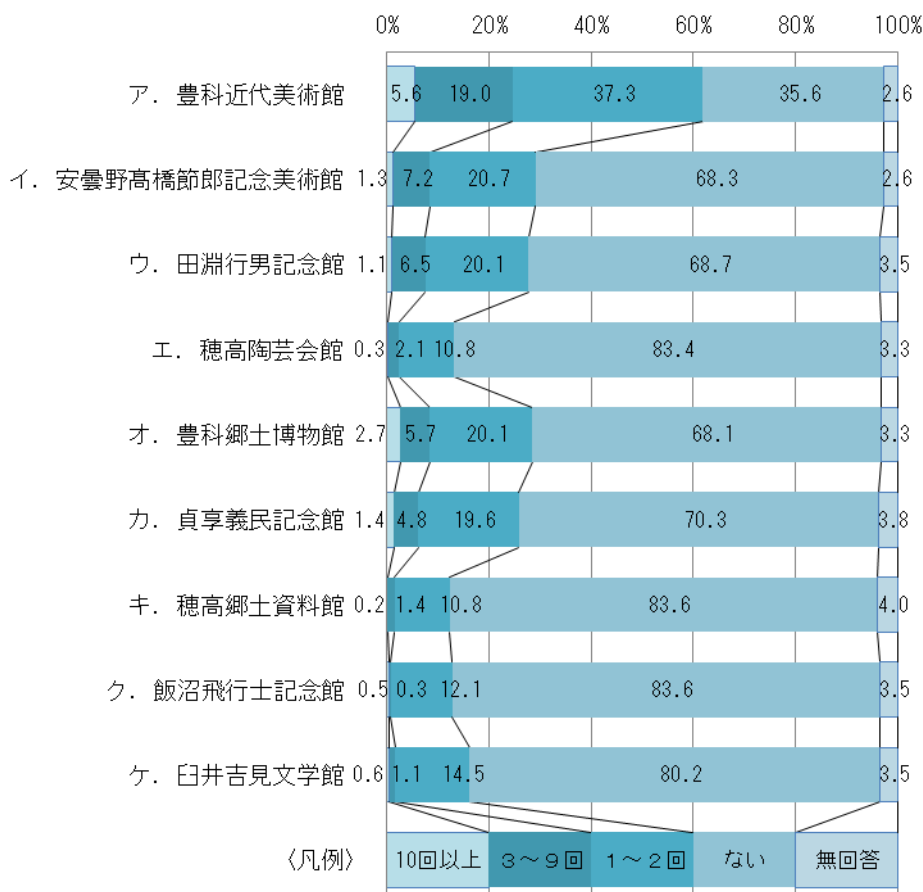
●ハード面での満足度が高い、ソフト面での満足度は低い

「満足」「やや満足」を合わせて最も満足度が高いのは「図書館や交流学習センターが整備されている」の71.9%、次いで、「美術館、博物館が整備されている」59.1%、「公民館が整備されている」57.9%などハード面です。これに対し、満足度が低いのは、「助言や指導が得られるなど、文化芸術活動を支援する体制（人材）が整っている」12.2%、「まちづくりや観光交流、産業活動に文化芸術が活用されている」15.8%、「イベント・コンサート・市民活動の発表会など様々な文化情報が入手しやすい」18.1%など人材・情報・活動などといったソフト面です。

質問9 以下のア～ケの文化芸術施設について、今までに利用したことがありますか。それぞれ1つずつ選んで、数字を○で囲んでください。

上段：回答数／下段：割合(%)	10回以上	3～9回	1～2回	ない	無回答
ア. 豊科近代美術館	35 5.6	119 19.0	234 37.3	223 35.6	16 2.6
イ. 安曇野高橋節郎記念美術館	8 1.3	45 7.2	130 20.7	428 68.3	16 2.6
ウ. 田淵行男記念館	7 1.1	41 6.5	126 20.1	431 68.7	22 3.5
エ. 穂高陶芸会館	2 0.3	13 2.1	68 10.8	523 83.4	21 3.3
オ. 豊科郷土博物館	17 2.7	36 5.7	126 20.1	427 68.1	21 3.3
カ. 貞享義民記念館	9 1.4	30 4.8	123 19.6	441 70.3	24 3.8
キ. 穂高郷土資料館	1 0.2	9 1.4	68 10.8	524 83.6	25 4.0
ク. 飯沼飛行士記念館	3 0.5	2 0.3	76 12.1	524 83.6	22 3.5
ケ. 臼井吉見文学館	4 0.6	7 1.1	91 14.5	503 80.2	22 3.5

文化芸術施設の利用度（総数627）



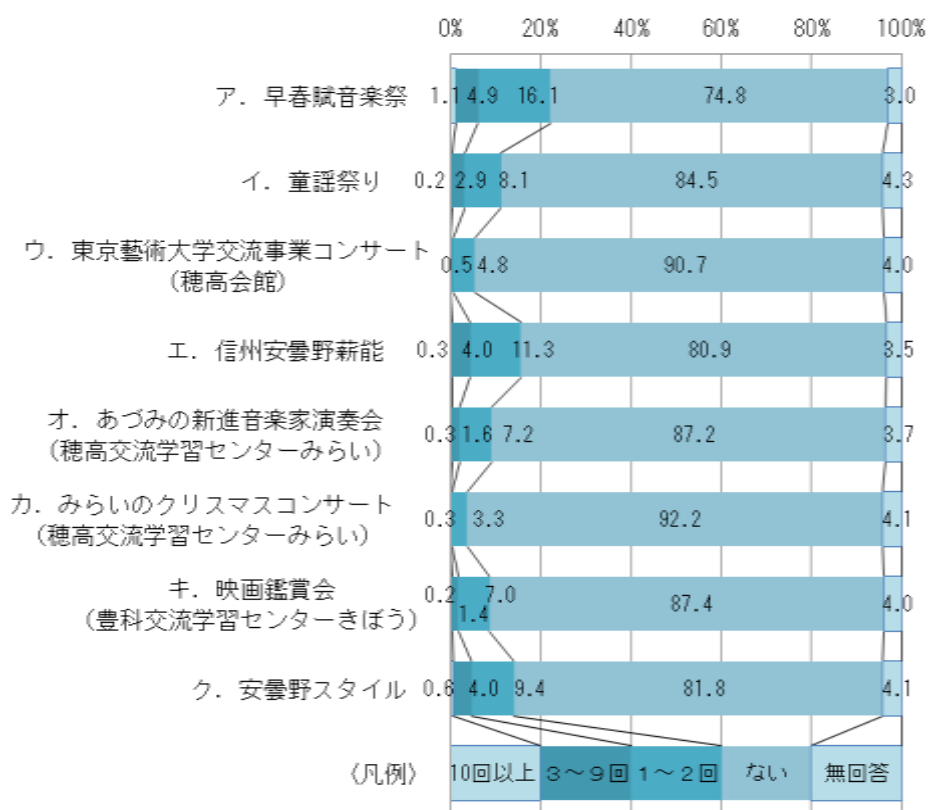
●豊科近代美術館の利用度が飛び抜けて高い

最も利用度が高いのは「豊科近代美術館」で、「1～2回」以上を合わせると61.9%で飛び抜けています。次いで、「安曇野高橋節郎記念美術館」同29.2%、「豊科郷土博物館」同28.5%、「田淵行男記念館」同27.7%、「貞享義民記念館」同25.8%などとなっています。

質問10 以下のア～クのイベント等について、今までに鑑賞したり参加したことがありますか。それぞれ1つずつ選んで、数字を○で囲んでください。

上段：回答数／下段：割合（％）	10回以上	3～9回	1～2回	ない	無回答
ア. 早春賦音楽祭	7	31	101	469	19
	1.1	4.9	16.1	74.8	3.0
イ. 童謡祭り	1	18	51	530	27
	0.2	2.9	8.1	84.5	4.3
ウ. 東京藝術大学交流事業コンサート (穂高会館)	0	3	30	569	25
	0.0	0.5	4.8	90.7	4.0
エ. 信州安曇野薪能	2	25	71	507	22
	0.3	4.0	11.3	80.9	3.5
オ. あづみの新進音楽家演奏会 (穂高交流学習センターみらい)	2	10	45	547	23
	0.3	1.6	7.2	87.2	3.7
カ. みらいのクリスマスコンサート (穂高交流学習センターみらい)	0	2	21	578	26
	0.0	0.3	3.3	92.2	4.1
キ. 映画鑑賞会 (豊科交流学習センターきぼう)	1	9	44	548	25
	0.2	1.4	7.0	87.4	4.0
ク. 安曇野スタイル	4	25	59	513	26
	0.6	4.0	9.4	81.8	4.1

イベントへの参加度（総数627）



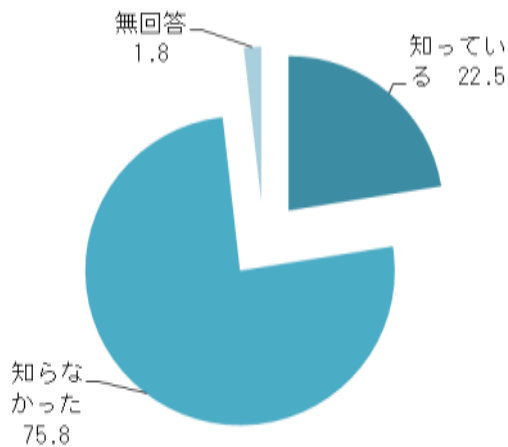
● 「早春賦音楽祭」への参加度が最も高い

「1～2回」以上を合わせると、「早春賦音楽祭」が最も高く22.1%、次いで、「信州安曇野薪能」同15.6%、「安曇野スタイル」同14.0%、「童謡祭り」同11.2%などとなっています。

質問11 安曇野市の美術館や博物館では、中学生以下と市内在住70歳以上の方の入館料を無料としています。このことをご存知でしたか。

	回答数	割合 (%)
知っている	141	22.5
知らなかった	475	75.8
無回答	11	1.8
回答者総数 (%ベース)	627	100

入館料無料措置についての認知度  
(総数627、単位%)



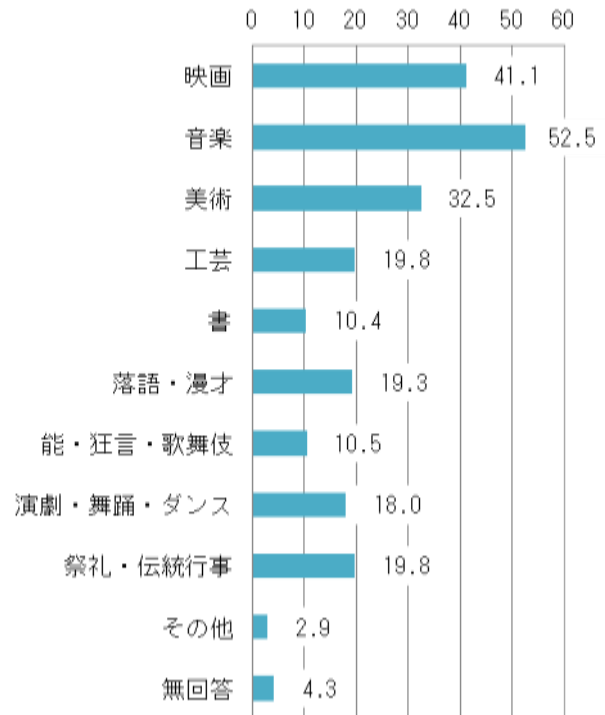
●「知らなかった」が7割以上

「知っている」が22.5%、「知らなかった」が75.8%となっています。

質問12 あなたの文化芸術への関心についてお伺いします。以下の文化芸術の分野のうち、特に関心のある分野はどれですか。

	回答数	割合 (%)
映画	258	41.1
音楽	329	52.5
美術	204	32.5
工芸	124	19.8
書	65	10.4
落語・漫才	121	19.3
能・狂言・歌舞伎	66	10.5
演劇・舞踊・ダンス	113	18.0
祭礼・伝統行事	124	19.8
その他	18	2.9
無回答	27	4.3
回答者総数 (%ベース)	627	100

関心のある文化芸術分野  
(総数627、3つまで複数回答、単位%)



●約半数が「音楽」に関心

「音楽」が最も高く52.5%、次いで、「映画」41.1%、「美術」32.5%などとなっています。

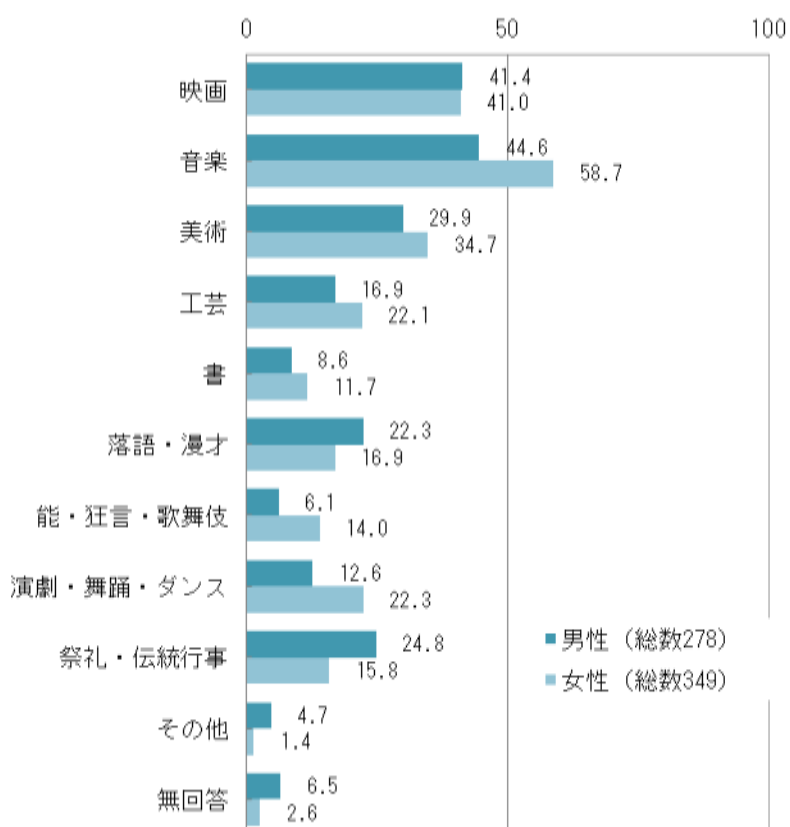
【「その他」の主な記述内容】アニメ、ゲーム、マンガ | 俳句、短歌 | 写真

男女別●質問12 あなたの文化芸術への関心についてお伺いします。以下の文化芸術の分野のうち、特に関心のある分野はどれですか。

上段：回答数 下段：割合(%)	合計	映画	音楽	美術	工芸	書
男性	278 100.0	115 41.4	124 44.6	83 29.9	47 16.9	24 8.6
女性	349 100.0	143 41.0	205 58.7	121 34.7	77 22.1	41 11.7

上段：回答数 下段：割合(%)	落語・漫才	能・狂言・歌舞伎	演劇・舞踊・ダンス	祭礼・伝統行事	その他	無回答
男性	62 22.3	17 6.1	35 12.6	69 24.8	13 4.7	18 6.5
女性	59 16.9	49 14.0	78 22.3	55 15.8	5 1.4	9 2.6

男女別●関心のある文化芸術分野



●特に女性の関心が高い「音楽」

「音楽」についてみると、女性が58.7%、男性が44.6%で、特に女性の関心が高いことがわかります。「映画」は男女で差がみられません。「美術」では、女性が34.7%、男性が29.9%で、女性の関心が高く、ほかに、女性が高いのは「工芸」「演劇・舞踊・ダンス」「能・狂言・歌舞伎」、これに対し男性のほうが高いのは「落語・漫才」「祭礼・伝統行事」などです。

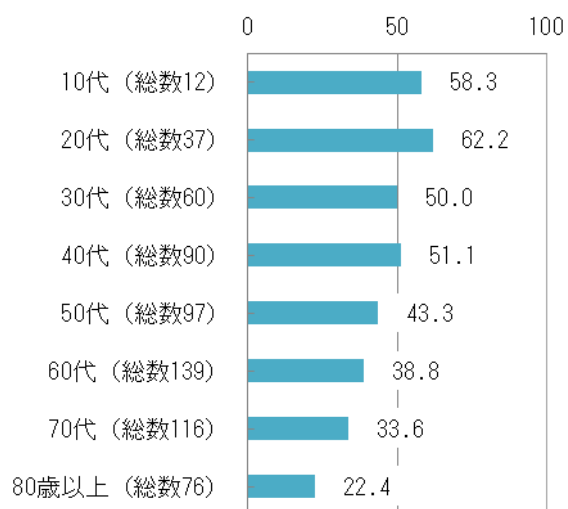
年代別●質問12 あなたの文化芸術への関心についてお伺いします。以下の文化芸術の分野のうち、特に関心のある分野はどれですか。

上段：回答数 下段：割合(%)	合計	映画	音楽	美術	工芸	書
10代	12 100.0	7 58.3	8 66.7	1 8.3	- -	1 8.3
20代	37 100.0	23 62.2	21 56.8	8 21.6	1 2.7	1 2.7
30代	60 100.0	30 50.0	39 65.0	14 23.3	15 25.0	5 8.3
40代	90 100.0	46 51.1	50 55.6	26 28.9	19 21.1	9 10.0
50代	97 100.0	42 43.3	57 58.8	35 36.1	20 20.6	4 4.1
60代	139 100.0	54 38.8	70 50.4	58 41.7	38 27.3	10 7.2
70代	116 100.0	39 33.6	62 53.4	36 31.0	17 14.7	19 16.4
80歳以上	76 100.0	17 22.4	22 28.9	26 34.2	14 18.4	16 21.1

上段：回答数 下段：割合(%)	落語・漫才	能・狂言・歌 舞伎	演劇・舞踊・ ダンス	祭礼・伝統行 事	その他	無回答
10代	3 25.0	- -	4 33.3	2 16.7	- -	- -
20代	8 21.6	4 10.8	10 27.0	5 13.5	1 2.7	1 2.7
30代	7 11.7	5 8.3	10 16.7	13 21.7	1 1.7	- -
40代	12 13.3	4 4.4	14 15.6	21 23.3	1 1.1	2 2.2
50代	22 22.7	11 11.3	25 25.8	11 11.3	4 4.1	3 3.1
60代	27 19.4	15 10.8	24 17.3	26 18.7	3 2.2	4 2.9
70代	27 23.3	14 12.1	20 17.2	24 20.7	6 5.2	6 5.2
80歳以上	15 19.7	13 17.1	6 7.9	22 28.9	2 2.6	11 14.5

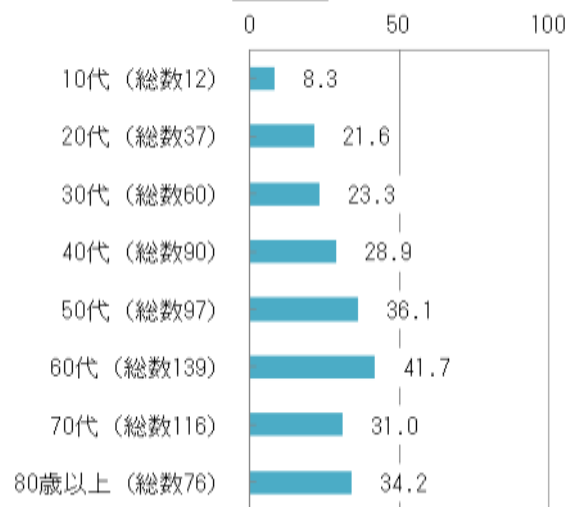


年代別●関心のある文化芸術分野  
[映画]



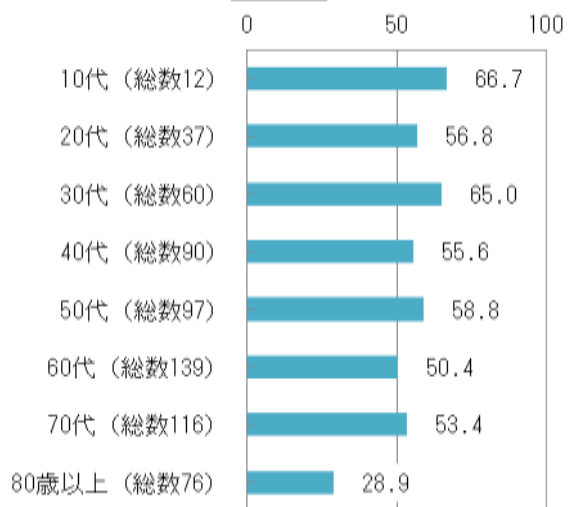
●「映画」に特に関心が高いのは20代62.2%、10代58.3%などです。

年代別●関心のある文化芸術分野  
[美術]



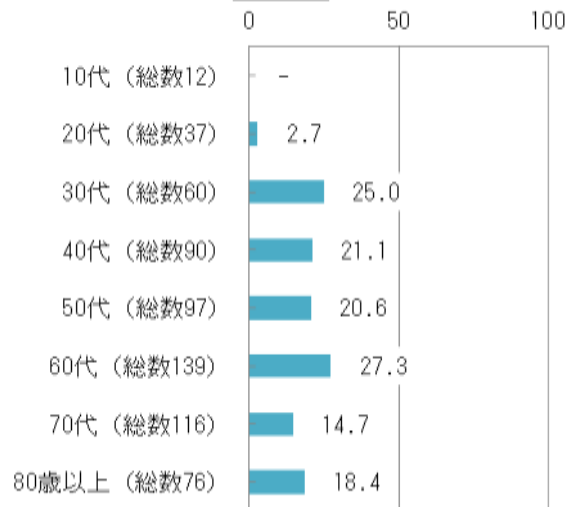
●「美術」への関心はほぼ年代に比例して高くなります。

年代別●関心のある文化芸術分野  
[音楽]



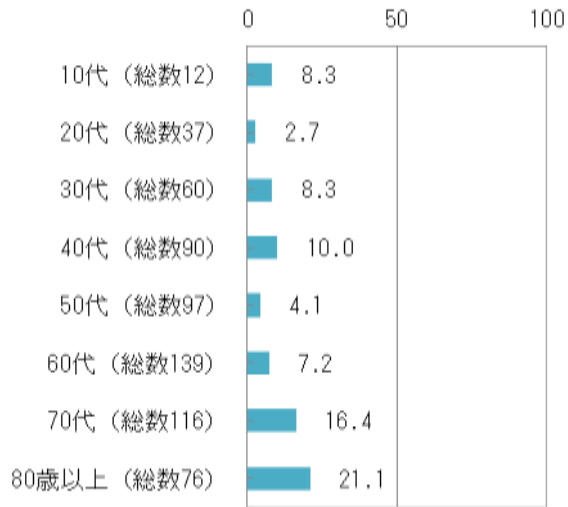
●「音楽」への関心は各年代とも同等に高く、ほとんど差異はみられません。

年代別●関心のある文化芸術分野  
[工芸]



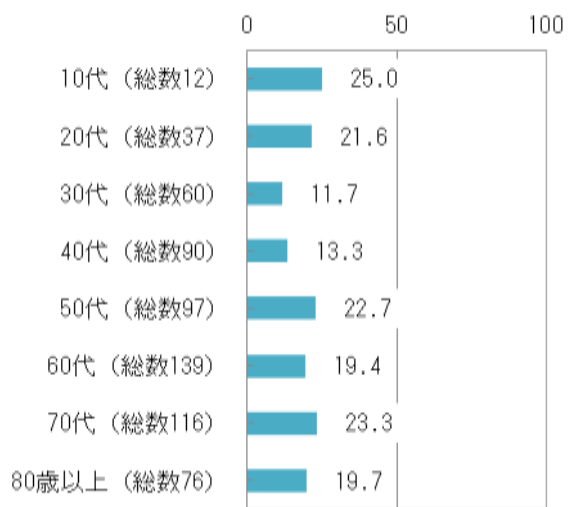
●「工芸」に対し20代以下はほとんど関心がなく、30代以降は継続して20%前後が関心を示しています。

年代別●関心のある文化芸術分野  
[書]



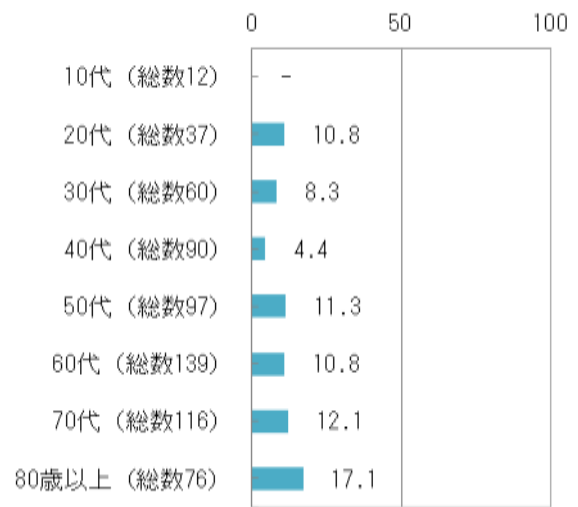
●「書」への関心は、60代以降急に高まります。ただし、10代でも8.3%が関心を示しています。

年代別●関心のある文化芸術分野  
[落語・漫才]



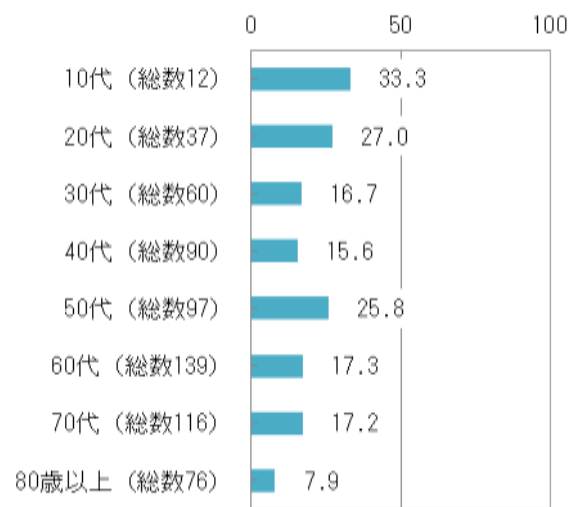
●「落語・漫才」は、30代、40代でやや下がりますが、その前後ではほぼ一貫して20%前後の関心が示されています。

年代別●関心のある文化芸術分野  
[能・狂言・歌舞伎]



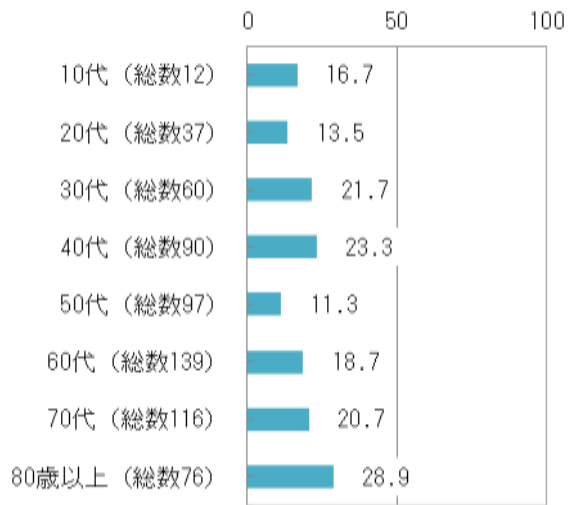
●「能・狂言・歌舞伎」への関心は、20代からほぼ10%前後で継続しますが、70代以降やや高まります。10代はまったく関心を示しません。

年代別●関心のある文化芸術分野  
[演劇・舞踊・ダンス]



●「演劇・舞踊・ダンス」は、10代33.3%、20代27.0%と高く、30代、40代でやや下がりますが、50代でも25.8%が関心を示しています。

年代別●関心のある文化芸術分野  
[祭礼・伝統行事]

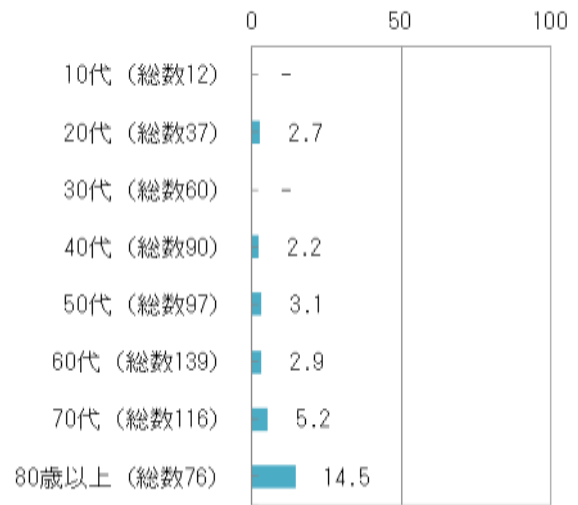


●「祭礼・伝統行事」には、30代21.7%、40代23.3%、さらに60代以降で高まり80歳以上で28.9%が関心を示しています。

年代別●関心のある文化芸術分野  
[その他]



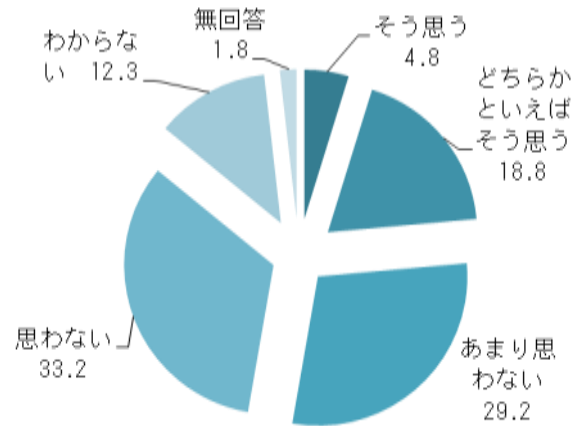
年代別●関心のある文化芸術分野  
[無回答]



質問13 あなたは、文化芸術施設やイベントで、文化芸術活動を支えるボランティアとして活動しようと思えますか。

	回答数	割合 (%)
そう思う	30	4.8
どちらかといえばそう思う	118	18.8
あまり思わない	183	29.2
思わない	208	33.2
わからない	77	12.3
無回答	11	1.8
回答者総数 (%ベース)	627	100

文化芸術ボランティア活動への参加意向  
(総数627, 単位%)



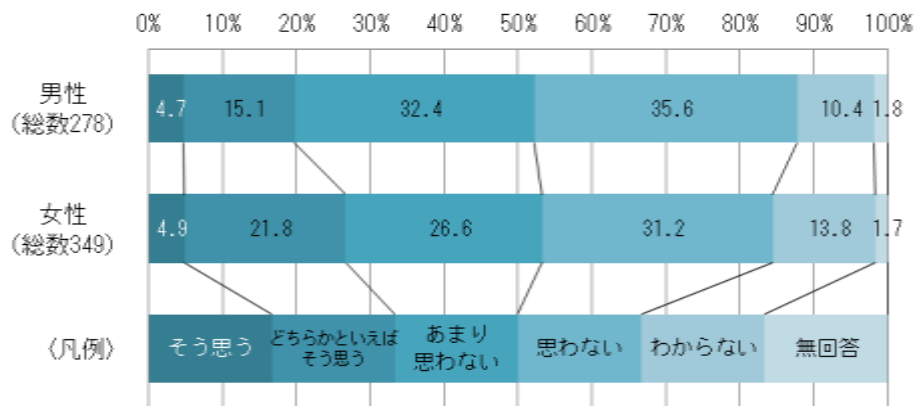
●6割以上がボランティアとして活動しようと思わない

「思わない」が33.2%で最も多く、次いで「あまり思わない」が29.2%、合わせてそう思わない意向の人が62.4%となっています。

男女別●質問13 あなたは、文化芸術施設やイベントで、文化芸術活動を支えるボランティアとして活動しようと思えますか。

上段：回答数 下段：割合 (%)	合計	そう思う	どちらかといえばそう思う	あまり思わない	思わない	わからない	無回答
男性	278 100.0	13 4.7	42 15.1	90 32.4	99 35.6	29 10.4	5 1.8
女性	349 100.0	17 4.9	76 21.8	93 26.6	109 31.2	48 13.8	6 1.7

男女別●文化芸術ボランティア活動への参加意向



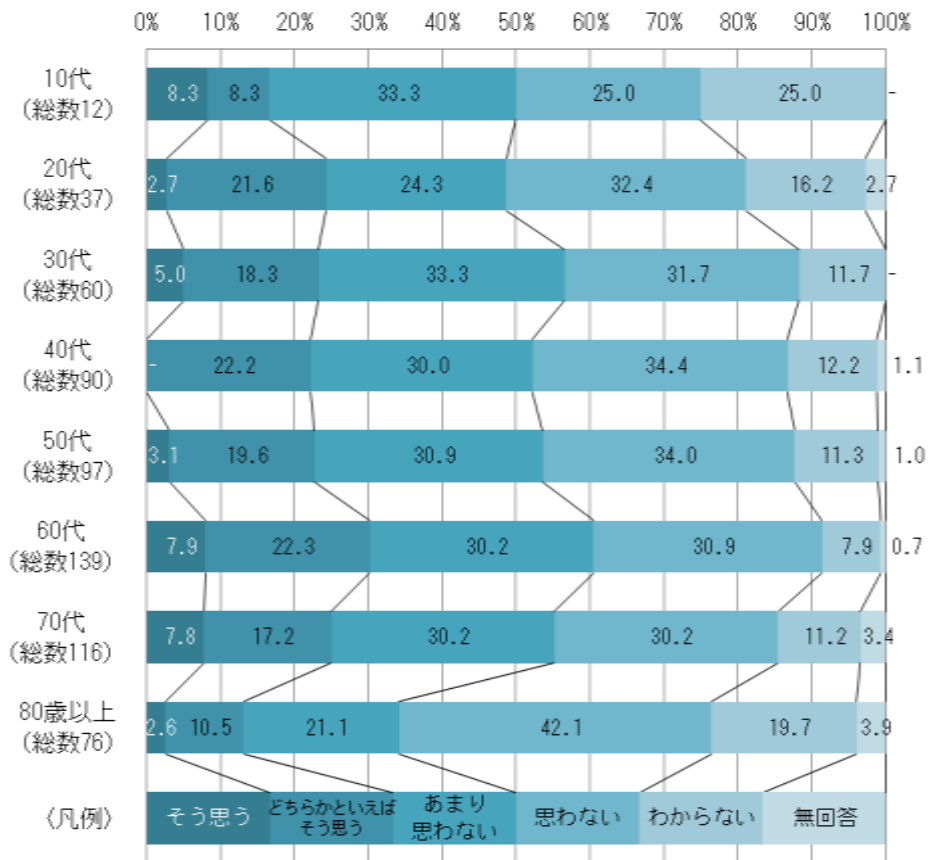
●女性が高いボランティア活動への参加意向

男女別では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」合わせて、男性19.8%、女性26.7%と、女性の方が約7ポイント高くなっています。

年代別●質問13 あなたは、文化芸術施設やイベントで、文化芸術活動を支えるボランティアとして活動しようと思いますか。

上段：回答数 下段：割合（％）	合計	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	あまり思わ ない	思わない	わからない	無回答
10代	12 100.0	1 8.3	1 8.3	4 33.3	3 25.0	3 25.0	- -
20代	37 100.0	1 2.7	8 21.6	9 24.3	12 32.4	6 16.2	1 2.7
30代	60 100.0	3 5.0	11 18.3	20 33.3	19 31.7	7 11.7	- -
40代	90 100.0	- -	20 22.2	27 30.0	31 34.4	11 12.2	1 1.1
50代	97 100.0	3 3.1	19 19.6	30 30.9	33 34.0	11 11.3	1 1.0
60代	139 100.0	11 7.9	31 22.3	42 30.2	43 30.9	11 7.9	1 0.7
70代	116 100.0	9 7.8	20 17.2	35 30.2	35 30.2	13 11.2	4 3.4
80歳以上	76 100.0	2 2.6	8 10.5	16 21.1	32 42.1	15 19.7	3 3.9

年代別●文化芸術ボランティア活動への参加意向



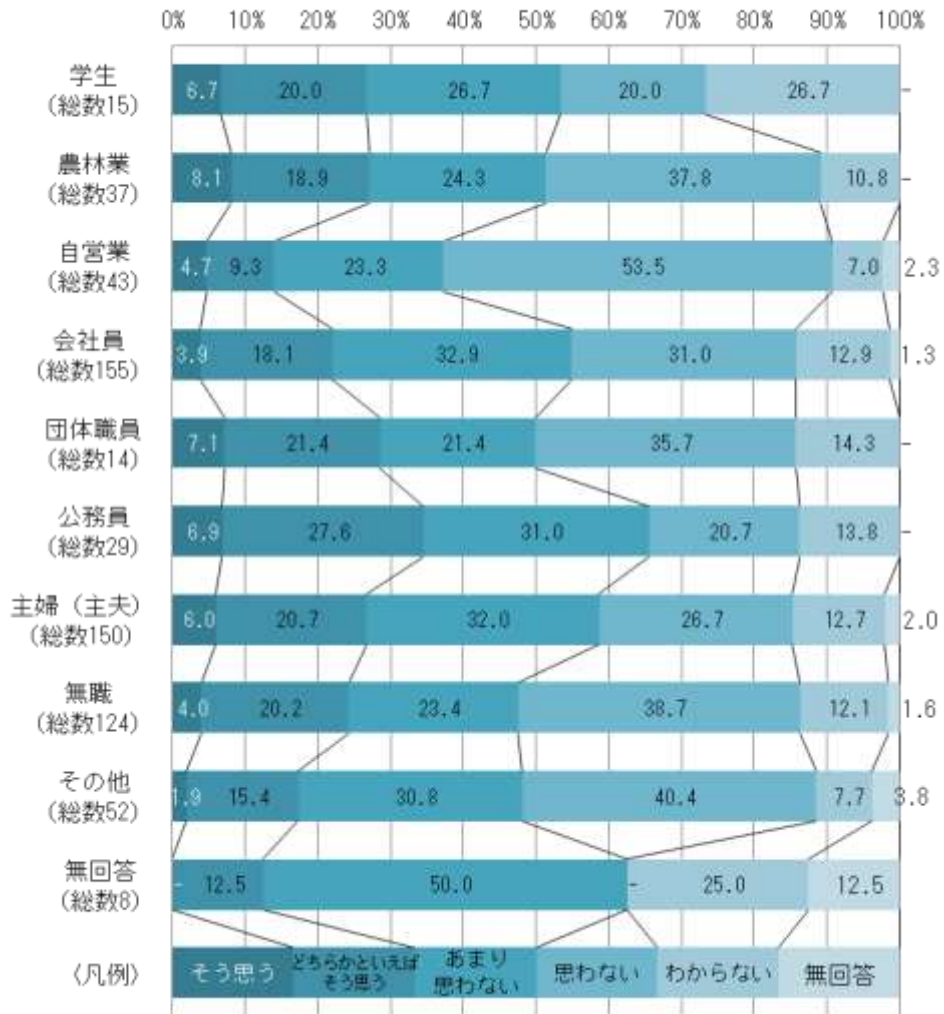
●60代、70代の参加意向が高い

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」合わせて、最も高いのが60代の30.2%、次いで70代25.0%、20代24.3%。これに対し最も低いのが80歳以上の13.1%、次いで10代の16.6%などとなっています。

職業別●質問13 あなたは、文化芸術施設やイベントで、文化芸術活動を支えるボランティアとして活動しようと思  
いますか。

上段：回答数 下段：割合（％）	合計	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	あまり思わ ない	思わない	わからない	無回答
学生	15 100.0	1 6.7	3 20.0	4 26.7	3 20.0	4 26.7	- -
農林業	37 100.0	3 8.1	7 18.9	9 24.3	14 37.8	4 10.8	- -
自営業	43 100.0	2 4.7	4 9.3	10 23.3	23 53.5	3 7.0	1 2.3
会社員	155 100.0	6 3.9	28 18.1	51 32.9	48 31.0	20 12.9	2 1.3
団体職員	14 100.0	1 7.1	3 21.4	3 21.4	5 35.7	2 14.3	- -
公務員	29 100.0	2 6.9	8 27.6	9 31.0	6 20.7	4 13.8	- -
主婦（主夫）	150 100.0	9 6.0	31 20.7	48 32.0	40 26.7	19 12.7	3 2.0
無職	124 100.0	5 4.0	25 20.2	29 23.4	48 38.7	15 12.1	2 1.6
その他	52 100.0	1 1.9	8 15.4	16 30.8	21 40.4	4 7.7	2 3.8
無回答	8 100.0	- -	1 12.5	4 50.0	- -	2 25.0	1 12.5

職業別●文化芸術ボランティア活動への参加意向



●参加意向は職業別で大きな差

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」合わせると、最も高いのが公務員で34.5%、次いで、団体職員28.5%、農林業27.0%などとなっています。これに対し低いのは、自営業14.0%、その他17.3%などで、職業別で大きな差がみられます。

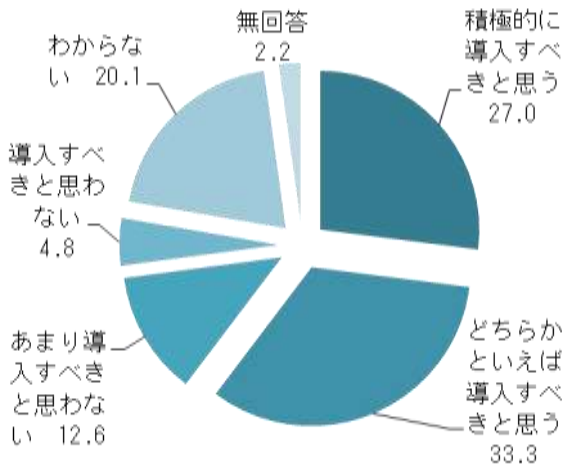


質問14 安曇野市では、公益財団法人安曇野文化財団が管理運営する豊科近代美術館や田淵行男記念館などを除いて、ほとんどの文化芸術施設を市直営で管理運営しています。全国的には、図書館をはじめとする文化芸術施設の管理運営を専門性を持った民間事業者によって担っていただくことにより、利用者満足度が向上したり財政負担が抑えられている事例があり、安曇野市でも対象施設を広げて導入することを検討中です。

安曇野市の文化芸術施設において、民間事業者の管理運営を導入することについてどう思いますか。

	回答数	割合 (%)
積極的に導入すべきと思う	169	27.0
どちらかといえば導入すべきと思う	209	33.3
あまり導入すべきと思わない	79	12.6
導入すべきと思わない	30	4.8
わからない	126	20.1
無回答	14	2.2
回答者総数 (%ベース)	627	100

文化芸術施設運営への民間事業者の導入について (総数627、単位%)



●約6割が「導入すべき」

「どちらかといえば導入すべきと思う」が33.3%、「積極的に導入すべきと思う」が27.0%で、導入すべきという意向は合わせて60.3%となっています。

質問15 ご記入者ご自身のことについてお伺いします。項目ごとに1つ選んで、数字を○で囲んでください。

[性別]

	回答数	割合 (%)
男性	278	44.3
女性	349	55.7
無回答	0	0.0
回答者総数 (%ベース)	627	100

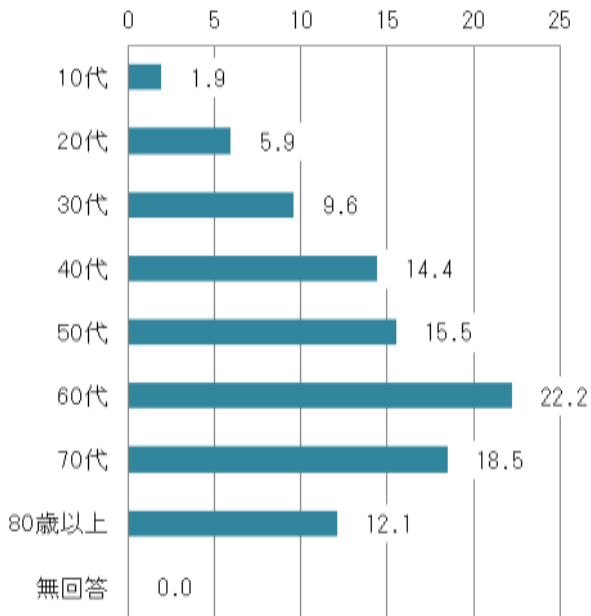
回答者性別 (総数627、単位%)



[年齢]

	回答数	割合 (%)
10代	12	1.9
20代	37	5.9
30代	60	9.6
40代	90	14.4
50代	97	15.5
60代	139	22.2
70代	116	18.5
80歳以上	76	12.1
無回答	0	0.0
回答者総数 (%ベース)	627	100

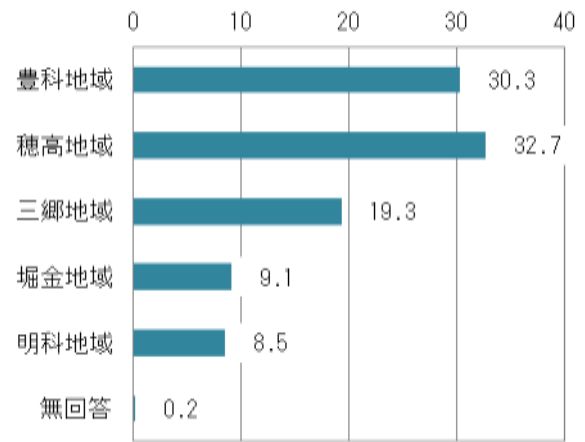
回答者年齢(総数627、単位%)



[お住まいの地域]

	回答数	割合 (%)
豊科地域	190	30.3
穂高地域	205	32.7
三郷地域	121	19.3
堀金地域	57	9.1
明科地域	53	8.5
無回答	1	0.2
回答者総数 (%ベース)	627	100

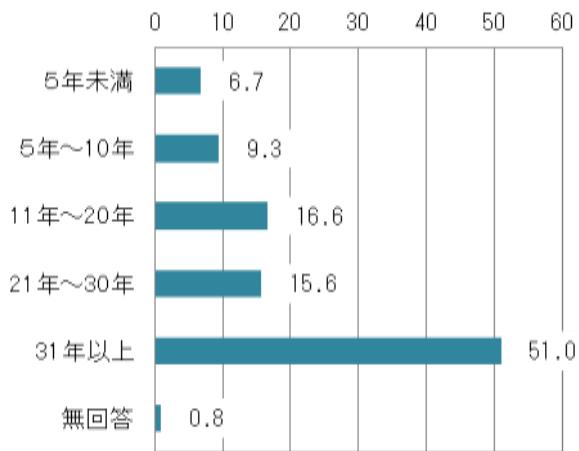
回答者居住地区(総数627、単位%)



[安曇野市での居住年数（合併以前を含む）]

	回答数	割合（%）
5年未満	42	6.7
5年～10年	58	9.3
11年～20年	104	16.6
21年～30年	98	15.6
31年以上	320	51.0
無回答	5	0.8
回答者総数（%ベース）	627	100

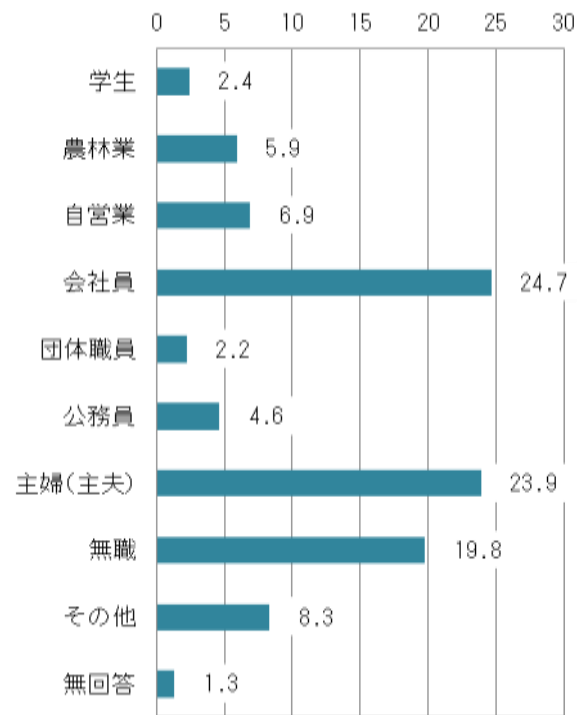
回答者居住歴（総数627、単位%）



[職業]

	回答数	割合（%）
学生	15	2.4
農林業	37	5.9
自営業	43	6.9
会社員	155	24.7
団体職員	14	2.2
公務員	29	4.6
主婦（主夫）	150	23.9
無職	124	19.8
その他	52	8.3
無回答	8	1.3
回答者総数（%ベース）	627	100

回答者職業（総数627、単位%）



問16 安曇野市の文化芸術について、現状や課題、今後進むべき方向性など、ご意見をご自由にお書きください。

- 若い人達の楽しめる場所が無い、ほとんどの若者が休日などに松本の方へ流れていってしまうと思います。スマートフォンやAR機能を生かせば、芸術関係のことも興味をもてるのではないかと思います。あとはどう宣伝するかが課題ですかね？(ARであっているかわかりませんが、スマホで写すと立体に見える物です。) / 男性 / 20代 / 豊科地域 / 会社員
- 合併10年経つが、今でも穂高、豊科などの地域のいがみあいを感じます。図書館も穂高と豊科に同じ規模のものが、どちらか一つに集約して、もう一つは大きなホールを造るなどをすればよかったと思う。これから合併前の施設を建て替える時は、様々な地域へ点在して建てても良いと思う。施設には駐車場を広くとってほしい。 / 女性 / 30代 / 穂高地域 / 団体職員
- まちづくりに文化を感じる事が少ない。安曇野として何をテーマにどのような「まち」をつくるのか、他の「まち」も参考に色々考えるべきと考える。(地域によってそれぞれのテーマがある。) / 男性 / 60代 / 三郷地域 / 会社員
- 文化芸術の施設の周りに友だちや家族がゆったりと憩う又は語る場所(芝・木陰・軽食喫茶店など)がもっとほしいと思います。 / 女性 / 60代 / 豊科地域 / 主婦(主夫)
- この大きな市のために良く頑張ってくれています。今後も宜しくお願いします。 / 男性 / 80歳以上 / 豊科地域 / 無職
- あまり文化芸術に興味がなく、参考にならずすみません。施設においての民間の導入はこれから必須になると思います。安曇野市の文化振興の向上に期待しています。少し興味をもちたいと思います。 / 男性 / 50代 / 穂高地域 / 自営業
- 市の施設(公民館や図書館、市役所など)を団体で利用する際の手続きや規則がとても面倒で融通がきかず困ったことがありました。もう少し規則を緩和してほしいです。地区の文化的な行事をただ形だけ受け継ぐのではなく、そのいわれや何のためにやるのかなど、子どもにもわかるようにしたほうがよいと思いました。本格的なコンサートのできるホールを整備してほしいです。文化には「雰囲気」がとても大事だと思います。 / 女性 / 40代 / 豊科地域 / 無職
- 文化施設の広報や設備情報をもっと分かりやすい場所に設置することや若い人たちに興味をもってもらい必要があると思います。また、施設の場所も分かりにくい所にあるのも問題かと思ひます。市内に在住していて、学校で文化施設や先人たちの顕彰を習っている人たちにとつたら、安曇野市にある先人たちのゆかりの施設は勉強するには大事な施設かも知れませんが、県外や市外から来た人たちにとつたら、何の功績を称えた所かも分からずに施設を通りすぎていると思います。だから、いつも人が入っていないんだと思います。 / 女性 / 20代 / 豊科地域 / 主婦(主夫)
- 自然も文化。市は自然を大事にしていると思えない。 / 男性 / 60代 / 堀金地域 / 無職
- 民間事業者に施設の管理運営をして頂き、その分市はその周りをとりまく環境に力を入れてほしい。立派な施設があつてそこで芸術鑑賞をしても、その後楽しんだり、ゆっくりする場所が少なすぎて松本市方面ばかりに足が行ってしまいます。 / 女性 / 40代 / 三郷地域 / 会社員
- 一つの市になつたわりには、施設などもそうであるがバラバラにあるのか？ という気がします。音楽が好きなのでいろんなジャンルの音楽を楽しみたいが、知らないだけかも知れないが音楽を楽しむには安曇野市以外に出ていかないといけないのがネックだと感じます。 / 女性 / 30代 / 豊科地域 / 団体職員
- イベントが穂高に偏つていて参加したくても参加できない。 / 男性 / 60代 / 三郷地域 / 無職
- 安曇野市での情報より、松本市のほうが入手しやすく、また施設、交通面でも使いやすく整っていると思う。集約して使いやすくする。スポーツ施設もアルウィン(サッカー場)を新しく安曇野市に造る(田沢とか島内近辺)を核として、文化施設を造っていくのはどうか。 / 男性 / 50代 / 三郷地域 / 会社員
- 私は社交ダンスの講師をしています。公民館、三郷農村環境改善センター等を使わせてもらっています。生徒は60~80歳代を教えています。来年から有料になると聞いています。それにより負担がかかり皆どうなるか心配しています。施設が使いやすいようどうか考えて下さい。 / 女性 / 60代 / 豊科地域 / 主婦(主夫)
- 図書館なら本があれば良いという発想ではなく、地元の工業生産物等(VAIO等、VAIOの古い物も)も展示すれば良いと思います。まず興味をもってもらい、見る人の視点、アンケートをとることをすすめます。例として、市のホームページは非常に分かりづらいです。何も知らない人が目的の所までどりつくシミュレーションはしてありますか？ / 男性 / 60代 / 豊科地域 / 会社員
- 「安曇野市文化振興計画」を市で掲げていることを知りませんでした。もっと市民にこの計画が反映していくような運営をお願いします。 / 男性 / 40代 / 三郷地域 / 会社員
- 必要だとは思いますが、記念館など人が多く集まっていないのが現実で(安曇野市が大きくなりすぎ)、管理も考えていかななくてはならないと思います。子供達への理解はどうなっているのか？無料にするだけでは？興味がなければ意味がない！ / 女性 / 50代 / 穂高地域 / 主婦(主夫)
- 「文化・芸術」の捉え方が問題だと思います。「親しみ

やすく、大衆的」と捉えすぎて、レベルの低いものになっていないか、あげく民間に委託してコンセプトが曖昧になったり、逆に役所が「文化」を理解するとも思えないし、いっそ日本・世界レベルの芸術家(色々な意味で)、評論家などをコーディネーターに据えて、レベルとコンセプトをしっかりと決めてかかれないと、無駄な試みになる。私は「越後妻有一大地のビエンナーレ」は評価できるかなと思っています。／女性／60代／穂高地域／その他

○勤務先が松本市であり、安曇野市内の施設等利用する機会がほとんどない。そのためイベント等の情報もわからないので、もっと教えてほしい。／女性／40代／穂高地域／会社員

○理解が乏しく申し訳ありませんでした。／女性／60代／豊科地域／無職

○多目的ホールではなく、目的を明確にした施設を希望します。／女性／60代／明科地域／会社員

○文化芸術に対する情報がないと思います。市民の理解と興味を高めるための努力をしてほしいです。年1回でもいいからバスで市の芸術、文化財の見学会を低料金で行うのもいいと思います。安曇野市買物ツアーもセットで行うのもいいと思います。／男性／60代／明科地域／自営業

○朝、夕のウォーキング中、山の景色など遠くの景観には素晴らしいものがあります。しかし実際歩いている道には犬のフンやゴミ等が目につきます。身近にある所の清掃や環境整備のためのマナーなど、もっと積極的に指導したらどうでしょうか。振興計画の目標(どこを、どうして、どうなりたい)が全然わかりません。／男性／60代／穂高地域／無職

○音楽(Live)や映画がかかりやすく、大好きな文化芸術ではあるのですが、安曇野市に建物を建てて気軽に…とも考えたのですが、建物を維持していくことは大変なので、今ある文化芸術施設をまず楽しんでみたいと思いました。市民の皆さんにも気軽に行きやすい施設であってほしいです。市民が文化的生活をするよう勧められたら本当にすてきなことだと思いました。市民が何度でも行きたくなる企画をそれぞれの施設で企画展をやらせてほしいのでは?と思いました。／女性／40代／穂高地域／主婦(主夫)

○文化芸術施設において魅力的なイベントがあれば(半年に1度とか1年に1度でも)子供を連れて行きたいと思えます(ちひろで年1回やっている無料開放など)。／女性／40代／穂高地域／主婦(主夫)

○年に一度でいいですから、若者が盛り上がるイベント(コンサートなど)を開いてほしいです。／男性／50代／豊科地域／会社員

○芸術関係の劇やコンサートを鑑賞したことを思い出したのですが、全て松本市で行われたものでした。あまり安曇野市で芸術というイメージはないです。少し前に案内があった親子陶芸教室のような、ワンコインで休みの日に親子で参加できるようなものは魅力的です。／女性

／30代／穂高地域／会社員

○今まで私どもの文化芸術についての関心が少なすぎるのが、今回こういったアンケート調査票をいただいて痛切に思ったところです。これから先、前向きに豊かな人生を築いていく上においても、もっともっと自己研鑽を積みたく思っております。今まで以上にPR等充実されたく所存する次第です。よろしくお願いします。／女性／60代／穂高地域／会社員

○28%を占める65歳以上の年齢層への文化事業のアプローチ(時間的にも経済的にも余裕のある)。①文化施設めぐり(半日、一日コース設定で、数多くのメニュー紹介)、②専門度の高い芸術学会の育成とその知識の波及方法のシステムづくり、③興味あるタイトルとやさしい講座の数多くの開設、④一部の市民にかたよらない全市民参加できる(公民館、ボランティア、老人クラブ等)への文化事業の浸透、等々。／男性／60代／穂高地域／無職

○中山間地域の文化的財産の保全が十分行われていないように思う。／男性／70代／明科地域／農林業

○特に子供を大事にしたいですね。／男性／60代／穂高地域／公務員

○1年間のスケジュール表を作って家に貼っておけるようなものを作って下さりませんか?広報をみて行ったりしていますが、広報を後日みようと思うと企画が終わっていることがあり、残念な思いをしてしまう。／女性／50代／三郷地域／会社員

○長い目で見て今以上に安曇野市の文化芸術に関心、参加意欲をもつよう学校の授業にもっと取り入れ、文化芸術のベースを育てることが重要と思います。市のホームページで登録すると、文化芸術の催しに関する情報が、メールマガジンで得られるようにできればと思います。／男性／40代／穂高地域／会社員

○小さな単位の活動は数多く行われていると思う。しかし、すぐれた指導者がいないため、活動のレベルが低いのではないか。ただ活動すれば良いというのではなく、もっと上を目指すべきではないかと思う。／男性／60代／豊科地域／会社員

○市の関係する行事は知らない人が多いので、PR活動も積極的にお願いします。／男性／70代／豊科地域／農林業

○他市にない安曇野市独特の個性ある文化、芸術の町づくりをし、他地域からの観光客がどんどん来てくれるような町づくりをし、市の財政面でも豊かになるようになったら良いと思います。／男性／70代／三郷地域／無職

○夏・冬の一時期だけでも使用できるエアコン付きのやや広い体育教室(小さな体育館)があればいいと思います(高齢者向けに)。／男性／80歳以上／豊科地域／無職

○新しい博物館は税金のムダ!・安曇野市の新しいロゴ…新しくできたパチンコ屋の壁と似ているのだけど…。安曇野市歌もムダなので、やめて下さい。／男性／20代／豊科地域／-

- 次世代（特に若い世代）につないでいけるような芸術を市のほうから発信して行ってほしい。／男性／10代／豊科地域／学生
- 他に見直しするべき事がたくさんある。／女性／70代／穂高地域／その他
- はこもの建物は今後造らないほうがよい。維持管理が大変なために経費削減のために。交流学習センターは5か所にはいらない。安曇野市が一つになったのだから、まとまるようにしていかなければ意味がない。／男性／60代／穂高地域／その他
- 松本市のような市民芸術館がほしい。旧5町村の体制のままといった現状は否めない。親子ファミリーで、終日楽しめるような“ちひろ美術館”的な拠点となる文化(娯楽)ゾーンがほしい。／女性／60代／穂高地域／その他
- 広報によるイベント情報が間近なため、あらかじめシフトに休みが取れず(土日が多く仕事になる)残念な思いを何度もしている。半年前や3か月前に情報が載ると助かるのですが。／女性／60代／穂高地域／主婦(主夫)
- 文化・芸術も必要ですが、そのために一戸一戸の負担にならないようならば賛成です。今のままででも支障がないと思います。／女性／70代／穂高地域／主婦(主夫)
- 安曇野は自然の宝庫である。特に昆虫に関しては日本のメッカ的場所もあり、専門家を始め愛好者が多い。それにも関わらず科学館といえるものがなく、あるといえば田淵記念館で、その知名度は地元の間でも極めて低い。安曇野をアピールする上で多くの専門家の標本を収容し、定期的に自然科学の専門家を呼んで、講演会を開く施設を造ったらどうかと思う。また、地元の間が自分も含め地元の歴史を知らなすぎる。加助騒動などをクローズアップするのではなく、もっと古代の安曇の歴史に光をあててはどうか。神話の時代に遡って安曇族のルーツをもっと掘り下げてみる。最近読んだ本で、この安曇が大和朝廷設立後、非常に優れた文化都市であったことを知った。善光寺の歴史、諏訪大社の歴史など、信州の歴史は極めて独特でそれを前面に出してアピールすればもっと活性化すると思う。それには地元民がもっと勉強することだ。／女性／50代／三郷地域／主婦(主夫)
- 20~30代が興味を持ちそうな催しを、たくさん実施していただきたいです。／男性／30代／穂高地域／会社員
- 薪能の時、席が空いているので、もっと市民に分かってもらえるように、無料券招待席を用意するといい？と思います。／女性／60代／明科地域／主婦(主夫)
- 自然景観という財産を生かした学習。地理、歴史、交通等。長峰山からの俯瞰、鳥の目感覚で。／男性／70代／明科地域／無職
- 安曇野スタイルは特にすばらしい取組みだと思います。これを期間を限ったイベントではなく、年間を通した取組みに発展させたいと思う。又、これに小中高生なども参加するような内容に拡大できたらいいと思います。／男性／60代／穂高地域／自営業
- 安曇野スタイルを充実させる。また、知らない人もいるので更にPRを推進したらどうか。／男性／50代／明科地域／公務員
- 今回の市民アンケートを細部まで公表し、多くの市民から意見を聞き入れるべきではないか。(少数の意見はこれまで公表されたことがないと思える。)箱物は不要と考える。それよりも現状にある施設や道路、水路などの長寿命化を望む。／男性／40代／穂高地域／公務員
- 私は、合併前より旧堀金村安楽寺跡に残る僧侶の墓地に関与してきましたが、私の出身地松本市よりも文化財に関しては一部何もしていない所が不満。墓碑の中には土中に埋もれた墓もありました。今すぐではなくとも僧侶の墓地を調査していただき、市の史跡に指定していただきたい。個人的には地元の保存会にお願いしたいが、市として何とかしてほしい。私にできる協力は惜しみませんのでぜひやってください。／男性／50代／三郷地域／会社員
- アンケートを見て、あまり文化面で充実していない気がする。／男性／40代／穂高地域／会社員
- これからの住人が、地域の行事等によって親睦を深め一つになって、住みやすい思いやりのある市、地域になってほしいと思います。／女性／70代／三郷地域／無職
- 美しいまち、山、宝を今のように保っていくこと。ほっとする、安心する所をこのまま保ってほしいと心より思います。／女性／70代／穂高地域／主婦(主夫)
- 若者向けのイベント、展示がほとんど無いように思います。直近では長野市でエヴァンゲリオン展示会、現在は上田市で藤子・F・不二雄展などが開催されていますが、安曇野市でも全国的に知名度が高い子どもから若者向けの展示をすることで若年層への文化振興が図れ、長期的な安曇野市の文化的発展が期待できると思います。／男性／20代／穂高地域／公務員
- しゃくなげ温泉が来年には完成とのこと。大町市の上原の湯、薬師の湯のように近所の人達とおにぎりや漬物を持って、一日中安い温泉代のみで休憩してこられるような大広間を造ってほしいです。私達のような年金暮らしの人には、安く一日中楽しんでこられる場所がほしいです。／女性／70代／堀金地域／農林業
- 情報教育の大切さ。子どもの頃より育まれた事は、年長いても感性豊かに関心を持てると思います。中央ばかりに集中せず、地域文化の拡充も図ってほしい。／女性／70代／豊科地域／主婦(主夫)
- 安曇野市文化・芸術を進めるのであれば、安曇野市らしいものにしてほしい。たとえば、北アルプス、常念、大天井をバックに開放的にオーケストラが演奏できる会場とか！／男性／60代／三郷地域／会社員
- 情報が貧しく何が行われているのか全く分からず、施設使用につながりません。／男性／30代／三郷地域／会社員
- 文化施設を市はどこまでとらえているのか。市の建設課？土木課？で作った施設で文化活動をしているのは文化施設ととらえていないのか？単なる退職者の施設と考えているのでは？その考えを改めない限り文化

- 都市にはならないだろう。／男性／60代／穂高地域／公務員
- 開館時間やコンサート・イベント（ワークショップなど）の開催時間が主に日中のため、参加できない。平日仕事を終えてから参加できるような企画が増えるとありがたい、そのためには民間事業者の介入も一案かと思う。公民館のホールが2階にあり階段昇降が必要なため、高齢者や身障者が行事に参加できない。今後、地域での文化芸術活動を支えていくのは高齢者であると期待されるため、身近な施設の移動環境や利便性を整えることが必須といえる。／女性／40代／三郷地域／会社員
- いろいろな催しに出てみたい（見てみたい）。以前住んでいた地域は500円～1,000円くらいの安価のため、毎月のように楽しむことができましたが、高額になると催しも選んでしまい、数が少なくなってしまう。手軽に楽しめたらもっと交流できそうな気がします。／女性／50代／明科地域／主婦（主夫）
- 現状のままでいいと思います。／女性／80歳以上／豊科地域／主婦（主夫）
- 安曇野市には古くからの伝統的な神社等数多くあるので、市民にも親しみやすい祭りなどの形で一般も参加しやすくしたら良いと思う。博物館、記念館…という少し構えてしまうので、入りやすい、入ってみたいと思える企画を希望します。広報などでもっと取り上げてみてはどうでしょうか。／女性／60代／穂高地域／主婦（主夫）
- 先日、小布施町に行ってきた。町の中心が観光地としてまとまっていて、人も多く、おしゃれな店も多く、とても楽しかったです。安曇野市は、五ヶ町村があつまってきた市なので、観光地があちこちにありますが、まとまりがないので、穂高のアートヒルズ美術館あたりを中心とした、活気のある店をあつめて、楽しいストリートを作れるといいなあと思いました（サイクリングロードの充実）。／女性／40代／穂高地域／主婦（主夫）
- 「文化芸術」といえば松本市の印象が強く（特に演劇や音楽等）安曇野市はまだまだ弱く感じる。／男性／20代／豊科地域／団体職員
- 美術館にしても他の～館においても、ただ展示するだけでなく、広い年齢にも受け入れられるイベント？や常に展示するなど工夫が大事だと思います。また、積極的にコンサートや観賞会等広い範囲で計画してほしいと思います。／女性／50代／豊科地域／主婦（主夫）
- 色々なイベントがあるようですが、チラシなどの案内が置いてある場所が少ないので残念です。一年間の美術館のイベントなどをまとめたものを広報に入れたりしてもらおうと参加しやすいです。／女性／30代／穂高地域／主婦（主夫）
- あちらこちらで合併特例債で建設、工事をしているが自然、緑を残す工事が全くなされていないと感じる。運動場、街路樹の木々は伐採されたり…全てコンクリートで作り替えられ文化や芸術を感じられない。図書館が充実していたり、クラシック等のコンサートが多いのは嬉しいことだと思います。／女性／30代／豊科地域／その他
- 自然はこれ以上なくさないでほしい。／女性／30代／三郷地域／主婦（主夫）
- 若者も興味がわくような活動をしてほしいです。／女性／20代／三郷地域／会社員
- このアンケート用紙、郵便代自体がもったいない。／女性／40代／穂高地域／自営業
- 建物は全部豊科地区への考えがある。他の地域には公民館以外に拠り所は何もない。農家の場合は夜に遠い場所まで出かけるのは不可能。／男性／80歳以上／三郷地域／農林業
- 安曇野において音楽に対しては楽器、声楽など盛んに行われてコンサート等も公民館、交流センターも予約でいっぱい聞いています。小さな（少人数）音楽会、楽器の演奏なども手軽にできるような会場を町内につくって、気軽に立ち寄れるところがあったら良いと思います。／女性／70代／豊科地域／主婦（主夫）
- 安曇野市文化振興計画があることをしりませんでした。が、アンケートを記入しているうちに、安曇野市の伝統、文化を理解し継承していくには、幼少の頃からこれらに少しでも携わっていなければ、何の興味も湧いてこないと思います。小学校、中学校の学童生活の中に週1時間でも取り入れたらどうでしょうか。／男性／60代／三郷地域／会社員
- 自分が知らなすぎるのだと思いますが、どういうことがされているのかが分からなかったり、土・日等も利用・鑑賞できるものなのかも分からないので、そういう点もおし出していいのではないのでしょうか。／男性／30代／豊科地域／会社員
- 文化・芸術を論ずる前に、有明の駅前などの整備をお願いします。燕岳をはじめ北アルプスの中間玄関としてあまりに恥ずかしい。／男性／50代／穂高地域／会社員
- 安曇野の風景等を描く方の美術館や展示会などがあつたら行きたい（購入したいがどこで売っているかわからない）。／女性／30代／堀金地域／会社員
- 退職して自由な時間ができ、さて市内の文化芸術にかかわりたいと思うようになりました。交流学习センターをチェックしようと思っています。楽しみです。／女性／60代／豊科地域／主婦（主夫）
- 先ず第一に望むのは、各種イベントが開催できる市民会館ホールの整備です。その上で、開催してほしいイベントとして「NHKのど自慢大会」及び「開運！なんでも鑑定団（テレビ東京）」です。いずれも安曇野市の存在を全国に発信できると共に、市民に一体感が生まれるものであると考えます。最後になりますが、市担当職員様の今後益々の御活躍を祈念申し上げます。／男性／40代／堀金地域／公務員
- 安曇野市民であり家族が出品したものを郷土博物館に見に行くのに入場料が必要なのはおかしいのではないかと思います。税金で運営しているのに充分市で管理できているとは思えない。草取りの動員があるのもおかしい。毎日職員は何をしているのか疑問に感じる。そもそも郷

- 土博物館が必要なのか。豊科には近代美術館もきぼうもあり統廃合も可能であると思う。税金の無駄づかいではないかと感じる。二度と見学に行かないだろうと思う。出品展示しても多くの人の目に触れないので出品者は気の毒だと思う。せめて展示にかかる費用を少しでも出費したらどうかと思う。／男性／50代／豊科地域／会社員
- 一部の方たちだけがおおいに盛り上がっているような感じはありませんか？関心がないわけではありませんが、もっと気軽に情報が得られ、参加できるように工夫してほしい。／女性／50代／穂高地域／その他
- 安曇野市最高!!もっとアピールしていけー!!／女性／10代／豊科地域／学生
- 施設の場所がわかりづらいので出席をあきらめてしまいます。／女性／60代／明科地域／主婦（主夫）
- 安曇野市はこれからの方向性のビジョンが確立していないところが問題点だと思う。箱物ばかりを作っても、それに見合う中味が充実していない。みらいの図書館など、もう少し温かみのある運営ができないものか。すべて、トップの方の意識の問題だと思います。／女性／70代／穂高地域／主婦（主夫）
- 今までも行ってきていることは知っているが、何とんでも安曇野としての名所、名物をテレビにもっと出して全国的に大きく行きわたるようにすることが望ましいように思う。何はともあれ、安曇野のもつ文化や名所が多くの人に人気をもたれることです。／男性／80歳以上／穂高地域／無職
- 小さい子供がいても利用しやすくしてほしい。／女性／30代／豊科地域／主婦（主夫）
- 興味がもともとある方には魅力的なイベントが多いが、新たに関心をもってもらうためのイベントが少ないと思うので、若い世代がおもしろそうと思うイベントの企画が必要だと思う。／女性／30代／穂高地域／自営業
- 小学生、中学生、高校生の吹奏楽を是非ききたいです。絵画、音楽大好きです。／女性／70代／三郷地域／無職
- 小規模（10人前後）なサークルの練習や活動する場所が少ない。是非充実してほしい。／男性／60代／穂高地域／農林業
- ドックランのようなものがほしいです。よろしくお願います。／男性／80歳以上／豊科地域／無職
- 豊科に規模の大きな公園、施設が偏り過ぎている。穂高、豊科と平等にするべきと思う（子供、年寄りが気軽に使える公園、施設の整備をしてほしい）。観光に力を入れるのもよいが、まず市民の盛り上がりが高まる工夫をするべきでは？子供の教育、小学生からパソコン、タブレット、英語の教育など力を入れてほしい。／女性／60代／穂高地域／主婦（主夫）
- 文化芸術の方向性は、ともかくとして安曇野市の情報発信の方法は改善の余地があると感じている。広報の配布方法も従来の区単位・常会単位の配布方法で良いものなのか？また、HPのレイアウトが見にくい。情報の発信と意見の収集をどれだけ可能にするかで政策を生み出す原点であると考えている。／男性／60代／穂高地域／会社員
- 隣接する松本市と一体となって企画などの充実を望む。安曇野市のみでの企画には、財政面や運営面で不備、不足があるような大きな企画などは特に広域企画を考えるべき。※松本市25万人、安曇野市10万人、合計35万人の人口をベースとしたスケールで実現できる企画を充実させ市民への案内を図るべし。／男性／60代／堀金地域／無職
- 文化芸術について若い人たちはどう思っているのか。実際には無関心ではないのか。イベントや行事など家族や年配層の方々ばかりだと思う。今後、どう伝えて行くか、どう興味をもってもらえるか。県外を見てみると美術館など若い人たちなどでにぎわっている。もちろん観光やさまざまな人々がいる。美術館等、今はそうっていない。現状の状態ではいけないのでは？／男性／20代／豊科地域／会社員
- 道祖神、せぎ、屋敷林など安曇野の自然の中でこそ守られねばならない文化だと思います。大きな看板や、のぼり旗、放置されたままのゴミなど、地域の方々とともに環境を整えていくべきだと思います。安曇野近代美術館14宮芳平展はとてもすばらしかったです。企画展楽しみにしています。また、高橋節郎記念館「アールヌーヴォーとアール・デコ」もたのしく鑑賞させていただきました（企画展などが無いと、また行こうとは思わないので、キュレーターの方ががんばってよい企画を考えて下さい。ぜひ行きますよ）。／女性／50代／明科地域／主婦（主夫）
- 主人89歳、私83歳、ただ今主人は病院へ入院中、私たち二人は他県の人間です。主人45歳、私40歳の時、豊科に参りました。すばらしい豊科、北アルプス、他風景にすっかり魅せられてしまい、二人で、第一に絵を描くことに出会い、42、3年間展示会等に出させていただき、私は木彫を36年も続けることができまして、二人とも楽しい人生を過ごさせていただきました。／女性／80歳以上／豊科地域／主婦（主夫）
- 子供のための科学館がほしい。中信地区にはないので。／女性／40代／豊科地域／主婦（主夫）
- 郷土の画家や美術家をもっと大事にしてもらって、作品をどんどん買いとって保存し、展示して行ってほしいと思っています。そして、未来に残すことも重要だと思います。／女性／50代／穂高地域／主婦（主夫）
- このアンケートをどうしていくのか、1,500もの人にこれを書いてもらって実際どうするのかわかりません。文化芸術というに限られた人たち、集団の中で限られた活動をしているというイメージがあります。イベント等も伝わっていないというか、知らなかったものも多くありました。昔ながらの閉鎖的イメージで、入りづらい感じをなくしないと広がらないでしょう。／女性／50代／穂高地域／その他
- 毎年ある時期、全国から絵画を集めた展覧会を開催する企画を立ててほしい。モデル：枕崎市のビエンナーレ。



／男性／60代／堀金地域／その他

- 施設や人件費への投資を削減して、だれもが気軽に参加、体験できる方途を講じていただきたい。／男性／70代／穂高地域／農林業
- 安曇野市から文化芸術という話は全く何も聞かされていない。これを出発点としたいのだろうか？何とも姑息なまとめ方だ。こんな方法を取る前に「市長と語る会」で市民との意志疎通を図ったどうか？文化だ、芸術だっていっているけどまず市民の気持ちとの融合を図るべきではないのか？／男性／50代／穂高地域／公務員
- 見たいものは松本市のほうが多い。チケットを買って楽しみにして行くような催しがあるといいのだが思い当たらない。／女性／50代／豊科地域／公務員
- 松本市の小澤征爾音楽祭のように1本柱をもつていいと思います。宝塚を年1回半月公演するとか…。松本、大町（白馬、小谷）と一緒に北アルプス山岳フェスティバルをするとか…。／男性／50代／穂高地域／公務員
- 以前、豊科に住んでいた時は「きぼう」が利用しやすく、図書館として充実していた感じがしましたが、穂高に引っ越してからは「みらい」に行ってもあまり魅力がありません。堅苦しい本が多く、空間も寒々しい感じがします。子どもの絵本コーナーも変わった作りになっていて、大人が絵本を探しにくい構造です。私は宝塚ファンですが、市内に宝塚歌劇の公演ができるようなホールを作ってほしいです。／女性／50代／穂高地域／公務員
- 塩尻市のえんパークのように自由に若者～各団体が使える文化施設環境がさらに整うと利用しやすいと思います。今ある美術館や博物館でもイベントや音楽などと合わせた展示を考える等より一層の工夫があれば行きやすい（市民は安く見られるとか）。イートインスペースの導入。市民向けウォークラリーなどで博物館めぐりとか、地元でも知らない所が多いので。／女性／50代／豊科地域／公務員
- 今まで行われているイベントがあることを知らなかったの、ピーアールにもう少し力を入れたらいかがでしょうか？／女性／50代／三郷地域／会社員
- 関心はありますが年齢的に自分での行動ができない。やはり市の職員の皆さんが、できれば各地区（部落）まできめ細かく情報の主旨を徹底してくださるようお願いいたします。／男性／80歳以上／堀金地域／農林業
- 美術館、記念館も行ってみたい気持ちもあるが、なかなか一人では行けない。また近くを通ってみても来館者の姿も見えず、いつもひっそりしていて…入る勇気がない。イベント等はこれからどんどん行ってみようかなあ。／女性／60代／豊科地域／無職
- 歌手などが来てもらえる建物などがあればいいと思っています。／女性／50代／明科地域／会社員
- 安曇野は文化芸術の基礎になるものは沢山あると思う。でも市民がそれを意識しているか、わかっているかという否定的になる。経済と結び付けるのか？本当に文化芸術をきちんとやってゆくには、お金がかかることでもあると思うけれど、ただ赤字にならなければいいという

考え方はしたくない。市民が自分のまわりにあるものの良さに気づいてゆくことも大切と思う。／女性／60代／明科地域／主婦（主夫）

- 素人にも親しみやすいイベントを企画し、参加しやすい方法を工夫してほしい。学校図書館の運営を民間に移行する考えがあると聞くと、猛反対。学校教育の一環の中で工夫、進展を図るべきである。／男性／70代／豊科地域／農林業
- 老人の身体的不自由、生活僻地が土台にあつて意欲はあってもかなわない。／男性／80歳以上／豊科地域／公務員
- 穂高神社につくられた新しい道祖神ですが、なんだか現代すぎてあわない、トイレが汚い等関係ないかもしれませんが、建てる前には市でも検討しないのでしょうか？残念です。／女性／30代／穂高地域／会社員
- 臼井吉見「安曇野」と島崎藤村「夜明け前」を学んでいます。先立ちの先生方には感謝しているのみです。市に対しても。私にとって、月に2～3回の非日常は欠かせませんが、市の方々には意見を上げて反映して下さいれば幸いです。／男性／70代／堀金地域／自営業
- 単に箱物を作らないでほしいですね。／男性／50代／穂高地域／会社員
- できれば、松本文化ホールのような建物が安曇野市の中心にあればいろんな催し物に使えるのではないかと思います。松本まで行かなくてすむ。／女性／70代／穂高地域／主婦（主夫）
- 図書館を充実させてほしい。特に移動手段のない子供、お年寄りの方も気軽に利用できるよう、きぼう、みらい以外の図書館をもっと使いやすくしてほしい。公民館の利用をもっとしやすくしてほしい。例えば、サークルなどで先生を呼んで何かを習いたいと思っても、先生へお金を払うとなった場合、かなり高額の使用料となってしまうので…。文化芸術が根付くには、やはり小さい頃からの体験が大切だと思うので、親子で参加できるようなコンサートや、体験型の展示会がもっとあるといいと思います。期待しています。／女性／40代／三郷地域／主婦（主夫）
- 誰もが興味があるわけではないので難しい課題かと。／男性／40代／豊科地域／会社員
- 各々の施設のHPを充実させるべき。もっと施設を利用してイベント（特に子供向け）を行ったほうが子供が興味をもつきっかけになるのでは？と思う。／女性／30代／堀金地域／-
- 仕事に追われている人にも利用しやすい環境を整えていただきたいと思います。／女性／50代／三郷地域／会社員
- 地域、地域の歴史ある伝統文化保存物に協力を願いたい。／男性／70代／三郷地域／農林業
- 文化芸術施設はかなり多い方だと思うが、それを利用する側が少ないのでは？他県の観光客が多く利用するのでそういうニーズを狙った方向で施設を考えるべきでは？／男性／50代／堀金地域／自営業

- 身体の不自由の人のため近くでありたいと思います。／女性／80歳以上／穂高地域／主婦（主夫）
- 文化施設や行政施設などの箱物は充実し飽和状態なので、人的活用のソフト面に注力してほしい。大規模予算を投じるのではなく、ボランティアを最大限活用するなど市民の連携を深めて各種活動の輪を広げて皆が容易に文化に触れることができるまちづくりを望みます。／男性／60代／穂高地域／無職
- 施設によってはもう少し工夫があつてと思います。このアンケートの結果がより良い文化のまちづくりに活用されることを願います。交通手段についてはあづみんの運行方法の改善が必要なのではと日頃思っております。／女性／60代／穂高地域／主婦（主夫）
- 姉妹都市オーストリアの合唱団を呼んで地元の子もたちとコラボさせ全国に発信しましょう。芸術鑑賞後にグランピングをするような流れはいいなあと思う。ツリーハウスからプロジェクトマップピングを見るなど。／女性／50代／堀金地域／会社員
- ここ安曇野市に移り住んで50年、若い時には移動するにも平気だったが、年と共に行動範囲が狭くなり、手段も人頼みとなると市の中心部に出掛けるにもままならずいるが、もっと良い交通手段があればと思っている。／女性／80歳以上／豊科地域／無職
- 山岳観光に積極的に取り組んでいただきたい。／男性／60代／豊科地域／会社員
- 市内で行われている行事など、情報が少なすぎる。どこで、どのようにボランティアが実施されているか分からないので参加したくてもできない。市民の言葉が幹部に通じていない。市民が積極的に取り組めるような計画をしてほしい。施設が新しくなっただけで内容が以前と変わらない。もっと活用できるすばらしいことを考え、市全体で協力しあえる町づくり、住み良い町づくりをお願いしたい。／女性／40代／穂高地域／会社員
- 私の同世代の人は、あまり文化芸術などに興味をもっていない人が多いと思います。20代の人でも興味をもてるようなイベントなどを増やせば良いと思います。／女性／20代／穂高地域／自営業
- 豊かな自然や景観と調和した文化に重きをおくべきで、美術館など数多くても現状道の看板や目障りな建物が多すぎ。せつかくの美しい景観がまったく生かされていない。／男性／60代／三郷地域／会社員
- 文化施設への民間事業者の導入については、学芸員が常駐することや、利益を求めすぎてサービスが低下するといったことがないのであれば、導入も悪くないのではと思う。ただ、市として何らかの形で運営に関わってほしいと思う。／女性／30代／豊科地域／公務員
- 美術館は多いが細分化しすぎていて興味がなければ全く足が向かないので、総合的な施設や、その施設の専門以外のイベントの企画など工夫してほしい。イベントの周知も不足を感じる。／女性／30代／明科地域／主婦（主夫）
- 文化芸術施設は子供や若者には興味をもてるような展

- 示ではない。親が行っても子供は行かない。※1度行けば2回目はなかなか行くことがない…。イベントは、音楽などに興味のある方や時間の余裕のある方の祭のように感じる。文化芸術は私のように県外から移住した者には、大変めずらしく、活気あふれ、楽しい町に感じられるが、生まれ育って年老いた人達はどうか。外出もせず、テレビを見たり、お茶を飲んだり、文化という色さえ消えている。小さな子供達は親がいなければ、文化芸術に参加したりすることもできない。文化とはそういうものですか？育まれるとは？だれ？のこと？／男性／50代／穂高地域／公務員
- 制作者として安曇野スタイルや安曇野さんぼなどに参加したいが、どうやって登録すれば良いのかよくわからない。参加するための敷居が高いと思う。松本のクラブフェアのように認知度があれば良いと思う。あと穂高以外の催事の情報が少ない気がする。切実にv i f穂高で行われるコットンセールの開催日の情報がほしいです。制作者への何らかの援助が得られればとても助かります（宣伝用のHPの作成とか）。／女性／40代／穂高地域／会社員
- 70歳以上入館料無料の範囲を市内居住者に限らず（お客さんや旅行者にも）広げると良い。できることなら65歳以上も割引にすると良い。／女性／60代／穂高地域／主婦（主夫）
- 文化芸術に、振興に力を入れてもただのうわ物作りに力を注ぐ（採算がとれないという意味）という風にしかなくなっていきたくないと思います。集客率のある人口の多い首都圏にはかないません。またここに住んでいる人達の大部分が文化にふれているような環境にはいない状況であるのに無理に文化を作り上げることは難しいと思います。それよりこの立地（自然）を生かした町づくりや自然の中でこそしかできない文化を模索するべきではないでしょうか。／女性／40代／豊科地域／団体職員
- 文化会館等の箱は必要ないし今有る施設を活用すれば良い。施設への民間の管理を導入して税金を他のほうへ使ったほうが良い。コンサート等は松本へ行くので施設は必要ない。／男性／60代／穂高地域／無職
- 文化祭&芸術等の年間スケジュールが知りたい。／男性／70代／三郷地域／自営業
- 地域特異的な文化等は継承等していく必要があると考えるが、設備・施設の拡張等に関しては費用対効果に見合った形で進めてほしい。民間運営の導入に関してもその場だけや短い期間では意味がないと思う。継続維持をするために何をすべきか、必要かをよく議論して検討してほしい。／男性／30代／三郷地域／会社員
- 「きぼう」2階ホールで映画会があるようですが、時々、安曇野市在住、松本地方にお住まいで色々の分野の方のお話を聞く会をつくっていただけたらと思います。「市民タイムス」のコラムを執筆されている方々で直にお話を聞いてみたいと思う方が大勢います。／女性／70代／豊科地域／農林業
- 質問8アに対して一言。安曇野をイメージして訪れる

人々が感じているのは、見える山と水田、川と水車のワサビ畑→1つの企業に頼っている。本当の安曇野の良さを市が先頭を切って整えるべきだと思う。これが本当の安曇野だという風景を!!/女性/70代/穂高地域/自営業

- 人口が減少する中で、安曇野市の自然を生かし県外からの若者が農業等資金的援助を通して子供が大勢遊ぶ市にしたい。市議会議員に有能な人材が積極的に出られるような地域のあり方を進めていただきたい。/男性/60代/豊科地域/その他
- 少し内容には合わないかもしれませんが、私は拾ヶ堰がとても好きなので安曇野市に住んでいる方にも観光の方にもその歴史をもっと知ってほしいと思います。このアンケートが役立つかは分かりませんが、生まれ育った安曇野がより良い土地になることを願っています。ありがとうございました。/女性/10代/穂高地域/学生
- 小中学生や一般市民に美術館や博物館に足を運ばせる、いろんな企画(スタンプラリー等)がありました。景品に工夫がほしいです。せっかく何か所もまわってお金を使っても(親は料金が必要ですので)心躍る景品でないともた足を運ぶことにならないからです。以前いただいて嬉しかったのは美術館のチケットでした。楽しい企画の時にもう一度行ってみようと思うからです。景品目当てというあまり教育的ではないかもしれませんが、親が美術館に興味がない家庭の子どもは、なかなか美術館には連れていってもらえません。きっかけは大切です、美術に更に興味をもてる景品を是非工夫して下さい。近代美術館の夏の企画、田淵記念館の冬の企画は、子どもたちを呼ぶいい企画だと思います。美しい自然に囲まれて育っている安曇野の子どもたちは、すでに美的感覚に優れていると思いますので、教育現場と連携して子どもたちの感性を更にのびして下さい。勝手なことをいろいろ書いてしまい申し訳ありません。よろしく願います。/女性/40代/堀金地域/主婦(主夫)
- 1,000人程度収容可能な、舞台芸術(音楽演奏も含む)を鑑賞できる施設がほしいです(経済的には、建設費、維持費の負担が大きく困難だろうとは予想できますが…)。/女性/40代/三郷地域/その他
- 安曇野市の景観は悪すぎる。パチンコ、スーパーなど大型店の規制をしっかりと行って美しい景観を作してほしい。あと、水の会社も規制するべき。水が草木を育て景観を作る。美しく豊富な水資源を守っていかないと。長期的に景観を守るっていうのはそういうことだと思う。/男性/30代/穂高地域/農林業
- 1.安曇野市の文化芸術と一言で表現しても内容は多方面にわたり、定義が不明です。2.図書館、美術館の有無ではなくここにある内容が市の文化芸術をどこまで追求しているか知りたい。/男性/70代/穂高地域/無職
- 市営施設以外の小さな記念館等の文化施設は、入館者も少なく財政的に苦しんでいます。今年から一般財団法人には法人税制、固定資産税がかかるようになり、協力し

ている人はわずかな手当のボランティア状態で働いています。小さな文化施設が成り立っていただけるよう配慮をお願いします。/男性/70代/穂高地域/自営業

- なかなか都合で参加できませんでした。興味はなくはありませんがどこにどう問い合わせたらいいのかわかりません。もう少し詳しくわかるようなことがあればいいと思います(例えばこういうことをやりたいけれども、どこに問い合わせたらいいのかわかりません!パンフレットなど役場に行けばたまにあるのですが)。/女性/50代/三郷地域/主婦(主夫)
- 地域により、かたよりがあると思います。市からの発信を活発にしてほしい。/女性/60代/三郷地域/主婦(主夫)
- 体育館計画の中にバレーボール、バスケットボール等プロ、ノンプロ等の公式試合ができるような構造をもった施設にして頂ければと思う。/男性/70代/豊科地域/農林業
- 「気軽に」という部分がないと思う。参加しにくい。安曇野市として多方面に手を広げすぎないほうが良いと思う。例えば飯田市=人形劇、松本市=サイトウキネン等みたいに1つのことからスタートすると良いのでは。/男性/40代/三郷地域/公務員
- 野焼きがなくなったほうがよい。公共交通が充実するとよい(特に路線バス)。/女性/50代/豊科地域/主婦(主夫)
- 俳句をやっていますが旧町村で個別にやっています。ぜひ安曇野市全体の俳句大会を1年に1回催すことができたら良いと思います。豊科では子供達にも俳句に興味をもってもらうようジュニア部の俳句大会も行っていますが、これも安曇野市としてやってもらいたい安曇野市を俳句の里としていけたらと希望しています。よろしく願います。/女性/70代/豊科地域/農林業
- 文化芸術に関する企画、活動は比較的盛んだと思います。地区別に行われている芸能発表会などは、できれば合同で一か所で開ければ良いと思います。そのためにも大規模な「文化会館」の建設を近い将来実現すべく御努力願いたい。/男性/70代/三郷地域/無職
- 文化芸術施設、高橋節郎記念館etc.りっぱな施設で展示物もすばらしいのを見学している人がいないのは残念です。詳しくはホームページでといわれても…見ることができない人は、それで終わりです。案内の方法など窓口を広くして下さい。/女性/60代/穂高地域/主婦(主夫)
- 以前から伝統工芸の職人に憧れていて、Uターンして仕事を探す時に少し考えたことがありました。当時本気で探した訳ではありませんが、特に松本~安曇野で思いつく物がなかったです。全国的に見ても継承者不足でなくなっていく物ばかりでした。今でも安曇野市にあるのか?思いつきません。『ガラス、クラフト』など目新しい物も楽しいですが、よそから入って来る芸術はあっても、この地から育たないのはなぜでしょう?/女性/40代/穂高地域/主婦(主夫)

- 市役所は文化的建造物か。／男性／70代／豊科地域／無職
- 安曇野市の文化芸術というものが何なのか良くわからない。／女性／40代／明科地域／主婦（主夫）
- 一般的に文化というと敷居が高い気がします。例えば、田淵行男記念館なら、隣接しているビレッヂと駐車場を一つにして散策しながら鑑賞したり、産地の物を購入したついでにみやすいような構造にする。飯沼飛行士記念館なども移築する、とか。入場料の割に見学する価値があるのかな？ という気持ちが先に立って、入館したことがありません。飛行士記念館なら、夏休みに子供向けにイベントするとかどうでしょう？／女性／40代／穂高地域／その他
- 自然に恵まれている安曇野。文化芸術に関心をもつ年代は日々の生活に追われ、なかなか鑑賞や参加できる機会が少なかったかと思います。観光客の方々が多く訪れる安曇野…もっと地元の人に目を向けていけたらと思っています。／女性／50代／穂高地域／-
- 小学生を中心に伝統文化、食文化について教える機会を増やすべき。地域のつながりがうすくなっているように思えるため、常会や公民館に入ること、市からも勧めるべき。／男性／40代／穂高地域／公務員
- 豊科付近は交通の便が良いかもしれないが、山に近い所などは交通が不便な地域が多く、イベントがあっても行こうと思えない。／女性／30代／穂高地域／会社員
- 穂高の祭りに小学生が積極的に参加してもらったり、親子で参加できるような団体？とかで参加するイベント行事を増やしたほうが良いと思います。／男性／20代／穂高地域／会社員
- 子育て中で、なかなか文化芸術を見ることができない。子どもが大きくなって地元の施設と一緒にまわれたらいいなあと思いました。／女性／30代／明科地域／-
- 安曇野スタイルなどに参加したいが小さな子どもと一緒に楽しめるものがないので機会がない。大人も子どもと一緒に参加できる地域のイベントが増えたら良いと思う。情報が少ないのでいつイベント等が行われているかわからない。市のHPなどをもっと情報源にできるよう充実してほしい。／女性／30代／穂高地域／自営業
- 安曇野市には県外からの定住者が多くなってきているので、その方々からの意見を聞いてみると良いと思う。習い事を紹介してくれる一覧表を広報に載せて保存版として取っておけるとうれしい。／女性／50代／三郷地域／主婦（主夫）
- 年齢的にすべて無理です。／女性／70代／豊科地域／農林業
- 10代～20代の若者が積極的に文化活動に参加するようにまずは興味を抱く契機をつくるのが大切だと思います。文化芸能に少しでも関心があれば自然と施設にも足を運ぶ機会が増えるのではないかと思います。安曇野市にある良き文化芸術を若者は深く知ることが実効性を高めることに必要ではないかと感じます。／男性／10代／明科地域／学生
- 生活していくことが忙しく、なかなか文化芸術に時間を使うことがないためか、現在どのような活動をしているのか不明。以前に近代美術館の展示内容をテレビで宣伝していた時は「行ってみたい」と思いました。文化芸術等で活躍された先人には、どのような方々がいらっしゃるのか知りたいと思いました。／女性／50代／豊科地域／会社員
- 子供大切。／女性／80歳以上／穂高地域／主婦（主夫）
- 以前、茅野市へコンサートに行った時、駅の近く（構内？）に文化施設が沢山集まっていた（図書館、コンサートホール、レストラン etc）。年を重ねると移動も大変になってくるので、そのような場所があると有り難いです。色々和建设すると費用もかかるとは思われますが、未来を考えると今後そのような計画があるとすれば一考をお願いしたいものです。／女性／60代／穂高地域／主婦（主夫）
- 合併前に施設の整備が遅れ、他の地区より少ない計画された催しに参加する交通の手段も高齢者にはない。あずみんについても堀金地区、穂高地区への乗り入れが出来るように考えてほしい。今後施設を造るときは南にも目を向けてください。／男性／80歳以上／三郷地域／無職
- 安曇野の文化芸術施設は安曇野の自然の中に納まっていたほしい。敷地を大きくとり、樹木を、芝生などをなるべく自然にし、山の眺望をよくして、来訪者が写真（カメラ）でも楽しめるようにしたい。現代的には、PRを適切に多くすることが客を呼ぶことになる。住民を教育し、住民が案内することが大切。／男性／80歳以上／三郷地域／農林業
- 若者の集まり易いジャンルのコンサートライブ等があると盛り上がると思います。文化芸術ではありませんが、スポーツイベントもおもしろいのは。／男性／40代／豊科地域／その他
- 大人は行く勉強になるが、子ども達にはよくわからず「ふーん」ですんでしまう。小学生の子ども達にも、もっとのめりこむような向け方があったら、もっと進んで利用したいと思っています。／女性／40代／三郷地域／主婦（主夫）
- 私は文化芸術に興味がないのではなく、仕事の都合上、市での催しになかなか行くことができません。図書館へ行くことと講演会等は自分の時間に合うと行くように心がけていますが、自分の好きなものを選んでいたいと思います。そうすると行く範囲も限られてしまいます。もっと自分自身の興味を広げたいと思うのですがなかなか…です。／女性／60代／穂高地域／主婦（主夫）

# 文化振興に関するアンケート

## 調査結果報告書

### 【団体対象】

平成 28 年 1 月

安曇野市

## 調査の概要

### 1 調査の目的

安曇野市では、平成23年度に「安曇野市文化振興計画」を策定し、この計画に基づいて文化振興の諸施策を進めております。この計画期間は平成29年度までとなっており、現在、中間での評価、特に実施目標を短期に設定した事業の評価が必要となっております。また、計画の進行管理にあたっては、アンケート等により、文化振興の主役である市民の声が計画に反映できるよう努めることも掲げられています。このような状況を踏まえ、今回、中間評価に必要な基礎資料とするため、市民アンケート調査を実施しました。

### 2 調査設計

- 1) 調査対象 安曇野市内で文化芸術活動を行っている団体
- 2) 調査方法 郵送により配布、郵送により回収
- 3) 調査期間 平成27年10月19日～11月16日
- 4) 配布数 124票
- 5) 回収数 101票
- 6) 回収率 81.5%

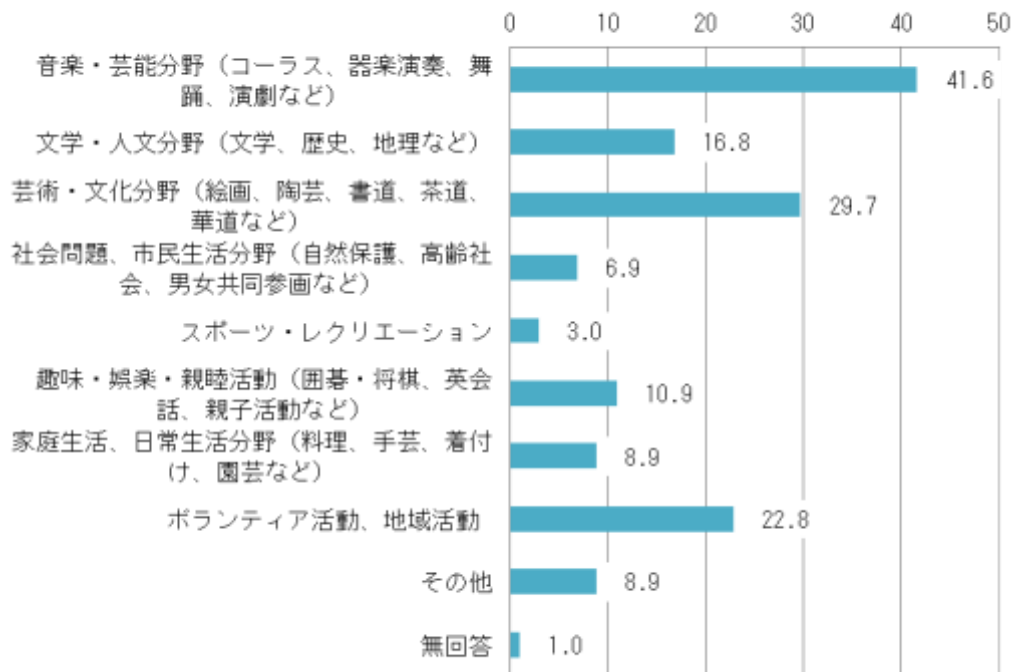
### 3 集計上の留意点

- 1) 回答率(割合(%))は、小数点第2位を四捨五入して、小数点第1位までを表記しました。このため、合計が100%にならない場合があります。
- 2) 複数回答方式(マルチ回答)の設問では、回答率(割合(%))は回答者総数に対する回答数の割合を示しています。したがって、回答率の合計は100になりません。同様に、回答数の合計は回答者総数とは一致しません。
- 3) クロス集計は活動分野・構成人数・活動頻度・活動年数別について行い、主なもののみを記載しました。

質問2 主な活動分野をお答えください。(3つまで複数回答)

	回答数	割合 (%)
音楽・芸能分野 (コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など)	42	41.6
文学・人文分野 (文学、歴史、地理など)	17	16.8
芸術・文化分野 (絵画、陶芸、書道、茶道、華道など)	30	29.7
社会問題、市民生活分野 (自然保護、高齢社会、男女共同参画など)	7	6.9
スポーツ・レクリエーション	3	3.0
趣味・娯楽・親睦活動 (囲碁・将棋、英会話、親子活動など)	11	10.9
家庭生活、日常生活分野 (料理、手芸、着付け、園芸など)	9	8.9
ボランティア活動、地域活動	23	22.8
その他	9	8.9
無回答	1	1.0
回答者総数 (%ベース)	101	100

主な活動分野 (総数101、3つまで複数回答、単位%)



●回答団体は「音楽・芸能分野」が最も多く約4割

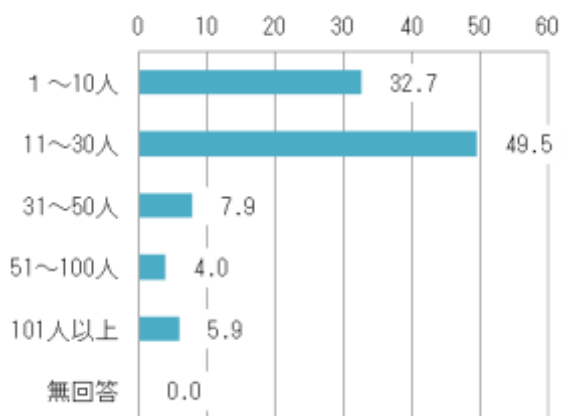
「音楽・芸能分野」が最も多く41.6%、次いで、「芸術・文化分野」が29.7%、「ボランティア活動、地域活動」が22.8%などとなっています。

【「その他」の主な記述内容】ビデオ | 童謡フェスティバル・つどい | 写真 | 郷土芸能保存・伝承 | 新聞発行

質問3 団体の構成人数について、お答えください。

	回答数	割合 (%)
1～10人	33	32.7
11～30人	50	49.5
31～50人	8	7.9
51～100人	4	4.0
101人以上	6	5.9
無回答	0	0.0
回答者総数 (%ベース)	101	100

団体の構成人数 (総数101、単位%)



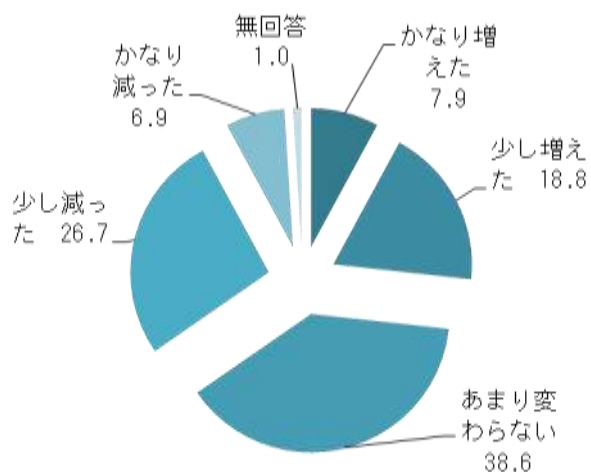
● 「11～30人」が最も多く約5割

「11～30人」が最も多く49.5%、次いで、「1～10人」が32.7%、「31～50人」が7.9%などとなっています。

質問4 団体の構成人数について、5年前との増減状況をお答えください。

	回答数	割合 (%)
かなり増えた	8	7.9
少し増えた	19	18.8
あまり変わらない	39	38.6
少し減った	27	26.7
かなり減った	7	6.9
わからない、設立以前である など	0	0.0
無回答	1	1.0
回答者総数 (%ベース)	101	100

団体の構成人数について、5年前との増減状況 (総数101、単位%)



● 4割近くが「あまり変わらない」

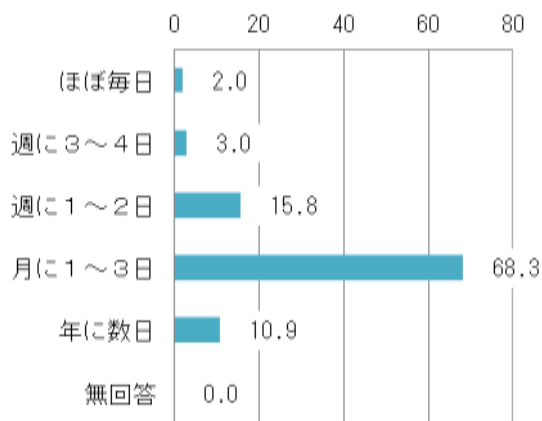
「あまり変わらない」が最も多く38.6%、次いで、「少し減った」が26.7%、「少し増えた」が18.8%などとなっています。「かなり増えた」「少し増えた」が合わせて26.7%、「少し減った」「かなり減った」が合わせて33.6%で、全体としてやや減少傾向にふれています。



質問5 団体の活動頻度について、お答えください。

	回答数	割合 (%)
ほぼ毎日	2	2.0
週に3～4日	3	3.0
週に1～2日	16	15.8
月に1～3日	69	68.3
年に数日	11	10.9
無回答	0	0.0
回答者総数 (%ベース)	101	100

団体の活動頻度 (総数101、単位%)



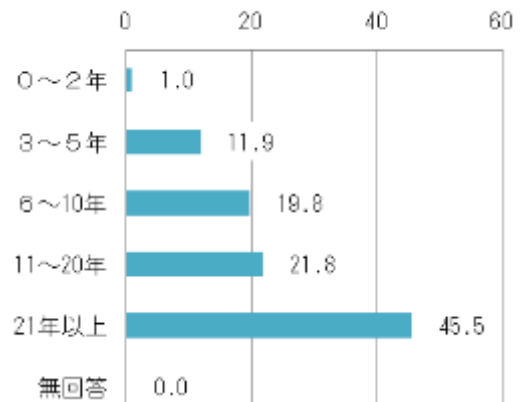
●「月に1～3日」が最も多く約7割

「月に1～3日」が68.3%で最も多く、次いで、「週に1～2日」15.8%、「年に数回」10.9%などとなっています。

質問6 団体設立からの活動年数について、お答えください。

	回答数	割合 (%)
0～2年	1	1.0
3～5年	12	11.9
6～10年	20	19.8
11～20年	22	21.8
21年以上	46	45.5
無回答	0	0.0
回答者総数 (%ベース)	101	100

団体の活動年数 (総数101、単位%)



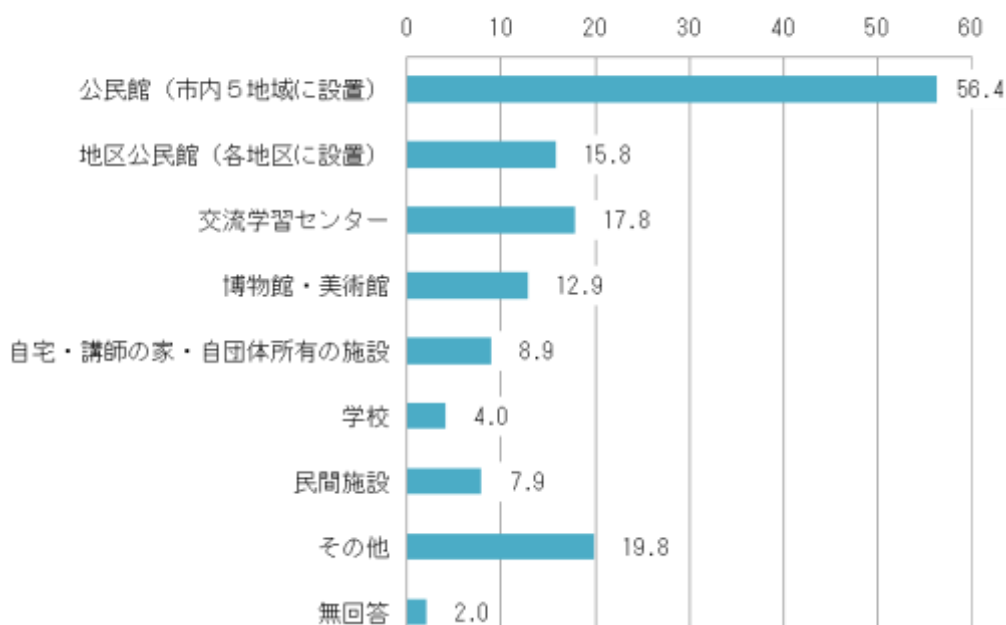
●全体に長い活動歴

「21年以上」が最も多く45.5%、次いで、「11～20年」が21.8%、「6～10年」が19.8%などとなっています。11年以上を合わせると67.3%で、全体に長い活動歴を有しています。

質問7 団体の「活動・練習」に使用している主な場所をお答えください。

	回答数	割合 (%)
公民館（市内5地域に設置）	57	56.4
地区公民館（各地区に設置）	16	15.8
交流学习センター	18	17.8
博物館・美術館	13	12.9
自宅・講師の家・自団体所有の施設	9	8.9
学校	4	4.0
民間施設	8	7.9
その他	20	19.8
無回答	2	2.0
回答者総数（%ベース）	101	100

団体の「活動・練習」に使用している主な場所  
 （総数101、2つまで複数回答、単位%）



●「公民館」が半数を超える

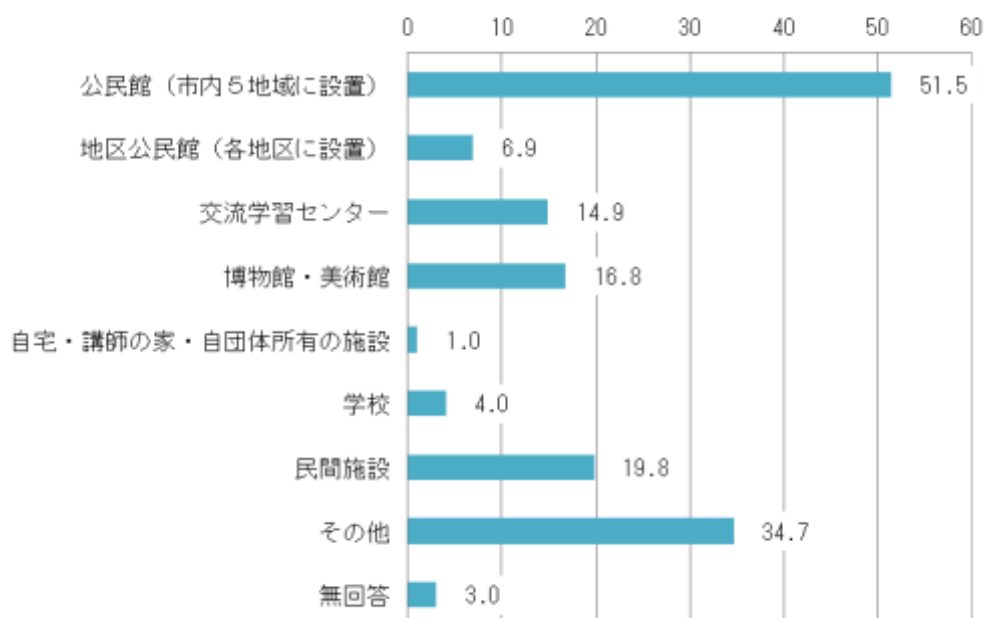
「公民館」が56.4%で最も多く、次いで、「その他」19.8%、「交流学习センター」17.8%などとなっています。「その他」が19.8%ありますが、記入内容はさまざまです。

【「その他」の主な記述内容】市役所・支所 | 穂高神社 | 社会福祉協議会 | 老人福祉センター | 松本市内の公民館 | フィールド（野外） | 生涯学習センター | 穂高会館 | 保健センター | 勤労者福祉センター | 児童館 | 社会体育館 | 市民活動センター | まちづくり会館

質問8 団体の「発表・展示」に使用している主な場所をお答えください。

	回答数	割合 (%)
公民館 (市内5地域に設置)	52	51.5
地区公民館 (各地区に設置)	7	6.9
交流学习センター	15	14.9
博物館・美術館	17	16.8
自宅・講師の家・自団体所有の施設	1	1.0
学校	4	4.0
民間施設	20	19.8
その他	35	34.7
無回答	3	3.0
回答者総数 (%ベース)	101	100

団体の「発表・展示」に使用している主な場所  
(総数101、2つまで複数回答、単位%)



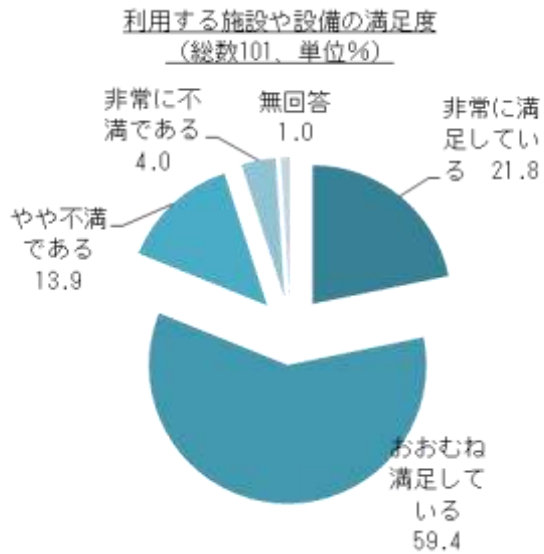
●「公民館」が約半数

「公民館」が51.5%で最も多く、次いで、「その他」34.7%、「民間施設」19.8%などとなっています。「公民館」が多いのは質問7の「活動・練習」と同様ですが、「発表・展示」では「その他」と「民間施設」が大きく増えているのが特徴的です。

【「その他」の主な記述内容】松本市音楽文化ホール：8件 | キッセイ文化ホール：3件 | 松本市民芸術館 | デイサービスセンター・福祉施設：5件 | 児童館・保育所 | 駅構内 | 神社・仏閣：4件 | イベント・コンクール参加：6件 | デパート

質問9 団体が利用する施設や設備の状況について、お答えください。

	回答数	割合 (%)
非常に満足している	22	21.8
おおむね満足している	60	59.4
やや不満である	14	13.9
非常に不満である	4	4.0
無回答	1	1.0
回答者総数 (%ベース)	101	100



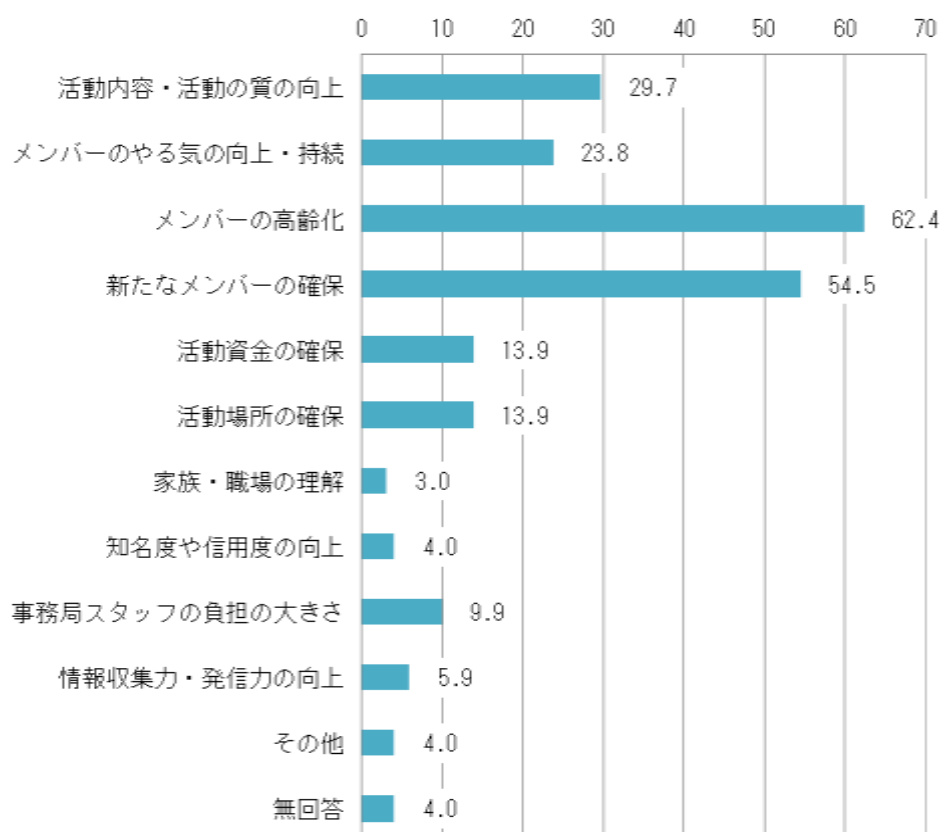
●約8割が「満足」

「非常に満足している」「おおむね満足している」を合わせると81.2%が満足と回答しています。

質問 10 団体の活動に際しての課題についてお答えください。

	回答数	割合 (%)
活動内容・活動の質の向上	30	29.7
メンバーのやる気の向上・持続	24	23.8
メンバーの高齢化	63	62.4
新たなメンバーの確保	55	54.5
活動資金の確保	14	13.9
活動場所の確保	14	13.9
家族・職場の理解	3	3.0
知名度や信用度の向上	4	4.0
事務局スタッフの負担の大きさ	10	9.9
情報収集力・発信力の向上	6	5.9
その他	4	4.0
無回答	4	4.0
回答者総数 (%ベース)	101	100

団体の活動に際しての課題（総数101、3つまで複数回答、単位%）



●人に関する課題が上位を占める

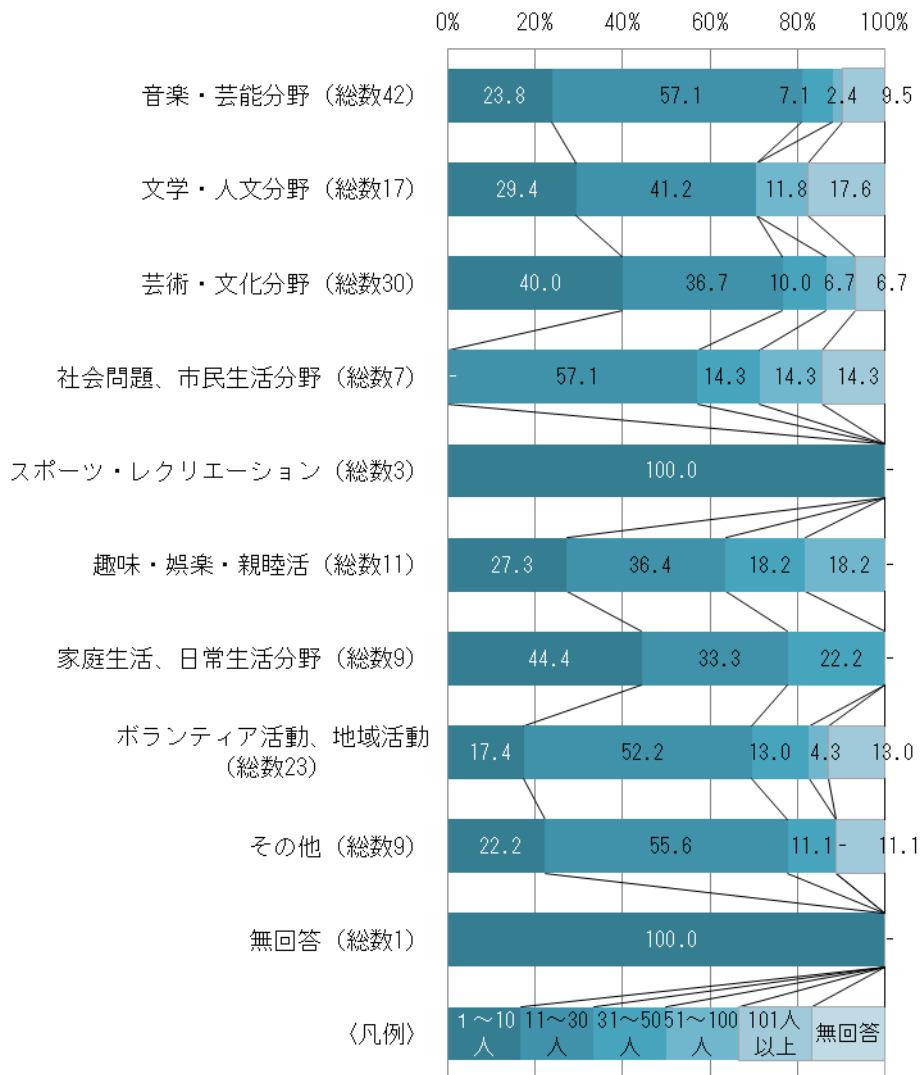
「メンバーの高齢化」が 62.4%で最も多く、次いで、「新たなメンバーの確保」54.5%、「活動内容・活動の質の向上」29.7%、「メンバーのやる気の向上・持続」23.8%など、人に関する課題が上位を占めています。

【「その他」の主な記述内容】人が多くなり過ぎて困っている | メンバーの高齢化に関連して施設のバリアフリー化が必要 | 補助スタッフの不足 | 責任者になるといろいろな会合への出席要請が多くなる

活動分野別●質問3 団体の構成人数について、お答えください。

上段：回答数 下段：割合（％）	合計	1～10 人	11～30 人	31～50 人	51～100 人	101人以上	無回答
音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など）	42 100.0	10 23.8	24 57.1	3 7.1	1 2.4	4 9.5	- -
文学・人文分野（文学、歴史、地理など）	17 100.0	5 29.4	7 41.2	- -	2 11.8	3 17.6	- -
芸術・文化分野（絵画、陶芸、書道、茶道、華道など）	30 100.0	12 40.0	11 36.7	3 10.0	2 6.7	2 6.7	- -
社会問題、市民生活分野（自然保護、高齢社会、男女共同参画など）	7 100.0	- -	4 57.1	1 14.3	1 14.3	1 14.3	- -
スポーツ・レクリエーション	3 100.0	3 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
趣味・娯楽・親睦活動（囲碁・将棋、英会話、親子活動など）	11 100.0	3 27.3	4 36.4	2 18.2	2 18.2	- -	- -
家庭生活、日常生活分野（料理、手芸、着付け、園芸など）	9 100.0	4 44.4	3 33.3	2 22.2	- -	- -	- -
ボランティア活動、地域活動	23 100.0	4 17.4	12 52.2	3 13.0	1 4.3	3 13.0	- -
その他	9 100.0	2 22.2	5 55.6	1 11.1	- -	1 11.1	- -
無回答	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -

活動分野別●団体の構成人数



● 「11~30人」の団体数が特に多い「音楽・芸能分野」

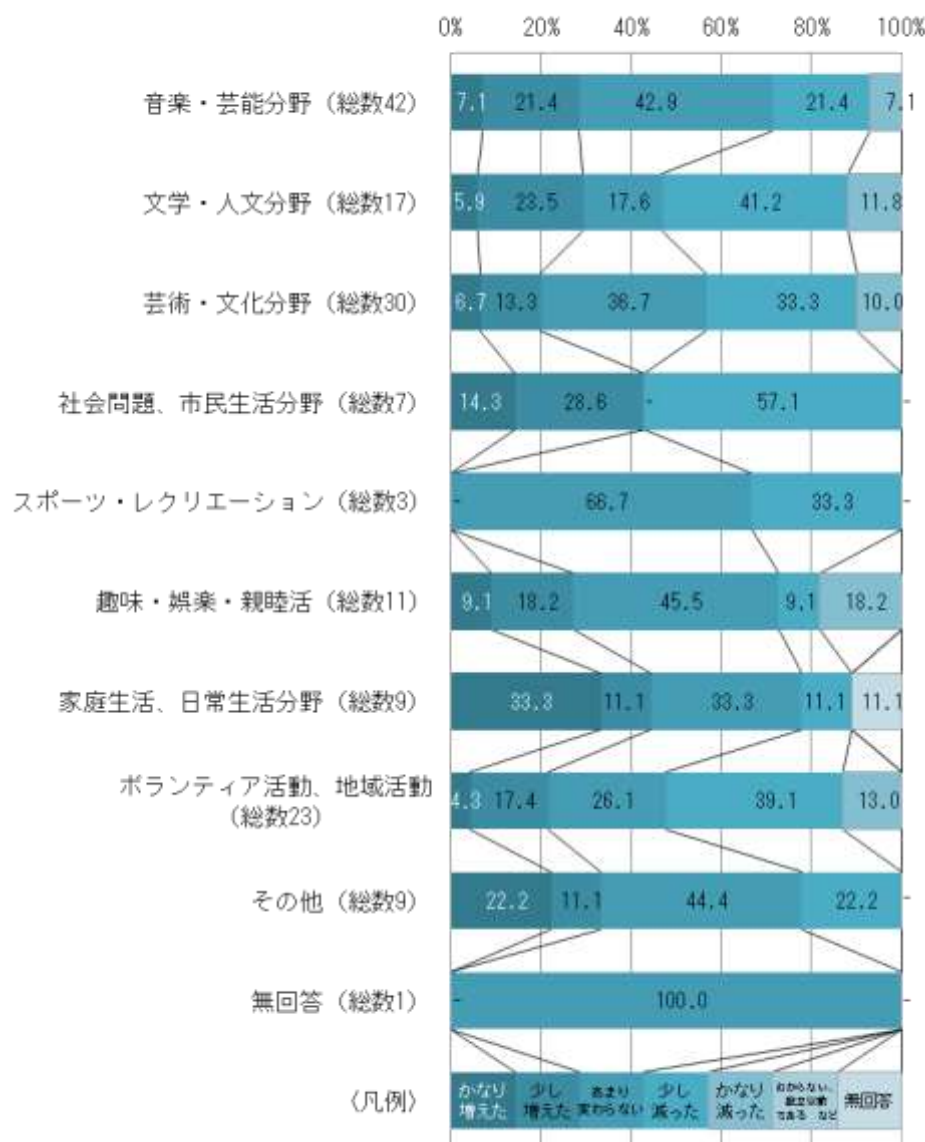
全体に「11~30人」の割合が高くなっていますが、団体数では「音楽・芸能分野」24 (57.1%)、「ボランティア活動、地域活動」12 (52.2%)、「芸術・文化分野」11 (36.7%) などが挙げられます。31人以上の団体は少数ですが、「音楽・芸能分野」が合わせて8 (19.0%)、「ボランティア活動、地域活動」同7 (30.3%) などです。逆に「1~10人」の小規模の割合が多いのは、「芸術・文化分野」12 (40.0%)、「音楽・芸能分野」10 (23.8%) などです。「音楽・芸能分野」は、1人から101人以上まで、構成人数は比較的広く分布しています。

活動分野別●質問4 団体の構成人数について、5年前との増減状況をお答えください。

上段：回答数 下段：割合（％）	合計	かなり 増えた （3割 以上程 度の増 加）	少し増 えた（1 ～2割 程度の 増加）	あまり 変わら ない	少し減 った（1 ～2割 程度の 減少）	かなり 減った （3割 以上程 度の減 少）	わから ない、設 立以前 である など	無回答
音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など）	42 100.0	3 7.1	9 21.4	18 42.9	9 21.4	3 7.1	- -	- -
文学・人文分野（文学、歴史、地理など）	17 100.0	1 5.9	4 23.5	3 17.6	7 41.2	2 11.8	- -	- -
芸術・文化分野（絵画、陶芸、書道、茶道、華道など）	30 100.0	2 6.7	4 13.3	11 36.7	10 33.3	3 10.0	- -	- -
社会問題、市民生活分野（自然保護、高齢社会、男女共同参画など）	7 100.0	1 14.3	2 28.6	- -	4 57.1	- -	- -	- -
スポーツ・レクリエーション	3 100.0	- -	- -	2 66.7	1 33.3	- -	- -	- -
趣味・娯楽・親睦活動（囲碁・将棋、英会話、親子活動など）	11 100.0	1 9.1	2 18.2	5 45.5	1 9.1	2 18.2	- -	- -
家庭生活、日常生活分野（料理、手芸、着付け、園芸など）	9 100.0	3 33.3	1 11.1	3 33.3	1 11.1	- -	- -	1 11.1
ボランティア活動、地域活動	23 100.0	1 4.3	4 17.4	6 26.1	9 39.1	3 13.0	- -	- -
その他	9 100.0	2 22.2	1 11.1	4 44.4	2 22.2	- -	- -	- -
無回答	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -



活動分野別●団体の構成人数の増減状況



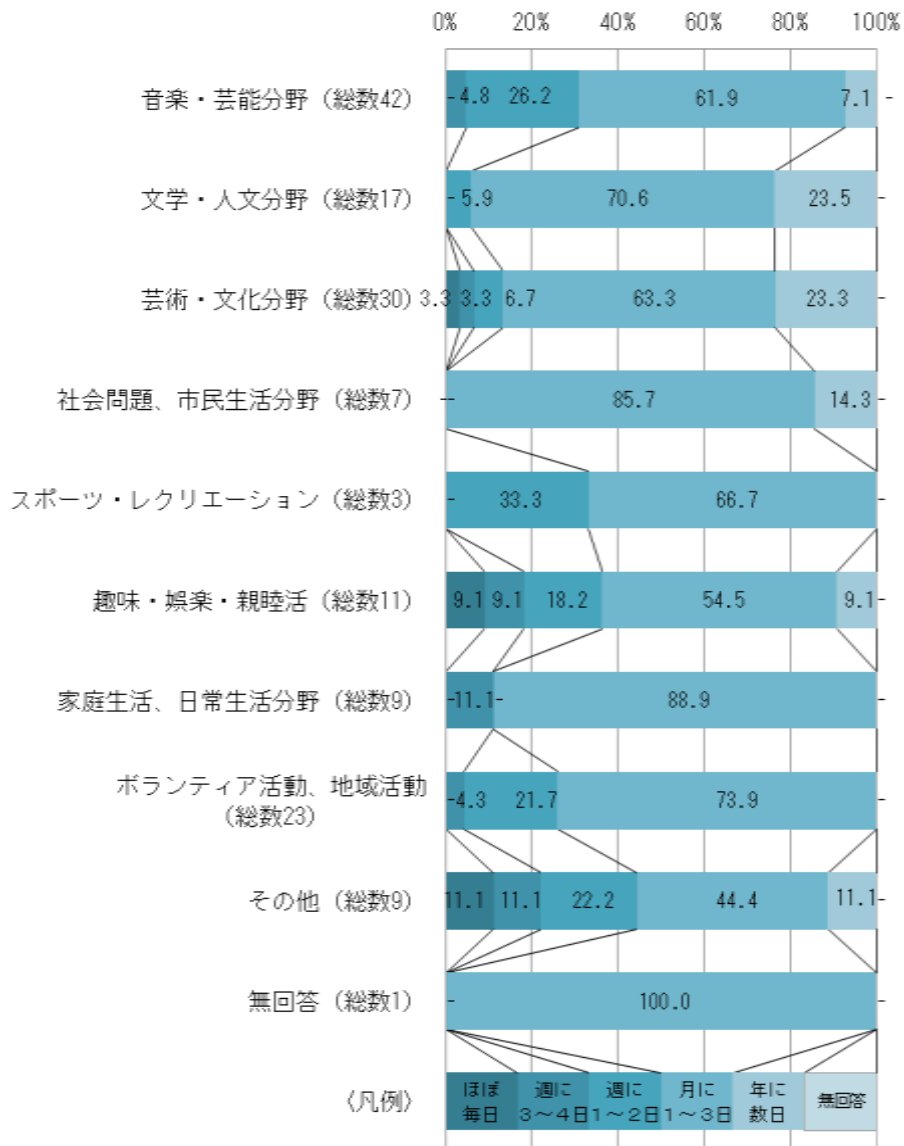
●社会・生活方面で増加、ボランティア・学芸方面で減少

全体としては「あまり変わらない」が多いが、「かなり増えた」「少し増えた」を合わせてみると、「家庭生活、日常生活分野」が44.4%、「社会問題、市民生活分野」が42.9%などで増加傾向が高く、一方、「少し減った」「かなり減った」を合わせてみると、「社会問題、市民生活分野」が57.1%、「文学・人文分野」が53.0%、「ボランティア活動、地域活動」が52.1%などで減少傾向が高い。とくに「社会問題、市民生活分野」では、個別団体により増加と減少の両極化がみられます。

活動分野別●質問5 団体の活動頻度について、お答えください。

上段：回答数 下段：割合（％）	合計	ほぼ 毎日	週に3 ～4日	週に1 ～2日	月に1 ～3日	年に 数日	無回答
音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など）	42 100.0	- -	2 4.8	11 26.2	26 61.9	3 7.1	- -
文学・人文分野（文学、歴史、地理など）	17 100.0	- -	- -	1 5.9	12 70.6	4 23.5	- -
芸術・文化分野（絵画、陶芸、書道、茶道、華道など）	30 100.0	1 3.3	1 3.3	2 6.7	19 63.3	7 23.3	- -
社会問題、市民生活分野（自然保護、高齢社会、男女共同参画など）	7 100.0	- -	- -	- -	6 85.7	1 14.3	- -
スポーツ・レクリエーション	3 100.0	- -	- -	1 33.3	2 66.7	- -	- -
趣味・娯楽・親睦活動（囲碁・将棋、英会話、親子活動など）	11 100.0	1 9.1	1 9.1	2 18.2	6 54.5	1 9.1	- -
家庭生活、日常生活分野（料理、手芸、着付け、園芸など）	9 100.0	- -	1 11.1	- -	8 88.9	- -	- -
ボランティア活動、地域活動	23 100.0	- -	1 4.3	5 21.7	17 73.9	- -	- -
その他	9 100.0	1 11.1	1 11.1	2 22.2	4 44.4	1 11.1	- -
無回答	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -

活動分野別●団体の活動頻度



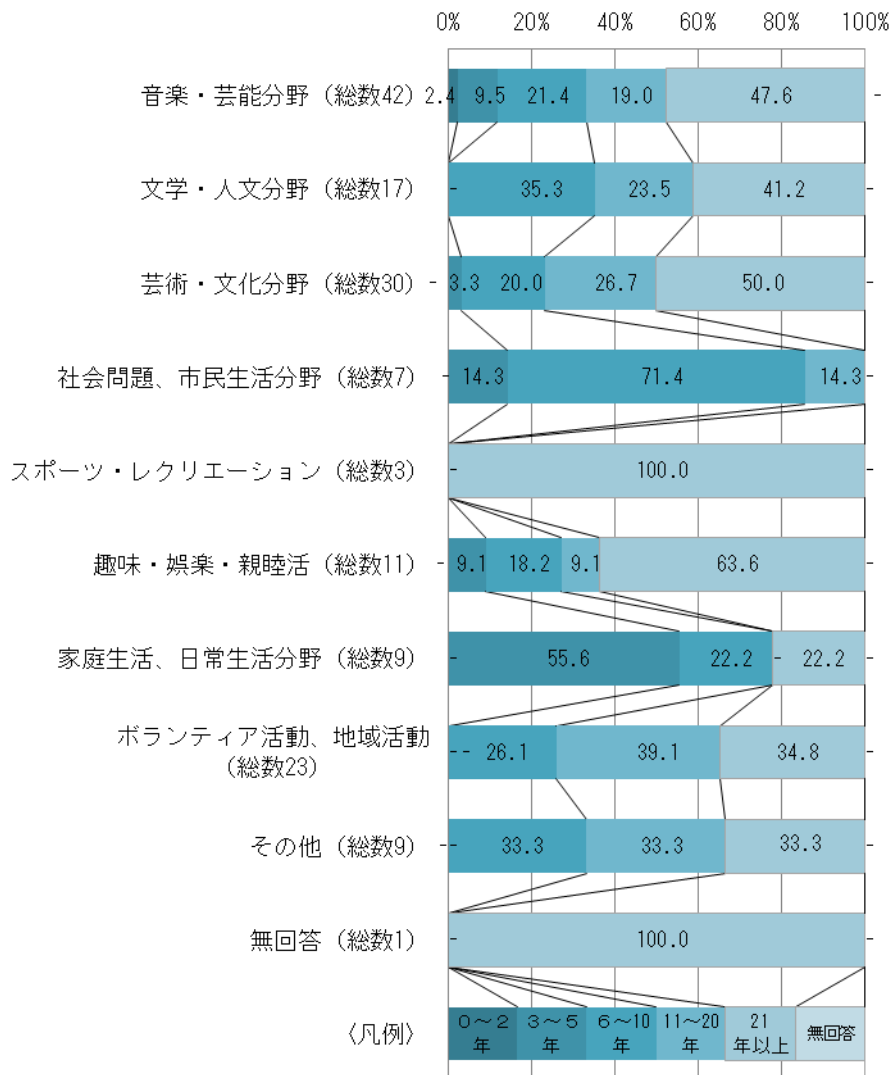
●いずれの分野も「月に1~3日」が大半

いずれの団体も「月に1~3日」が大半を占めますが、「音楽・芸能分野」「ボランティア活動・地域活動」で「週に1~2日」が二十数%、「文学・人文分野」「芸術・文化分野」で「年に数日」が同じく二十数%程度みられます。

活動分野別●質問6 団体設立からの活動年数について、お答えください。

上段：回答数 下段：割合（％）	合計	0～2 年	3～5 年	6～10 年	11～20 年	21年 以上	無回答
音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など）	42 100.0	1 2.4	4 9.5	9 21.4	8 19.0	20 47.6	- -
文学・人文分野（文学、歴史、地理など）	17 100.0	- -	- -	6 35.3	4 23.5	7 41.2	- -
芸術・文化分野（絵画、陶芸、書道、茶道、華道など）	30 100.0	- -	1 3.3	6 20.0	8 26.7	15 50.0	- -
社会問題、市民生活分野（自然保護、高齢社会、男女共同参画など）	7 100.0	- -	1 14.3	5 71.4	1 14.3	- -	- -
スポーツ・レクリエーション	3 100.0	- -	- -	- -	- -	3 100.0	- -
趣味・娯楽・親睦活動（囲碁・将棋、英会話、親子活動など）	11 100.0	- -	1 9.1	2 18.2	1 9.1	7 63.6	- -
家庭生活、日常生活分野（料理、手芸、着付け、園芸など）	9 100.0	- -	5 55.6	2 22.2	- -	2 22.2	- -
ボランティア活動、地域活動	23 100.0	- -	- -	6 26.1	9 39.1	8 34.8	- -
その他	9 100.0	- -	- -	3 33.3	3 33.3	3 33.3	- -
無回答	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -

活動分野別●団体設立からの活動年数



●ほとんどの分野で「21年以上」が多い

ほとんどの分野で「21年以上」が多くなっていますが、「社会問題、市民生活分野」では「6~10年」が71.4%、「家庭生活・日常生活分野」では「3~5年」が55.6%、「ボランティア活動、地域活動」では「11~20年」が39.1%と最も多くなっています。また、「音楽・芸能分野」「文学・人文分野」「芸術・文化分野」「ボランティア活動、地域活動」などでは、活動歴が短期から長期まで一定量分布しています。

活動分野別●質問7 団体の「活動・練習」に使用している主な場所をお答えください。

上段：回答数 下段：割合（％）	合計	公民館 （市内 5地域 に設 置）	地区公 民館 （各地 区に設 置）	交流学 習セン ター	博物 館・美 術館	自宅・ 講師の 家・自 団体所 有の施 設	学校	民間施 設	その他	無回答
音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など）	42 100.0	28 66.7	10 23.8	7 16.7	- -	2 4.8	2 4.8	5 11.9	11 26.2	- -
文学・人文分野（文学、歴史、地理など）	17 100.0	12 70.6	2 11.8	4 23.5	3 17.6	2 11.8	1 5.9	1 5.9	1 5.9	- -
芸術・文化分野（絵画、陶芸、書道、茶道、華道など）	30 100.0	21 70.0	4 13.3	2 6.7	10 33.3	2 6.7	1 3.3	2 6.7	1 3.3	- -
社会問題、市民生活分野（自然保護、高齢社会、男女共同参画など）	7 100.0	3 42.9	1 14.3	1 14.3	1 14.3	- -	- -	- -	3 42.9	1 14.3
スポーツ・レクリエーション	3 100.0	2 66.7	1 33.3	- -	- -	- -	1 33.3	1 33.3	- -	- -
趣味・娯楽・親睦活動（囲碁・将棋、英会話、親子活動など）	11 100.0	8 72.7	1 9.1	4 36.4	1 9.1	- -	- -	1 9.1	2 18.2	- -
家庭生活、日常生活分野（料理、手芸、着付け、園芸など）	9 100.0	4 44.4	2 22.2	2 22.2	1 11.1	2 22.2	- -	1 11.1	1 11.1	1 11.1
ボランティア活動、地域活動	23 100.0	12 52.2	3 13.0	7 30.4	1 4.3	1 4.3	2 8.7	2 8.7	6 26.1	1 4.3
その他	9 100.0	1 11.1	2 22.2	2 22.2	3 33.3	3 33.3	1 11.1	- -	3 33.3	- -
無回答	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -

●いずれの団体も「公民館」が多い

いずれの団体も「公民館」が多くなっていますが、「文学・人文分野」「趣味・娯楽・親睦活動」「ボランティア活動、地域活動」では「交流学習センター」の使用がこれに次いでいます。また、「家庭生活、日常生活分野」「ボランティア活動、地域活動」などでは、使用施設が分散・多様化しています。

活動分野別●質問8 団体の「発表・展示」に使用している主な場所をお答えください。

上段：回答数 下段：割合（％）	合計	公民館 （市内 5地域 に設 置）	地区公 民館 （各地 区に設 置）	交流学 習セン ター	博物 館・美 術館	自宅・ 講師の 家・自 団体所 有の施 設	学校	民間施 設	その他	無回答
音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など）	42 100.0	27 64.3	6 14.3	7 16.7	- -	1 2.4	1 2.4	10 23.8	18 42.9	- -
文学・人文分野（文学、歴史、地理など）	17 100.0	9 52.9	1 5.9	2 11.8	2 11.8	1 5.9	1 5.9	- -	5 29.4	1 5.9
芸術・文化分野（絵画、陶芸、書道、茶道、華道など）	30 100.0	14 46.7	1 3.3	2 6.7	13 43.3	1 3.3	- -	6 20.0	7 23.3	1 3.3
社会問題、市民生活分野（自然保護、高齢社会、男女共同参画など）	7 100.0	3 42.9	- -	3 42.9	1 14.3	- -	1 14.3	1 14.3	2 28.6	1 14.3
スポーツ・レクリエーション	3 100.0	2 66.7	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -	1 33.3	- -
趣味・娯楽・親睦活動（囲碁・将棋、英会話、親子活動など）	11 100.0	7 63.6	- -	2 18.2	2 18.2	- -	- -	4 36.4	2 18.2	- -
家庭生活、日常生活分野（料理、手芸、着付け、園芸など）	9 100.0	2 22.2	- -	- -	1 11.1	- -	- -	4 44.4	3 33.3	2 22.2
ボランティア活動、地域活動	23 100.0	12 52.2	3 13.0	7 30.4	2 8.7	- -	3 13.0	2 8.7	10 43.5	- -
その他	9 100.0	3 33.3	1 11.1	- -	3 33.3	- -	2 22.2	2 22.2	6 66.7	- -
無回答	1 100.0	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -

●ほとんど「公民館」、団体により「民間施設」「その他」も

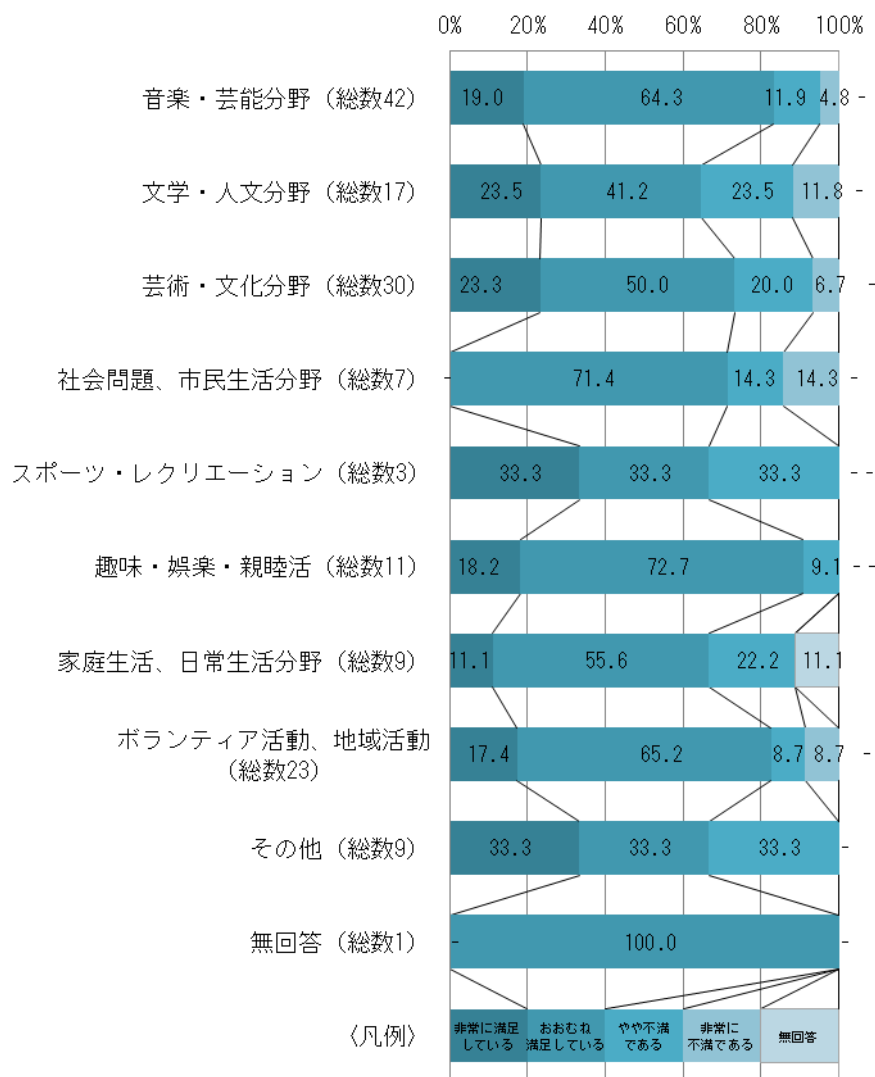
ほとんど「公民館」が多くなっていますが、「家庭生活、日常生活分野」は「民間施設」が最も多く、また、「音楽・芸能分野」「文学・人文分野」「ボランティア活動、地域活動」では「その他」がこれらに次いでいます。「その他」の記入内容には松本市内の公共施設がみられます。「趣味・娯楽・親睦活動」では「民間施設」も多くなっています。

活動分野別●質問9 団体が利用する施設や設備の状況について、お答えください。

上段：回答数 下段：割合（％）	合計	非常に満足している	おおむね満足している	やや不満である	非常に不満である	無回答
音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など）	42 100.0	8 19.0	27 64.3	5 11.9	2 4.8	- -
文学・人文分野（文学、歴史、地理など）	17 100.0	4 23.5	7 41.2	4 23.5	2 11.8	- -
芸術・文化分野（絵画、陶芸、書道、茶道、華道など）	30 100.0	7 23.3	15 50.0	6 20.0	2 6.7	- -
社会問題、市民生活分野（自然保護、高齢社会、男女共同参画など）	7 100.0	- -	5 71.4	1 14.3	1 14.3	- -
スポーツ・レクリエーション	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	- -	- -
趣味・娯楽・親睦活動（囲碁・将棋、英会話、親子活動など）	11 100.0	2 18.2	8 72.7	1 9.1	- -	- -
家庭生活、日常生活分野（料理、手芸、着付け、園芸など）	9 100.0	1 11.1	5 55.6	2 22.2	- -	1 11.1
ボランティア活動、地域活動	23 100.0	4 17.4	15 65.2	2 8.7	2 8.7	- -
その他	9 100.0	3 33.3	3 33.3	3 33.3	- -	- -
無回答	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -



活動分野別●利用する施設や設備の満足度



●「趣味・娯楽・親睦活動」「音楽・芸能分野」「ボランティア活動、地域活動」で特に高い満足度

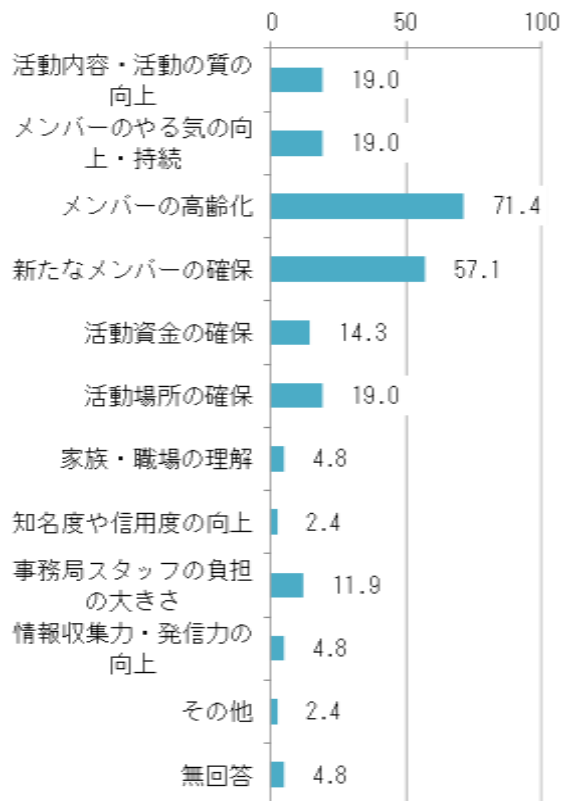
いずれの分野も満足度は高くなっていますが、「非常に満足している」「おおむね満足している」を合わせ特に高いのは、「趣味・娯楽・親睦活動」90.9%、「音楽・芸能分野」83.3%、「ボランティア活動、地域活動」82.6%などです。一方、不満度について「やや不満である」「非常に不満である」を合わせた割合が比較的高いのは「文学・人文分野」35.3%、「スポーツ・レクリエーション」「家庭生活、日常生活分野」33.3%、「社会問題、市民生活分野」28.6%などです。

活動分野別●質問 10 団体の活動に際しての課題についてお答えください。

上段：回答数 下段：割合（％）	合計	活動内容・活動の質の向上	メンバーのやる気の向上・持続	メンバーの高齢化	新たなメンバーの確保	活動資金の確保	活動場所の確保
音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など）	42 100.0	8 19.0	8 19.0	30 71.4	24 57.1	6 14.3	8 19.0
文学・人文分野（文学、歴史、地理など）	17 100.0	6 35.3	5 29.4	13 76.5	11 64.7	3 17.6	3 17.6
芸術・文化分野（絵画、陶芸、書道、茶道、華道など）	30 100.0	9 30.0	9 30.0	20 66.7	18 60.0	4 13.3	1 3.3
社会問題、市民生活分野（自然保護、高齢社会、男女共同参画など）	7 100.0	1 14.3	4 57.1	2 28.6	3 42.9	3 42.9	3 42.9
スポーツ・レクリエーション	3 100.0	3 100.0	- -	3 100.0	3 100.0	- -	- -
趣味・娯楽・親睦活動（囲碁・将棋、英会話、親子活動など）	11 100.0	4 36.4	1 9.1	7 63.6	6 54.5	1 9.1	1 9.1
家庭生活、日常生活分野（料理、手芸、着付け、園芸など）	9 100.0	4 44.4	1 11.1	4 44.4	2 22.2	- -	2 22.2
ボランティア活動、地域活動	23 100.0	4 17.4	5 21.7	16 69.6	12 52.2	6 26.1	3 13.0
その他	9 100.0	3 33.3	2 22.2	7 77.8	7 77.8	2 22.2	- -
無回答	1 100.0	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -

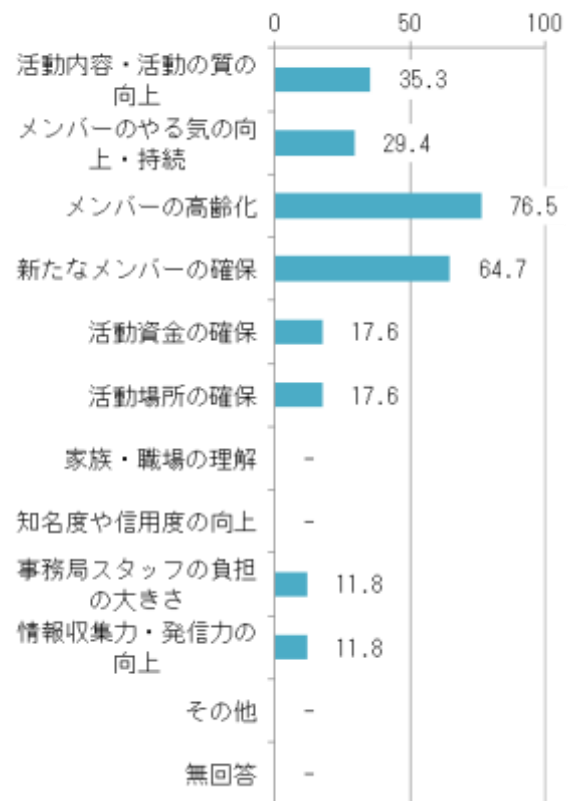
上段：回答数 下段：割合（％）	家族・職場の理解	知名度や信用度の向上	事務局スタッフの負担の大きさ	情報収集力・発信力の向上	その他	無回答
音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など）	2 4.8	1 2.4	5 11.9	2 4.8	1 2.4	2 4.8
文学・人文分野（文学、歴史、地理など）	- -	- -	2 11.8	2 11.8	- -	- -
芸術・文化分野（絵画、陶芸、書道、茶道、華道など）	- -	3 10.0	5 16.7	3 10.0	3 10.0	- -
社会問題、市民生活分野（自然保護、高齢社会、男女共同参画など）	- -	- -	3 42.9	- -	- -	- -
スポーツ・レクリエーション	- -	- -	- -	- -	- -	- -
趣味・娯楽・親睦活動（囲碁・将棋、英会話、親子活動など）	1 9.1	1 9.1	- -	2 18.2	- -	- -
家庭生活、日常生活分野（料理、手芸、着付け、園芸など）	1 11.1	- -	- -	- -	1 11.1	1 11.1
ボランティア活動、地域活動	- -	- -	5 21.7	1 4.3	1 4.3	1 4.3
その他	- -	- -	- -	- -	- -	1 11.1
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -

音楽・芸能分野  
(総数42、複数回答、単位%)



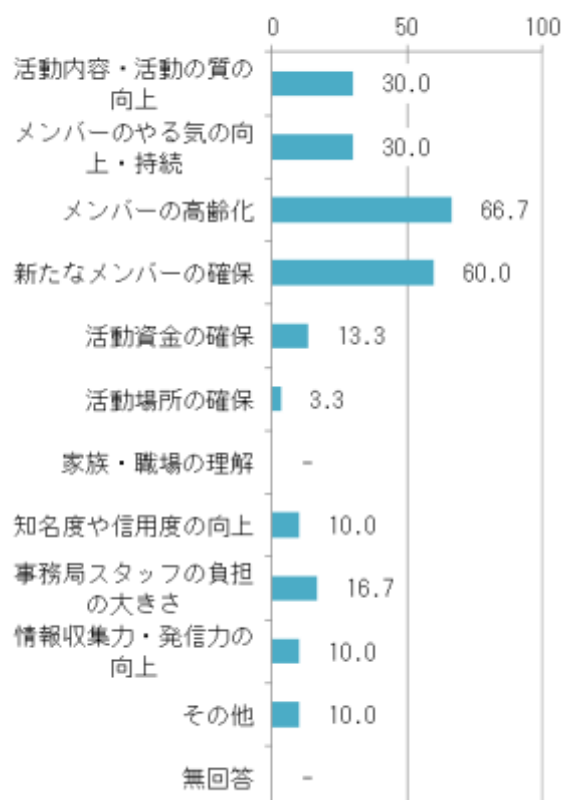
● 「メンバーの高齢化」71.4%、次いで「新たなメンバーの確保」57.1%などとなっています。

文学・人文分野  
(総数17、複数回答、単位%)



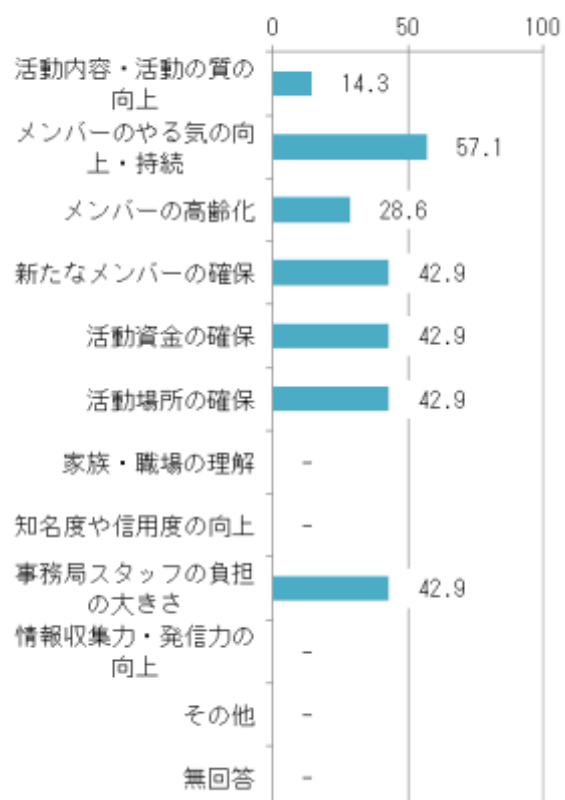
● 「メンバーの高齢化」76.5%、次いで「新たなメンバーの確保」64.7%となっています。ほかに「活動内容・活動の質の向上」35.3%、「メンバーのやる気の向上・持続」も29.4%挙げられています。

芸術・文化分野  
(総数30、複数回答、単位%)



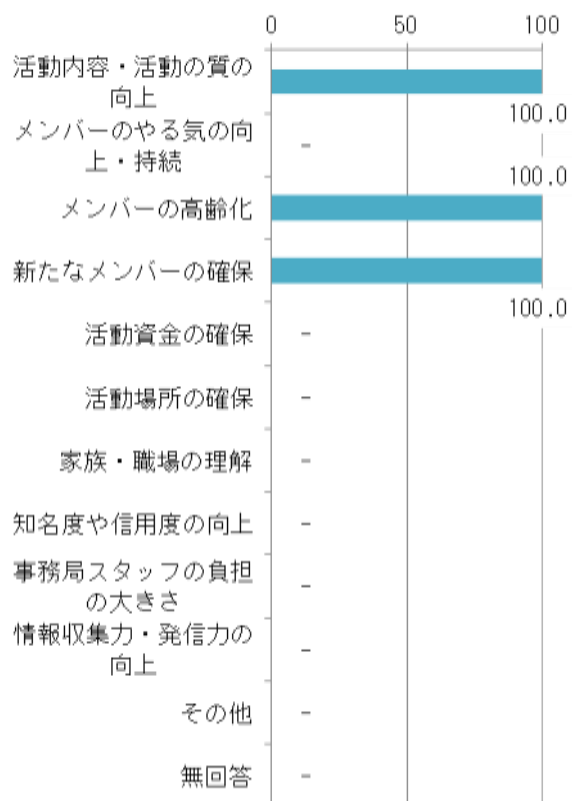
● 「メンバーの高齢化」66.7%、次いで「新たなメンバーの確保」60.0%などとなっています。ほかに「活動内容・活動の質の向上」「メンバーのやる気の向上・持続」もともに30.0%が挙げています。

社会問題、市民生活分野  
(総数7、複数回答、単位%)



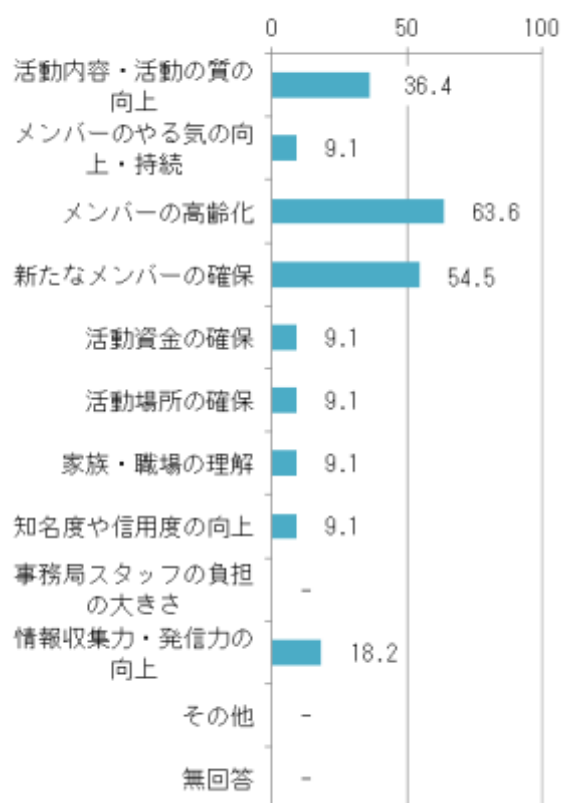
● 「メンバーのやる気の向上・持続」が57.1%で最も多く、次いで「新たなメンバーの確保」「活動資金の確保」「活動場所の確保」「事務局スタッフの負担の大きさ」がともに42.9%挙げられています。

スポーツ・レクリエーション  
(総数3、複数回答、単位%)



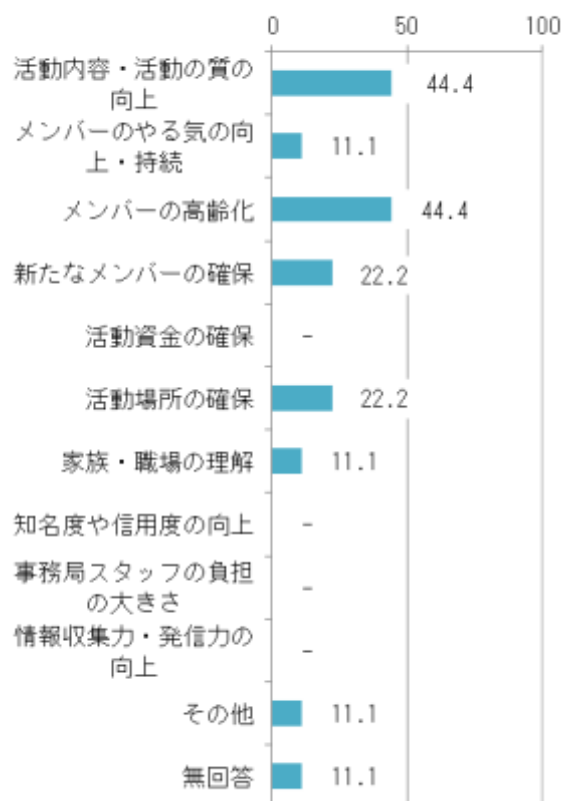
● 「活動内容・活動の質の向上」「メンバーの高齢化」「新たなメンバーの確保」がともに100%となっています。

趣味・娯楽・親睦活動  
(総数11、複数回答、単位%)



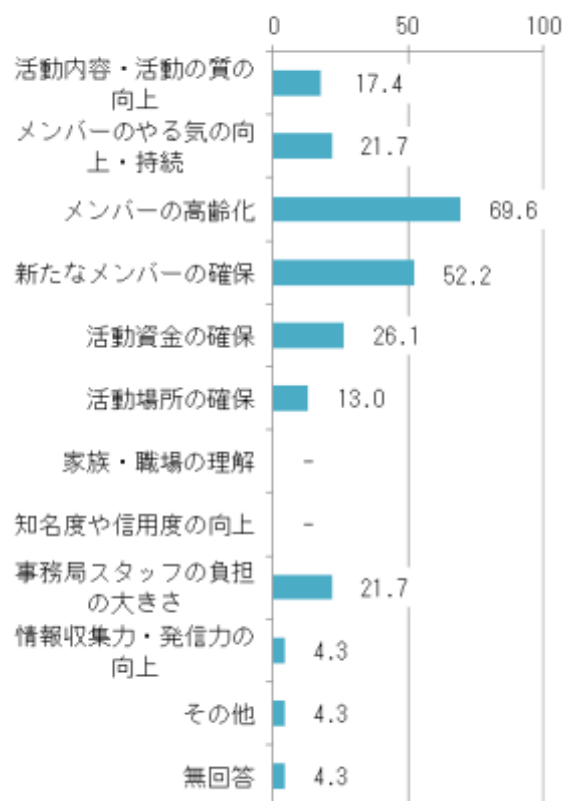
● 「メンバーの高齢化」が63.6%と最も多く、次いで、「新たなメンバーの確保」54.5%、「活動内容・活動の質の向上」が36.4%などとなっています。

家庭生活、日常生活分野  
(総数9、複数回答、単位%)



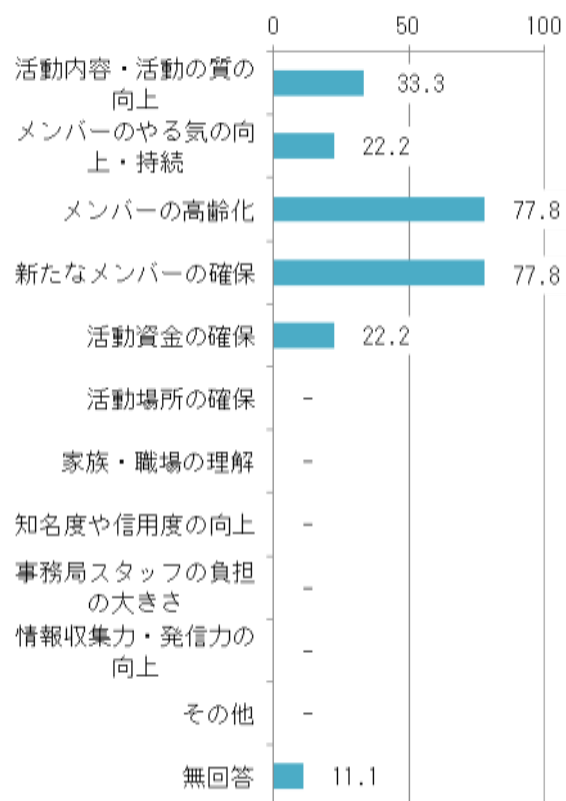
●「活動内容・活動の質の向上」「メンバーの高齢化」がともに44.4%と最も高く、次いで、「新たなメンバーの確保」「活動場所の確保」がともに22.2%などとなっています。

ボランティア活動、地域活動  
(総数23、複数回答、単位%)

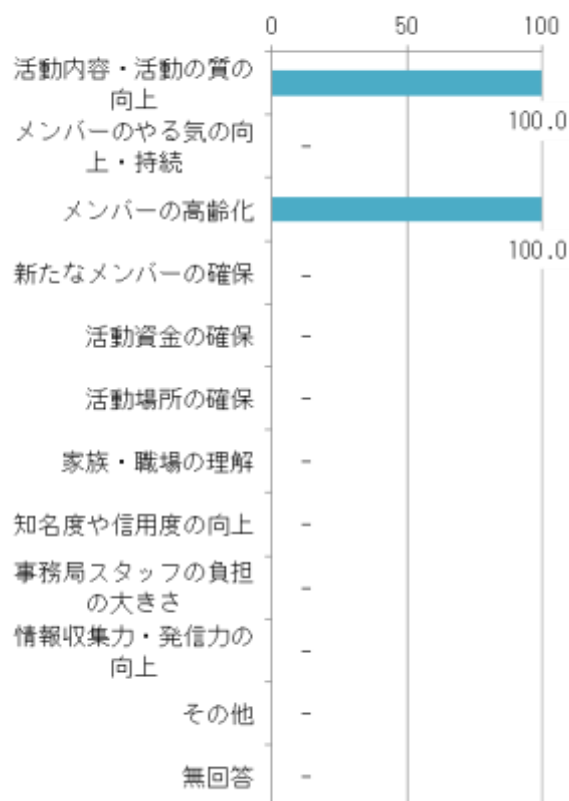


●「メンバーの高齢化」が69.6%で最も高く、次いで、「新たなメンバーの確保」52.2%、「活動資金の確保」26.1%などとなっています。

その他  
(総数9、複数回答、単位%)



無回答  
(総数1、複数回答、単位%)



● 「メンバーの高齢化」「新たなメンバーの確保」がともに77.8%で最も高く、次いで、「活動内容・活動の質の向上」が33.3%などとなっています。

構成人数別●質問7 団体の「活動・練習」に使用している主な場所をお答えください。

上段：回答数 下段：割合（％）	合計	公民館 （市内 5地域 に設 置）	地区公 民館 （各地 区に設 置）	交流学 習セン ター	博物 館・美 術館	自宅・ 講師の 家・自 団体所 有の施 設	学校	民間施 設	その他	無回答
1～10人（総数 33）	33 100.0	19 57.6	8 24.2	5 15.2	2 6.1	3 9.1	1 3.0	7 21.2	3 9.1	- -
11～30人（総数 50）	50 100.0	27 54.0	7 14.0	9 18.0	6 12.0	5 10.0	3 6.0	1 2.0	12 24.0	2 4.0
31～50人（総数 8）	8 100.0	5 62.5	- -	2 25.0	2 25.0	1 12.5	- -	- -	2 25.0	- -
51～100人（総数 4）	4 100.0	3 75.0	- -	1 25.0	2 50.0	- -	- -	- -	- -	- -
101人以上（総数 6）	6 100.0	3 50.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	- -	- -	- -	3 50.0	- -
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

●いずれも「公民館」が最も多い。人数規模が大きくなると「その他」も

いずれも「公民館」が最も多くなっています。次いで、「1～10人」では「地区公民館」が、「11～30人」「101人以上」などでは「その他」が多くなっています。



構成人数別●質問8 団体の「発表・展示」に使用している主な場所をお答えください。

上段：回答数 下段：割合（％）	合計	公民館 （市内 5地域 に設 置）	地区公 民館 （各地 区に設 置）	交流学 習セン ター	博物 館・美 術館	自宅・ 講師の 家・自 団体所 有の施 設	学校	民間施 設	その他	無回答
1～10人	33 100.0	17 51.5	3 9.1	3 9.1	4 12.1	1 3.0	- -	9 27.3	10 30.3	- -
11～30人	50 100.0	28 56.0	3 6.0	8 16.0	9 18.0	- -	4 8.0	8 16.0	19 38.0	1 2.0
31～50人	8 100.0	2 25.0	- -	2 25.0	2 25.0	- -	- -	1 12.5	3 37.5	1 12.5
51～100人	4 100.0	2 50.0	- -	1 25.0	1 25.0	- -	- -	- -	- -	1 25.0
101人以上	6 100.0	3 50.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	- -	- -	2 33.3	3 50.0	- -
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

●「公民館」がほとんど。「民間施設」「その他」の割合は増加

「公民館」がほとんどですか、規模の大小を問わず、「民間施設」「その他」の割合が増加しています。特に「31～50人」では「その他」の割合が最も多くなっています。

構成人数別●質問 10 団体の活動に際しての課題についてお答えください。

上段：回答数 下段：割合（％）	合計	活動内容・活動の質の向上	メンバーのやる気の向上・持続	メンバーの高齢化	新たなメンバーの確保	活動資金の確保	活動場所の確保
1～10人	33 100.0	15 45.5	8 24.2	21 63.6	20 60.6	1 3.0	4 12.1
11～30人	50 100.0	10 20.0	15 30.0	31 62.0	25 50.0	8 16.0	8 16.0
31～50人	8 100.0	2 25.0	- -	6 75.0	5 62.5	1 12.5	- -
51～100人	4 100.0	1 25.0	- -	2 50.0	2 50.0	3 75.0	1 25.0
101人以上	6 100.0	2 33.3	1 16.7	3 50.0	3 50.0	1 16.7	1 16.7
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

上段：回答数 下段：割合（％）	家族・職場の理解	知名度や信用度の向上	事務局スタッフの負担の大きさ	情報収集力・発信力の向上	その他	無回答
1～10人	1 3.0	1 3.0	1 3.0	2 6.1	- -	- -
11～30人	2 4.0	2 4.0	5 10.0	3 6.0	2 4.0	3 6.0
31～50人	- -	- -	1 12.5	- -	2 25.0	- -
51～100人	- -	1 25.0	1 25.0	1 25.0	- -	- -
101人以上	- -	- -	2 33.3	- -	- -	1 16.7
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -

●「メンバーの高齢化」「新たなメンバーの確保」が大きな課題。規模が大きくなると「活動資金の確保」もほとんどで「メンバーの高齢化」「新たなメンバーの確保」を最大の課題としています。人数規模が大きくなると、「活動資金の確保」なども課題となっています。

活動頻度別●質問7 団体の「活動・練習」に使用している主な場所をお答えください。

上段：回答数 下段：割合（％）	合計	公民館 （市内 5地域 に設 置）	地区公 民館 （各地 区に設 置）	交流学 習セン ター	博 物 館・美 術館	自宅・ 講師の 家・自 団体所 有の施 設	学校	民間施 設	その他	無回答
ほぼ毎日	2 100.0	- -	- -	1 50.0	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
週に3～4日	3 100.0	- -	- -	- -	1 33.3	1 33.3	- -	- -	2 66.7	- -
週に1～2日	16 100.0	12 75.0	- -	2 12.5	- -	4 25.0	3 18.8	1 6.3	3 18.8	- -
月に1～3日	69 100.0	37 53.6	14 20.3	15 21.7	6 8.7	4 5.8	1 1.4	6 8.7	14 20.3	2 2.9
年に数日	11 100.0	8 72.7	2 18.2	- -	4 36.4	- -	- -	1 9.1	1 9.1	- -
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

●「週に1～2日」以下では、「公民館」が多い

「ほぼ毎日」「週に3～4日」など頻繁に使用する場合は「博物館・美術館」「その他」「交流学习センター」、あるいは「自宅・講師の家・自団体所有の施設」などが多くなっています。一方、「週に1～2日」以下では、「公民館」が多くなっています。

活動頻度別●質問8 団体の「発表・展示」に使用している主な場所をお答えください。

上段：回答数 下段：割合（％）	合計	公民館 （市内 5地域 に設 置）	地区公 民館 （各地 区に設 置）	交流学 習セン ター	博物 館・美 術館	自宅・ 講師の 家・自 団体所 有の施 設	学校	民間施 設	その他	無回答
ほぼ毎日	2 100.0	1 50.0	- -	- -	1 50.0	- -	- -	- -	1 50.0	- -
週に3～4日	3 100.0	1 33.3	- -	- -	1 33.3	- -	- -	2 66.7	2 66.7	- -
週に1～2日	16 100.0	11 68.8	1 6.3	3 18.8	1 6.3	- -	2 12.5	3 18.8	7 43.8	- -
月に1～3日	69 100.0	35 50.7	5 7.2	12 17.4	9 13.0	- -	2 2.9	14 20.3	23 33.3	2 2.9
年に数日	11 100.0	4 36.4	1 9.1	- -	5 45.5	1 9.1	- -	1 9.1	2 18.2	1 9.1
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

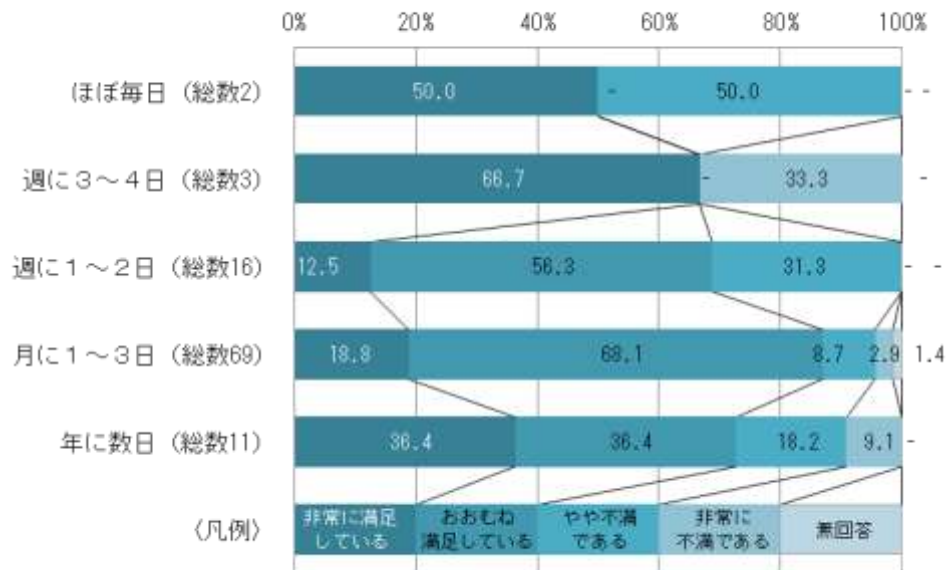
●全体的に「民間施設」「その他」の使用が増加

全体的に「民間施設」「その他」の使用が増加し、「週に1～2日」以下では「公民館」が多くなっています。また、「月に1～3日」では、「公民館」から「その他」まで使用施設は多様です。

活動頻度別●質問9 団体が利用する施設や設備の状況について、お答えください。

上段：回答数 下段：割合 (%)	合計	非常に満足 している	おおむね満 足している	やや不満で ある	非常に不満 である	無回答
ほぼ毎日	2 100.0	1 50.0	- -	1 50.0	- -	- -
週に3～4日	3 100.0	2 66.7	- -	- -	1 33.3	- -
週に1～2日	16 100.0	2 12.5	9 56.3	5 31.3	- -	- -
月に1～3日	69 100.0	13 18.8	47 68.1	6 8.7	2 2.9	1 1.4
年に数日	11 100.0	4 36.4	4 36.4	2 18.2	1 9.1	- -
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -

活動頻度別●利用する施設や設備の満足度



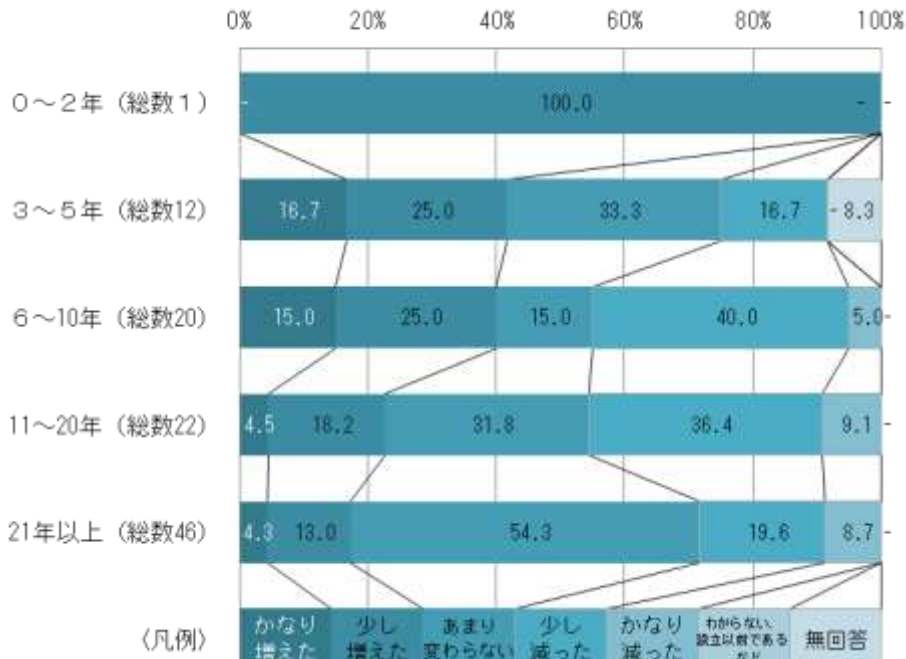
●活動頻度が低いほど満足度が高い

「非常に満足している」「おおむね満足している」を合わせると、「月に1～3日」で86.9%と最も満足度が高く、次いで、「年に数日」72.8%、「週に1～2日」68.8%などとなっています。全体的に、活動頻度が低いほど満足度が高いという傾向がみられます。

活動年数別●質問4 団体の構成人数について、5年前との増減状況をお答えください。

上段：回答数 下段：割合（％）	合計	かなり 増えた （3割 以上程 度の増 加）	少し増 えた（1 ～2割 程度の 増加）	あまり 変わら ない	少し減 った（1 ～2割 程度の 減少）	かなり 減った （3割 以上程 度の減 少）	わから ない、設 立以前 である など	無回答
0～2年（総数1）	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-
3～5年（総数12）	12 100.0	2 16.7	3 25.0	4 33.3	2 16.7	-	-	1 8.3
6～10年（総数20）	20 100.0	3 15.0	5 25.0	3 15.0	8 40.0	1 5.0	-	-
11～20年（総数22）	22 100.0	1 4.5	4 18.2	7 31.8	8 36.4	2 9.1	-	-
21年以上（総数46）	46 100.0	2 4.3	6 13.0	25 54.3	9 19.6	4 8.7	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

活動年数別●団体の構成人数の増減状況



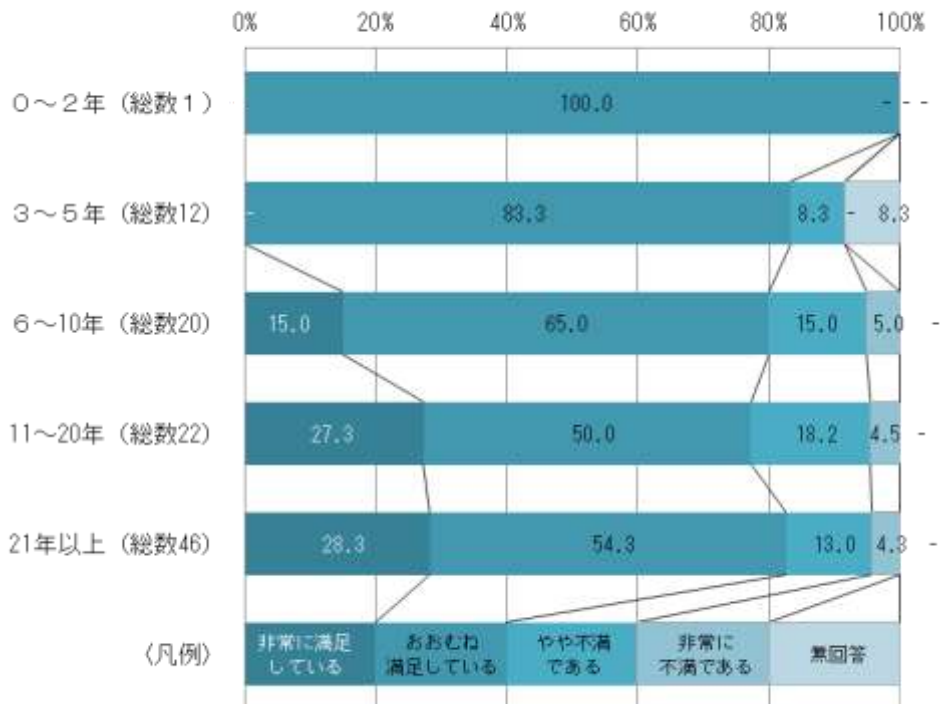
●活動歴が短いほど人数の増加傾向が高い

「かなり増えた」「少し増えた」を合わせると、「0～2年」で100.0%と最も高く、次いで、「3～5年」41.7%、「6～10年」40.0%など、活動歴が短いほど人数の増加傾向が高いようです。

活動年数別●質問9 団体が利用する施設や設備の状況について、お答えください。

上段：回答数 下段：割合 (%)	合計	非常に満足 している	おおむね満 足している	やや不満で ある	非常に不満 である	無回答
0～2年	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -
3～5年	12 100.0	- -	10 83.3	1 8.3	- -	1 8.3
6～10年	20 100.0	3 15.0	13 65.0	3 15.0	1 5.0	- -
11～20年	22 100.0	6 27.3	11 50.0	4 18.2	1 4.5	- -
21年以上	46 100.0	13 28.3	25 54.3	6 13.0	2 4.3	- -
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -

活動年数別●利用する施設や設備の満足度



●「非常に満足」は活動歴とともに高まり「21年以上」で最高に

「非常に満足」「おおむね満足」を合わせると、活動歴が長いほど漸減し、「11～20年」で77.3%と最も低くなりますが、「21年以上」では82.6%と逆に高くなっています。一方、「非常に満足」をみると、「6～10年」から増加し、「21年以上」で28.3%と最も高くなっています。

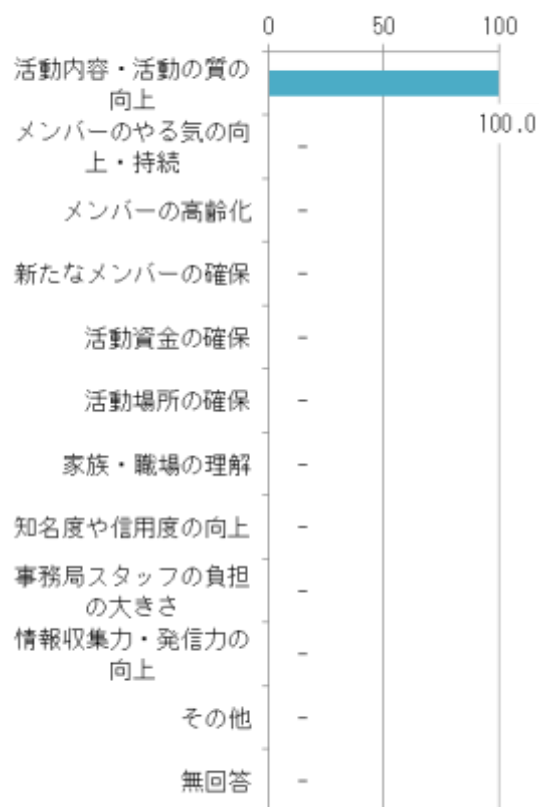
活動年数別●質問 10 団体の活動に際しての課題についてお答えください。

上段：回答数 下段：割合（％）	合計	活動内 容・活動 の質の向	メンバ ーのや る気の	メンバ ーの 高齢化	新た な メンバ ーの確	活動資金 の確保	活動場所 の確保
0～2年	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
3～5年	12 100.0	6 50.0	1 8.3	2 16.7	4 33.3	2 16.7	4 33.3
6～10年	20 100.0	5 25.0	7 35.0	10 50.0	8 40.0	5 25.0	4 20.0
11～20年	22 100.0	4 18.2	6 27.3	18 81.8	13 59.1	2 9.1	3 13.6
21年以上	46 100.0	14 30.4	10 21.7	33 71.7	30 65.2	5 10.9	3 6.5
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

上段：回答数 下段：割合（％）	家族・職 場の理 解	知名度や 信用度の 向上	事務局 スタッ フの負	情報収集 力・発信 力の向上	その他	無回答
0～2年	- -	- -	- -	- -	- -	- -
3～5年	1 8.3	- -	- -	1 8.3	1 8.3	1 8.3
6～10年	- -	2 10.0	5 25.0	3 15.0	1 5.0	- -
11～20年	1 4.5	1 4.5	2 9.1	- -	1 4.5	- -
21年以上	1 2.2	1 2.2	3 6.5	2 4.3	1 2.2	3 6.5
無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -

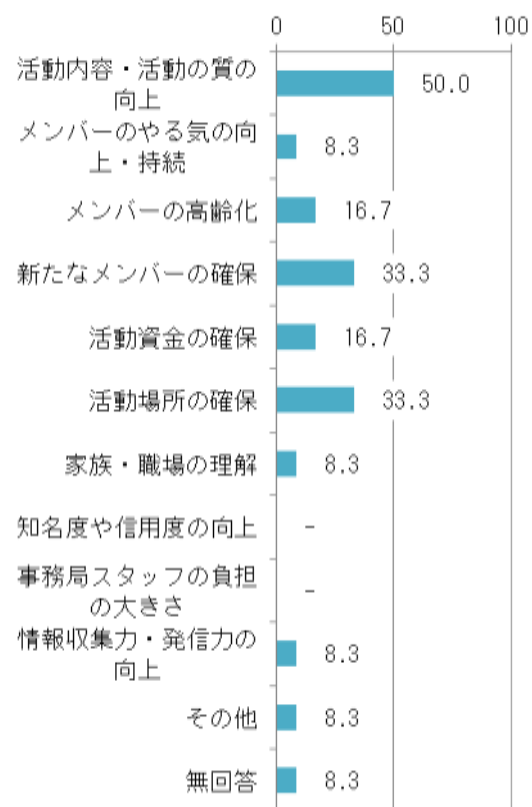


0～2年  
(総数1、複数回答、単位%)



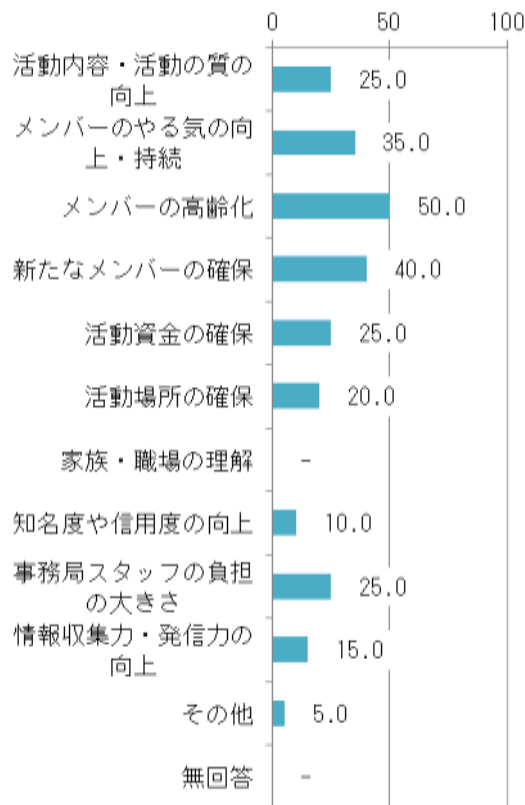
●「活動内容・活動の質の向上」が 100.0%と最も高くなっています（ただし、該当するのは1団体のみ）。

3～5年  
(総数12、複数回答、単位%)



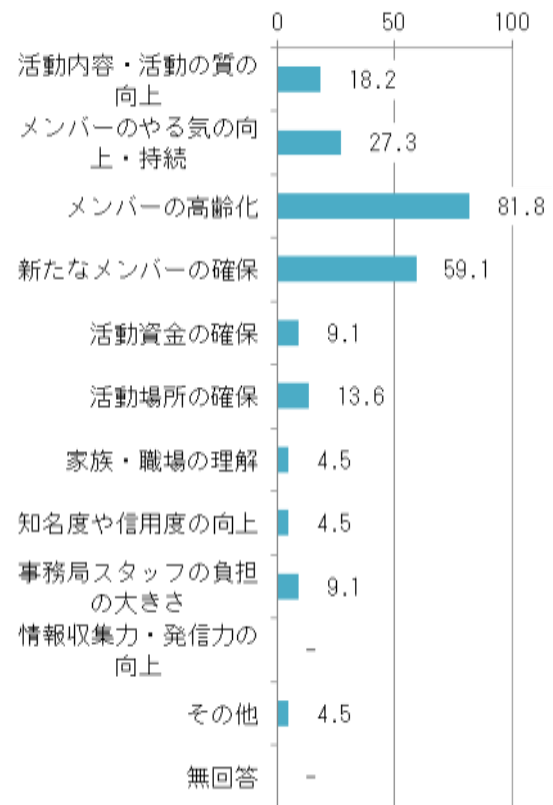
●「活動内容・活動の質の向上」が50.0%と最も高く、次いで「新たなメンバーの確保」「活動場所の確保」が33.3%で続いています。活動歴が短い分、組織としての整備面が課題となっているようです。

6～10年  
(総数20、複数回答、単位%)



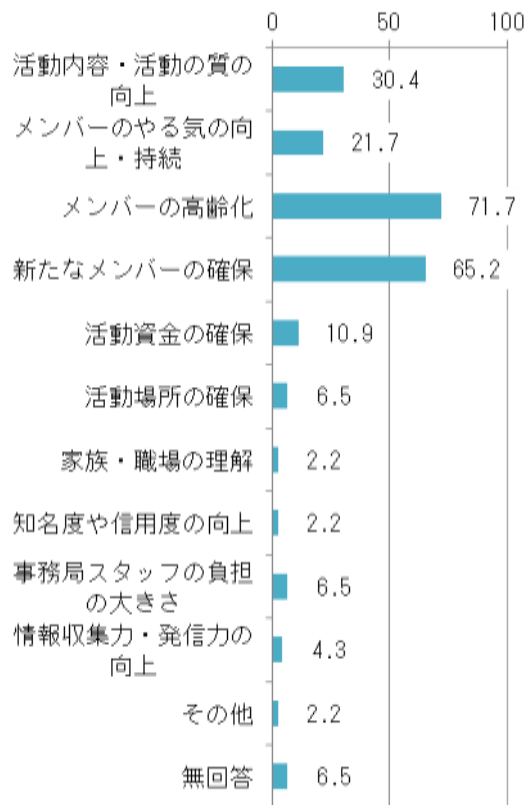
●「メンバーの高齢化」が50.0%と最も多く、次いで、「新たなメンバーの確保」40.0%、「メンバーのやる気の向上・持続」35.0%などとなっています。組織の継続とともに、構成員の確保など、その維持が新たな課題となってきます。

11～20年  
(総数22、複数回答、単位%)



●「メンバーの高齢化」81.8%、「新たなメンバーの確保」が59.1%と、突出して多くなっています。メンバー確保の課題が鮮明になっています。

21年以上  
(総数46、複数回答、単位%)



● 「メンバーの高齢化」71.7%、「新たなメンバーの確保」が65.2%と、突出して多くなっています。また、「活動内容・活動の質の向上」も30.4%で新たな課題として再浮上しています。

問11 安曇野市の文化芸術について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

- 生涯学習として、益々盛んになることを願っています。  
／音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など）／11～30人／11～20年
- 安曇野文化に二年に一回位載せて頂いていますが、「あずみの」にも短歌、俳句等のページを設けて貰えたら嬉しく思います。／文学・人文分野（文学、歴史、地理など）／1～10人／21年以上
- 無料（もしくは安い使用料）で貸してもらえらる会場の確保が一番の問題です。3ヶ月前の予約も大変です。電子ピアノでもいいので、ピアノのある会場がもっとほしいです。／音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など） 趣味・娯楽・親睦活動（囲碁・将棋、英会話、親子活動など） ボランティア活動、地域活動／11～30人／6～10年
- 市の施設大綱に「人と文化を育むまちの育成」を掲げ、他に誇ることでできる独自の文化のかおるまちづくりが市の目標であるならば、設備、規模の整った立派な市の音楽ホールを造ってほしい。松本市や大町のように。  
／音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など）／11～30人／21年以上
- 市主体の各種イベントや、施設充実等の施策に心から感謝申し上げます。2040年度に人口83,000人を目指している安曇野市は環境的にも文化的にも大変魅力があると考えますが、安曇野ブランドを確立するには、文化を形成する上で必須となる“継続”に対するソフト面・ハード面の両施策が、他市町村と比較すると劣っていると感じます。市内学生が一同に会せるコンサートホールや、上京した学生が地元に戻ってきたいと思うイベント等、引き続きご協力の程宜しくお願い致します。／音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など） ボランティア活動、地域活動／101人以上／21年以上
- 1. 地区のイベントの発表の場が少ない。／2. 安曇野市全体との交流の場を持ちたい。／音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など） スポーツ・レクリエーション ボランティア活動、地域活動／1～10人／21年以上
- 学習の場を広げることができるよう、市の所有するバス利用。指導者・伴奏者の若返り。教具の整理（五線黒板、オーディオ設置、DVD）。発表会の企画運営。／音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など） 芸術・文化分野（絵画、陶芸、書道、茶道、華道など） ボランティア活動、地域活動／31～50人／11～20年
- 安曇野市範囲での発表の場があれば面白い。／音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など） 文学・人文分野（文学、歴史、地理など）／11～30人／21年以上
- 各支所（交流センター）に印刷機など団体活動専用のものを備えていただきたい。また、団体活動のための資料、文書の保存スペースを設けていただきたい。／文学・人文分野（文学、歴史、地理など）／51～100人／6～10年
- 私たちのサークルは高齢化が進み、若い人たちにも少しアピールできるものがあれば……。保育園の子どもさんとの交流など考えていきたいと思っています。／音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など） ボランティア活動、地域活動／その他／11～30人／11～20年
- 交流学习センターも減免になるといいと思う。／音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など）／11～30人／3～5年
- 公民館事業に1つにして発展させていくことが必要です。用具（主に竈など）、技能、知識が必要なので一度途絶えると、今後続けていくことが困難になります。／芸術・文化分野（絵画、陶芸、書道、茶道、華道など）／11～30人／11～20年
- コーラスにはピアノが不可欠で、防音できる部屋とともに是非ほしい。文化の原点のひとつ食文化を発展させるため、調理実習の場を身近にほしい。／音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など）／11～30人／21年以上
- 詩吟のブームは昭和47年頃でした。各流会派が三郷の中にもあり、有志の音頭により昭和53年に結成。いわば寄合所帯で、現在はメンバーの高齢化が課題です。／音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など）／11～30人／21年以上
- 芸術文化が多様化され、多くの方々が色々な所で活動できるようになった。時の流れという環境がありがたい。／音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など）／11～30人／21年以上
- 公民館の文化祭参加募集もなく、毎年の開催はどうしてできるのか不思議です。事務局がお休みの土曜日に活動しているからなのか。PRとか交流とか方法を改善して欲しいと思います。／芸術・文化分野（絵画、陶芸、書道、茶道、華道など）／1～10人／6～10年
- 芸能発表のしっかりできるホールがほしい（市民会館）。豊科公民館ホールは、客席数はそれなりですがステージが狭い。／音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など）／11～30人／6～10年
- 芸術文化協会に参加する団体の高齢化による組織の減少が心配です。ご支援が必要です。／芸術・文化分野（絵画、陶芸、書道、茶道、華道など）／11～30人／21年以上
- 活動や発表の場として使用させていただいている豊科郷土博物館は、活動も発表も2階なので作品額の搬入にも苦労しています。（普通巾50cm、高さ180cm位の額が多い。）／芸術・文化分野（絵画、陶芸、書道、茶道、華道など）／11～30人／21年以上
- メンバーが高齢になり、新しい若い人はスポーツ関係の

- クラブに入っている様子です。／音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など）／その他／1～10人／6～10年
- 市制10周年記念として、芸能祭がありますが、年1回位、毎年開催すれば一体感が生まれ、文化芸術も研鑽され互いに励みになる。／音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など） 社会問題、市民生活分野（自然保護、高齢社会、男女共同参画など）／家庭生活、日常生活分野（料理、手芸、着付け、園芸など）／11～30人／6～10年
- 利用している施設のピアノを調律していただきたいです。／音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など）／11～30人／11～20年
- 新たなメンバー開発の為に、各活動団体を一元的に市民へアピールすることが必要。行政も広報等の活用や、各団体の支援を今より御助力願いたい。／文学・人文分野（文学、歴史、地理など） ボランティア活動、地域活動／その他／11～30人／11～20年
- 文化水準は低い。文化面の活動（講演会、劇団（高い水準）の公演など、質的な高さのあるものを多く鑑賞する機会がほしい。／音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など） 文学・人文分野（文学、歴史、地理など） 芸術・文化分野（絵画、陶芸、書道、茶道、華道など）／1～10人／6～10年
- 事務局など、協同でお願いできる基地みたいな集まり（場所）があると助かる。／社会問題、市民生活分野（自然保護、高齢社会、男女共同参画など）／31～50人／3～5年
- 童謡唱歌は外国に誇れる日本の財産です。若い世代の人達とも歌えるよう努力したいので、ご支援よろしくお願いたします。／音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など） 趣味・娯楽・親睦活動（囲碁・将棋、英会話、親子活動など） ボランティア活動、地域活動／31～50人／21年以上
- 安曇野は早春賦の里。自信と誇りを持って“早春賦の精神”を一層内外に発信したい。早春賦の活動に併せ、鐘の鳴るの丘の由緒を後世に繋げる活動の大切さを思うので、ご支援の程願います。／音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など） 趣味・娯楽・親睦活動（囲碁・将棋、英会話、親子活動など） ボランティア活動、地域活動／51～100人／21年以上
- 特になし。／文学・人文分野（文学、歴史、地理など）／11～30人／6～10年
- 芸文協加入団体の会員の高齢化が進んでいる。市広報誌等でのPRをしてほしい。／音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など）／11～30人／6～10年
- 教育委員会のご理解の下と若干の甘えもあるかもしれない。一回だけ各地域の公民館の対応内容に一部不満をもった。違いを感じるのですが、統一化については進捗状況に変化はありますか？／音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など） 芸術・文化分野（絵画、陶芸、書道、茶道、華道など） ボランティア活動、地域活動／101人以上／6～10年
- 他市町村で行われている行事・文化イベント等を、安易に取り入れようとする傾向が見受けられる気がします。／社会問題、市民生活分野（自然保護、高齢社会、男女共同参画など） ボランティア活動、地域活動／11～30人／11～20年
- 豊科公民館の改修整備（3月完了）期待しています。全市で文化芸術の発表の機会があればよいと思う。芸文協加入団体だけでは行われたが、入らずに活動している人もいるので皆が参加できる機会を。／1～10人／21年以上
- 他にも活動できる場所があるのではないのでしょうか？ 芸術・文化分野（絵画、陶芸、書道、茶道、華道など） 家庭生活、日常生活分野（料理、手芸、着付け、園芸など） その他／31～50人／6～10年
- 活性化するため、市で積極的に広報してほしい。／家庭生活、日常生活分野（料理、手芸、着付け、園芸など）／1～10人／3～5年
- 「文化」を芸術文学などに限定せず、生活全体にかかわる文化と考えてほしい。／文学・人文分野（文学、歴史、地理など）／11～30人／21年以上
- 文化は人間の生活から造りだされ、文学はその中から生まれたものですから、文化全体を高めることが市民生活のレベルアップだと考えます。／文学・人文分野（文学、歴史、地理など） その他／101人以上／6～10年
- 団体の所在・連絡場所の周知のため、公民館等へ私書箱の設置など各団体との受付連絡機能の改善。／文学・人文分野（文学、歴史、地理など）／11～30人／21年以上

安曇野市文化振興計画施策評価シート

1-1

主要施策	1 残したい安曇野の文化						
施策	1 自然環境の保全	安曇野には、先人から受け継いだ清らかな水と澄んだ空気、里山や田園など、身近に四季が感じられる豊かな自然環境があります。自然との共生を進め、安曇野の自然環境とそれに支えられた生活文化を守り、より豊かに育みます。					
具体的な取り組み	(1) 自然との共生 ・「水の恵み」について学ぶ機会を設けます。また、市民と協働で、その保全に取り組みます。 ・自然と触れ合い親しむ中で自然を大切にすることを醸成します。 ・自然と調和したまちづくりを進めます。						
実施事業評価及び課題	<p><b>【実施事業】</b></p> <p>(1) 「安曇野の水辺体験」事業として年3回以上の親水イベントを開催している(環境課)。</p> <p>(1) 「安曇野の自然まるわかり観察会」事業として年3回以上の自然観察会または学習講座を開催している(環境課)。</p> <p>(1) H24、安曇野検定に「自然科学編」を設けて実施した。また、その準備講座として「安曇野の生活と地下水、少し温泉」、「河川と水辺の生きものたち」などを取り上げた(生涯学習課)。</p> <p>(1) H26発行の安曇野検定公式テキスト『安曇野の郷科書』に河川・湧水、堰について掲載した(生涯学習課)。</p> <p>(1) H26・27、「光城山の自然と歴史」と題した講座を行い、光城山を散策しながら動植物、歴史について学んだ(豊科公民館)。</p> <p>(1) 里山トレッキング講座「富士尾山登山と自然観察会」を開催し、多様な植生を観察し、身近な里山の良さを再発見した(穂高地域課 穂高公民館)。</p> <p>(1) 夏休み子ども自然体験講座「アカゲラの巣箱づくりと自然体験」を開催し、被害が拡大している松枯れの原因を学ぶとともに、拡大防止に役立つアカゲラの巣箱づくりを行った(穂高地域課 穂高公民館)。</p> <p>(1) 市内小学生と保護者を対象に体験学習「ふるさとたんけん隊」を開催し、明科地域をはじめ安曇野市近郊の自然・風土等について学んだ(明科公民館)。</p> <p>(1) 「ふるさとの素晴らしさ」と「水の恵み」を学ぶ機会につながることを目的に、信州大学連携事業の一環で『安曇野風土記Ⅰ 水でむすばれたふるさと』を発刊した(文化課)。</p> <p>(1) 公共工事に伴う埋蔵文化財包蔵地の保護協議とあわせ、天然記念物、希少動植物なども協議対象とし、保護について留意している(文化課)。</p> <p>(1) 豊科郷土博物館主催で野鳥などの自然観察会を実施している(文化課)。</p> <p>(1) 田淵行男記念館で、小学生とその保護者を対象に、定期的に自然観察教室を開催している(文化課)。</p> <p>(1) H27. 11に策定した「安曇野市新市立博物館構想」において、新市立博物館の基本理念を「自然と人々の営みが生み出した安曇野の文化を市民とともに「守り」「育て」「創る」とし、今まで博物館等でほとんど取り上げてこなかった北アルプスの景観や自然の要素を積極的に盛り込んだ総合博物館を目指すとした(文化課)。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>(1) 新市立博物館構想を具現化するにあたり、自然史の専門知識を持つ学芸員等の配置など、活動体制づくりが課題となっている(文化課)。</p>						

安曇野市文化振興計画施策評価シート

主要施策	1 残したい安曇野の文化						
施策	2 文化的景観の保全	人々の生活や生業そして風土により形成された文化的景観は、私たちが自然と共生する中で育んできた安曇野の原風景といえるものです。安らぎと潤いのあるこの空間を保全するとともに「まちづくり」に活かし、快適で豊かな暮らしを実現します。					
具体的な取組み	<p>(1) 文化的景観の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道祖神や文化財を活かした良好な景観づくり、まちづくりを進めます。</li> <li>・ 田園や里山、さらに堰や屋敷林などを「景観モデル地区」あるいは「文化的景観」として選定し保護していくことを目指します。</li> <li>・ 景観をつくる樹木や植生などの保存整備に努めます。</li> </ul>						
実施事業評価及び課題	<p><b>【実施事業】</b></p> <p>(1) 「歩いて楽しいまちづくり」事業により、明科地域潮沢区をモデル地区として、市民主体で地域のよさを楽しみながらつなぎ、活かしていくまちづくりを進めている(環境課)。</p> <p>(1) 景観計画をH23.3に策定し、景観条例をH23.4から施行した。建築等を行う際には届出書の提出を求め、内容を審査することで景観計画との整合を図り、古くからの田園景観に違和感を与えないための取組みをしている(建築住宅課)。</p> <p>(1) 屋外広告物条例をH24.10に施行し、大きさ、地色の色彩、設置できる地域の制限等、許可基準を設けることで、周囲の景観になじまない屋外広告物を規制している(建築住宅課)。</p> <p>(1) 緑のまちづくり事業をH27から実施し、記念樹の配布、生垣設置等への助成を行うことで、景観をつくる樹木の整備に努めている(建築住宅課)。</p> <p>(1) NPO等市民団体が企画する文化的景観関連のフォーラム等で、講師を務めるなど協力している(文化課)。</p> <p>(1) 建築士会等の協力を得ながら実施した民家調査において、あわせて文化的景観という視点からの調査も行っている(文化課)。</p> <p>(1) H24に豊科郷土博物館夏季特別展「写真が語る私たちの暮らし～あぜ道の風景をとおして～」を開催し、市内のあぜ道を中心とした風景の変化を写真で展示した(文化課)。</p> <p>(1) 田淵行男記念館で、田淵行男が撮影した安曇野の景観をテーマとした作品展を定期的で開催している(文化課)。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>(1) 安曇野市文化財保護条例において、文化的景観を文化財の指定区分の一つにしているが、現在のところ指定は無い(文化課)。</p>						

安曇野市文化振興計画施策評価シート

2-1

主要施策	2 伝えたい安曇野の文化	
施策	1 先人・文化人の顕彰	安曇野を築いてきた郷土の先人たちの営みと文化芸術の振興に功績のあった多くの先人を顕彰し、その思いを受け継ぎ、明るい安曇野を創造します。
具体的な取り組み	(1) 先人の顕彰 ・ 各方面からの情報収集に努め、「安曇野市ゆかりの先人たち」のデータベースを充実します。 ・ 先人たちの営みから、明るい安曇野、豊かな未来を創造する指針を得、まちづくりに活かします。	(2) 資料・作品の計画的な収集 ・ 郷土の先人たちが遺した資料・作品を計画的に収集・保存し、活用を図ります。
実施事業評価及び課題	<p><b>【実施事業】</b></p> <p>(1) 安曇野検定準備講座で、江戸時代から昭和までの著名な先人たちを取り上げ、検定の問題として出題した(生涯学習課)。  (1) H26発行の安曇野検定公式テキスト『安曇野の郷科書』に安曇野ゆかりの人物について掲載した(生涯学習課)。  (1) 「安曇野市ゆかりの先人たち」データベースを安曇野市ホームページ上に公開し、その情報を広く活用していただいている(図書館交流課)。  (1) H26 豊科郷土博物館特別展「安曇野のエジソンたち」を開催し、臥雲辰致をはじめとする近代安曇野の発明家を顕彰し、現在の企業のものづくりまでを紹介した。また、展覧会に係る現地見学会を開催した(文化課)。  (1) 田淵行男の顕彰を目的の一つに、3年ごとに田淵行男賞写真作品公募を行っている(文化課)。  (1) H26 取壊された田淵行男邸跡に、記念碑を建立した(文化課)。  (1) 交流学習センターにおいて、飯沼飛行士展、小室孝雄展、等々力巳吉展、小林邦展など郷土の先人を顕彰する展覧会を開催した(文化課)。  (1) 豊科近代美術館において、下條周信展など郷土の先人を顕彰する展覧会を開催した。  (1) 飯沼正明飛行士の顕彰を目的の一つとする「安曇野紙ヒューキ大会」を実行委員会と共催している(文化課)。  (1)(2) 高橋節郎記念美術館で、高橋節郎を顕彰する展覧会を毎年開催している。高橋節郎の生誕百年にあたるH26には、愛知県豊田市美術館、長野県信濃美術館等と実行委員会を組織し「生誕百年高橋節郎展」を開催した(文化課)。  (1)(2) H27.11策定の「安曇野市新市立博物館構想」において、新市立博物館の4つの役割の1つに、「先人たちが伝えてきた文化遺産を守り、その価値を最大限に生かすため、安曇野にかかわる資料の収集や保存を行います」と収集・保存について謳った(文化課)。  (2) 豊科交流学習センターで熊井啓作品の上映を行っている。また、豊科交流学習センター内の熊井啓記念館にて、熊井啓資料を収集・保存し、活用を図っている(図書館交流課)。  (2) 図書館において、郷土の先人及び文化に関わる図書の収集を積極的に行っている(図書館交流課)。  (2) H27 安曇野市美術館美術資料等収集要綱を設け美術館の収集方針を明らかにした。また、美術資料等を適正かつ円滑に収集するため、美術資料等選定委員会を発足させた(文化課)。  (2) 旧町村誌編纂時に収集した郷土の先人に関わる資料の収集整理を行なっている(文化課)。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>(2) 文化財資料センターの設置、歴史民俗資料館の収蔵庫への転換、豊科近代美術館収蔵庫の増築などを実施したが、収蔵環境は十分とはいえない(文化課)。</p>	



安曇野市文化振興計画施策評価シート

主要施策	2 伝えたい安曇野の文化		
施策	2 地域文化の継承		
具体的な取り組み	(1) 地域文化の理解と尊重 ・ 市内それぞれの地域で守り伝えられてきた多様な文化について知る機会を設けます。また、多様な文化を尊重する意識を醸成します。	(2) 伝統文化の継承 ・ 衣食住などの伝統文化、安曇野の風土に根ざした暮らしの知恵を大事にし、その継承を図ります。	(3) 郷土芸能の保存と継承 ・ 郷土芸能や祭礼行事の伝承活動を地域全体で支援します。また、広く市民が郷土芸能にふれる機会を設けます。
実施事業評価及び課題	<p>(4) 世代間の交流と文化の継承 ・ 伝統的な祭りや催しを通じて、そこに暮らす子どもから高齢者まで様々な世代の地域住民が交流を深めることにより、文化の継承並びに元気で活力ある地域社会の創造を目指します。</p> <p><b>【実施事業】</b>                  (1) 安曇野検定準備講座で、地域文化を取り上げ検定の問題として出題した(生涯学習課)。                  (1) H26発行の安曇野検定公式テキスト『安曇野の郷科書』に伝統文化について掲載した(生涯学習課)。                  (1) H26・27、「石碑に刻まれた歴史を探る」と題した公民館講座を行い、市内5地域に所在する石碑を巡り、建立の経緯とともにその時代背景を学んだ(豊科公民館)。                  (1) 市内各地域の伝統や文化について学びを深めるため、寺社や遺跡などの文化財をめぐる「ふるさと講座」を開催している(三郷公民館)。                  (1)(2) 毎年、豊科郷土博物館主催「昔の暮らし体験講座」を開催し、重要文化財曾根原家で囲炉裏を囲んで戦争体験者のお話を伺ったり、大麦のワラで虫カゴを編むなどの体験を行った。                  (1)(3) 豊科郷土博物館などを会場にH24・25にわたり特別展「安曇野のお祭り展」を開催した。H24は市内のオフネ祭りを紹介し、あわせてオフネの曳行や、講演会など各種イベントを行った。H25は安曇野の道祖神祭りを紹介し、三九郎など、道祖神祭りに関するイベントを行った(文化課)。                  (1)(3) 堀金地域に根づく文化や伝統芸能の保存・継承のため、堀金地域文化祭で、堀金郷土史研究会によるパネル展示や田多井音頭保存会による歌詞応募作品の展示発表を行っている(堀金公民館)。                  (1)(3) 明科地域文化祭「お楽しみサロン」において、押野獅子舞保存会による地域伝統芸能「獅子舞の奉納」を披露していただいた。押野獅子舞は、一時継承者がいなくなり途絶えていた伝統芸能で、近年有志により復活した獅子舞をお囃子と共に披露いただいた(明科公民館)。                  (1)(3)(4) 無形民俗文化財の保存伝承、後継者育成に対する補助事業を実施している(文化課)。                  (2) H27 豊科郷土博物館企画展「興味津々あづみのFOOD」では、郷土で継承されている食文化をとりあげ、また関連する各種イベントを開催した(文化課)。                  (2) ユネスコ無形文化遺産に登録されたのを機に、「世界の料理教室」と題して日本人の伝統的な食文化「和食」を取り上げ、講習会を開催した。また、「こんにやくづくり教室」を継続して開催し、市民から好評を得ている(明科公民館)。                  行っている(文化課)。                  (2) 豊科郷土博物館で毎年、郷土の伝統食講座を開催し、安曇野の地域食を実際に作ってみる講座を開催している(文化課)。                  (3) 三郷地域に根づく文化や伝統芸能の保存・継承のため、三郷地域市民文化産業展では三郷芸術文化協会所属の「三郷郷土研究会」、三郷地域市民芸能発表会では同じく三郷芸術文化協会所属の「上長尾獅子舞保存会」「三郷義民太鼓保存会」「三郷音頭保存会」による発表の場を設けている(三郷公民館)。                  (4) 明科地域文化祭において、子ども(小学生・中学生・高校生)から高齢者までが一堂に集まり、芸能発表や展示発表ほかを通して世代間の交流を深めている(明科公民館)。                  (3)(4) 三郷地域市民芸能発表会において、三郷芸術文化協会所属の三郷音頭保存会、三郷小学校授業内クラブ「踊ろう三郷音頭クラブ」とともに「みんなで楽しむ三郷音頭」を観客参加型プログラムとして盛り込んだ(三郷公民館)。                  (4) 毎年、市内の全小学校において、民俗資料を出前しての体験講座を実施している。講師には、実際にこれら民俗資料を使った経験のある地元の皆さんに務めていただいている(文化課)。</p>		

安曇野市文化振興計画施策評価シート

主要施策	3 感じたい安曇野の文化			
施策	1 文化芸術施設の整備・充実			
	市民が文化芸術活動に参加・体験し、心の豊かさを高め、文化芸術を身近に感じることができるよう、文化芸術施設の整備・充実を図ります。 施設の整備・充実にあたっては、施設の持つ機能が十分に発揮できるよう計画的に改修を進めます。また、博物館や資料館等については、施設の再編整理を図り、その先に新市立博物館構想の実現を目指します。			
具体的な取り組み	(1) 豊科近代美術館の整備 ・ 豊科近代美術館に市所有の美術資料を集約し、安曇野市の基幹美術館とします。 ・ 基幹美術館にふさわしい名称に変更するとともに、展示環境や収蔵環境などを整備し、活動を充実させます。	(2) 新市立博物館構想の具体化 ・ 豊科郷土博物館や各地域の郷土資料館等の事業を引き継ぎ、郷土の情報センター・学習センターとなるべき新市立博物館について、構想の具体化を目指します。 ・ 新市立博物館構想の準備として、既存施設を利用し、歴史文書や民俗資料、出土遺物等の整理保管機能をもった施設を設置し、資料の調査研究、収集活動を進めます。	(3) 郷土資料館等の統廃合と有効活用 ・ 郷土資料館の統廃合を進め、一部は収蔵施設に転換します。	(4) 公民館の整備充実 ・ 文化芸術活動の身近な拠点である公民館の整備充実を図り、市民の活動を積極的に支援していきます。
	(5) 交流学習センターの整備充実 ・ 地域住民が集い、交流を深め、学ぶ場として、図書館を核とした交流学習センターの整備充実を図ります。	(6) 図書館の整備充実 地域文化に関する市民の自主的な学習活動を支援するため、図書館及びその資料の整備充実を図ります。	(7) 市民文化ホールの整備充実 市民が舞台や音楽活動に親しみ、各種催し等にも対応できる、適正な規模の市民文化ホールの整備を目指します。	(8) ユニバーサルデザインに基づく施設整備 ・ ユニバーサルデザインに基づいた施設整備を進め、誰もが芸術文化に親しめる環境を整備します。
実施事業評価及び課題	<p><b>【実施事業】</b></p> <p>(1) H24・25、豊科近代美術館の展示室と収蔵庫を増築し、展示環境と収蔵環境の整備を図った(文化課)。                  (2) H27安曇野市新市立博物館構想を策定し、施設の再編整理と新市立博物館構想の方向性、新市立博物館が目指す姿、事業・活動構想、施設構想、管理運営構想を示した(文化課)。                  (3) 旧穂高給食センターを改修し、博物館附属施設として文化財資料センターを設置し、埋蔵文化財や民俗資料の整理保管機能をもたせた(文化課)。                  (4) H24.3、「郷土資料館等の統廃合と今後の運営方針について」を定め、これに基づき三郷、堀金、明科の各歴史民俗資料館を閉館とした(文化課)。                  (5) 閉館した三郷、堀金の各歴史民俗資料館を、収蔵施設に転換した(文化課)。                  (6) H24、明科公民館新築。H25、穂高公民館、H27、豊科公民館、三郷公民館及び堀金公民館の耐震補強を含めた改修を実施した(生涯学習課)。                  (7) (5) (6) H28.4の開館を目指し、堀金複合施設内に堀金図書館及び堀金交流学習施設の整備計画を進めている(図書館交流課)。                  (8) (6) H29年度中の開館を目指し、三郷図書館を核とした複合施設「三郷交流学習センター」の整備計画を進めている(図書館交流課)。                  (9) 穂高・豊科交流学習センターに200席規模の多目的ホールを整備し、三郷・堀金地域の交流学習センターでも同規模の多目的ホールの整備を予定している(図書館交流課)。                  (10) 当面の間、市民ホールの役割を担うため、H27に豊科公民館ホールの耐震補強改修工事を実施した(生涯学習課)。                  (11) 穂高会館にエレベーターを設置した。また、豊科公民館においても設置工事を進めている(生涯学習課)。                  (12) H24、穂高陶芸会館、H25、田淵行男記念館外トイレ、H26、豊科近代美術館のトイレを洋式化した(文化課)。                  (13) 高橋節郎記念美術館、豊科近代美術館等の改修等工事を計画的に進め、環境整備を図っている(文化課)。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>(1) 豊科近代美術館の名称変更にあたっては、他の施設とあわせて変更を検討することとしている(文化課)。                  (2) 古い施設では、効果的な改修が困難である(文化課)。</p>			

安曇野市文化振興計画施策評価シート

主要施策	3 感じたい安曇野の文化			
施策	2 文化芸術施設の運営		市民ニーズに沿い、各施設の個性や特徴を活かした魅力ある企画を実現できるよう、利用形態や運営方法の改善に努めるほか、施設間の連携強化を図ります。 市民が幅広く文化の魅力を理解し、豊かな感性や想像力を養うことができるように、学習・体験機会の充実を図ります。	
具体的な取組み	(1) 運営方法の見直し ・ 施設利用者のニーズにあった柔軟で効率的な施設運営に努めます。 ・ 市民特に子どもたちが地域の芸術文化に親しむことができるよう、施設の入館料(利用料)を見直します。 ・ 直営及び指定管理が混在している管理運営方法について、それぞれの効果を検証し、より効果的な方法に改めます。	(2) 特色ある事業運営 ・ 市民の多様なニーズに沿い、各施設の個性や特徴を活かした魅力ある事業運営に努めます(別表:博物館・資料館の活動理念)。また、市民参画を促し協働で事業を展開します。	(3) 館外活動の充実 ・ 市民にとってより身近な文化施設となるよう館外活動(アウトリーチ活動)を積極的に展開します。	(4) 施設間の連携強化 ・ 施設相互の情報交換を密にし連携を強めます。また、民間文化芸術施設と連携し、協働の取り組みを推進します。
実施事業評価及び課題	<p><b>【実施事業】</b></p> <p>(1) 美術館・博物館等の入館料について、H23から中学生以下を、H27から市内在住70歳以上を無料とした(文化課)。                  (1) H27、市制施行10周年を記念し、施設の無料開放を実施した。H28以降も実施の方向で調整している(文化課)。                  (1) 豊科近代美術館、田淵行男記念館、高橋節郎記念美術館等で、コンサートなどのイベントとあわせて夜間開館(夜のミュージアム)を実施している(文化課)。                  (1) 美術館、博物館等において、連休中等で施設利用のニーズが認められる場合、臨時開館している(文化課)。                  (1) 文化財保護事業等との連携を強めるため、H24から豊科郷土博物館の管理運営を指定管理から直営にした(文化課)。                  (1) 豊科近代美術館等との連携による効果的な事業展開、効果的な管理運営を図るため、H26から穂高陶芸会館の管理運営を直営から指定管理にした(文化課)。                  (1) H27、「新市立博物館構想」を策定し、各施設の将来構想についてまとめた(文化課)。                  (1)(2)(3)(4) H27.11「安曇野市新市立博物館構想」を策定し、新市立博物館が目指す姿、事業・活動構想、管理運営構想などを示した(文化課)。                  (2) 豊科郷土博物館で、各地域のオフネ祭り保存会の皆さん、市商工会、安曇野工業会等と協働で企画展を開催した(文化課)。                  (2) 豊科郷土博物館の常設展示の中に、他部署や市内NPO法人の活動を紹介するコーナーを設けた。また、水鉄砲のような水で遊べるおもちゃなどを設置し、体験型の展示を展開している(文化課)。                  (2) 各施設において、展覧会や講座、学習会を積極的に開催している(文化課)。                  (2) 豊科郷土博物館「安曇野のお祭り展」「安曇野のエジソンたち展」「安曇野FOOD展」、高橋節郎記念美術館「そば猪口アート展」など市内の団体や事業者と連携した企画展を開催した(文化課)。                  (3) 郷土博物館や郷土資料館の資料を用いた「昔の暮らし体験教室」を市内全小学校で開催している(文化課)。                  (3) H24から市内の美術館、博物館収蔵品を学校で展示する「学校ミュージアム」を年2校で開催している。また、H27には穂高交流学習センターで、出前展覧会を開催した(文化課)。                  (4) H24から市内の公私立美術館博物館等で実行委員会を組織し、ギャラリートークリレー、学校ミュージアムなど協働事業の実施、情報の交換に努めている(文化課)。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>(4) 私立美術館との連携事業実施にあたっては、入館料の扱いが課題の一つになっている(文化課)。</p>			

安曇野市文化振興計画施策評価シート

主要施策	3 感じたい安曇野の文化				
施策	3 文化芸術活動の推進	市民の意識やニーズを把握し、子どもや高齢者、障がいのある人など、全ての市民が優れた文化芸術に接することができるよう、展覧会やコンサートなどの内容を充実するとともに鑑賞しやすい環境づくりを進めます。 また、市民の文化芸術活動が、文化芸術を受容、鑑賞するだけでなく、創作や発表へと発展し自己実現を図ることができる環境づくりを推進します。			
具体的な取り組み	(1) 芸術鑑賞機会の充実 ・ 市民が身近な場所で良質な文化芸術に親しみ、喜びや感動を味わうとともに感性を磨き創造意欲を高めていくことができるよう、優れた作品を鑑賞できる機会の充実に努めます。 ・ 多様な文化芸術にふれることができるよう、音楽、美術、演劇や伝統芸能など様々な文化芸術事業をバランスよく企画実施します。	(2) 市民活動の育成支援 ・ 市民がライフステージにあわせて幅広く文化活動に参加し、日々の生活を充実させ、楽しむことができるように、身近な地域に文化芸術活動に参加できる場と機会が設けられるよう支援します。 ・ 文化祭や音楽祭、市民芸術祭などを開催し、市民に発表の機会を提供します。 ・ 市民と協働で、「信州安曇野薪能」「早春賦音楽祭」「童謡まつり」等を開催します。			
実施事業評価及び課題	<p><b>【実施事業】</b></p> <p>(1) 各美術館、博物館等で、毎年、多様な展覧会を開催している(文化課)。  (1) 豊科近代美術館の増築記念として「20世紀フランス絵画展」を開催した(文化課)。  (1) 豊科近代美術館の展覧会開催にあたり、大勢の市民が鑑賞できるよう広報紙に無料招待券を刷り込んで配布した(文化課)。  (1) 大勢の市民に鑑賞等していただけるよう、市制施行10周年を記念し、美術館・博物館の無料開放を行った。また、田淵行男記念館では、毎年1月を市民無料としている(文化課)。  (1) 穂高交流学習センターでアンサンブル藝弦などのコンサートや安曇野をテーマにした企画展、能面と能装束展、マイコレクション展などを実施した(図書館交流課)。  (1) 豊科交流学習センターで優良映画鑑賞事業や熊井啓監督作品上映会、親子向け工作ショーなどを実施した(図書館交流課)。  (1) 安曇野市役所の開庁記念イベントでアンサンブル藝弦の出前コンサートを実施した(図書館交流課)。  (1) 明科子どもと大人の交流学習施設で明科図書館や明科児童館とのタイアップイベントや、穂高交流学習センター企画展の巡回展示を実施した(図書館交流課)。  (1)(2) 子どもたちが良い音楽に触れる機会として「童謡祭り」を開催している。あわせて、市内小中学生を対象とした「作詞・作曲コンクール」を実施し、子どもたちの音楽への興味と関心を高めている(豊科公民館)。  (1)(2) 市民との協働により早春賦音楽祭、童謡祭り、信州安曇野薪能などを実施した。また、文化芸術活動を行う団体等に対し補助金を交付した(文化課、地域課)。  (2) H10から豊科地域で活躍するコーラスグループの日ごろの練習成果の披露と交流促進を目的に、「豊科地域コーラスグループ交流発表会」を行っている(豊科公民館)。  (2) 地域文化祭出展作品の一部を集め展示する「安曇野市総合芸術展」を開催している(生涯学習課)。  (2) 博物館友の会の自主的な文化活動を支援するとともに、協働で講座を開催している(文化課)。  (2) 穂高交流学習センターであづみの新進音楽家公開オーディションを開催している(図書館交流課)。  (2) 高橋節郎記念美術館や貞享義民記念館において、市民や地域作家に発表の機会を設けている(文化課)。</p>				

安曇野市文化振興計画施策評価シート

主要施策	4 学びたい安曇野の文化			
施策	1 文化財の保存と活用 文化財は、長い歴史の中で生まれ、育まれ、そして今日まで守り伝えられてきた貴重な私たちの財産です。また、新たな文化を創造するうえでの基礎となるものです。 貴重な文化財を後世に伝えていくために、文化財に関する調査を実施し、現状を把握するとともに、基礎的資料の蓄積を図ります。また、文化財指定を進め、これらの保存・活用を市民と協働で推進することにより次世代に継承します。さらに、文化財を活かした地域の個性を高めていくまちづくりを進めます。			
具体的な取り組み	(1) 普及啓発活動の充実 ・ 文化財が身近に感じられるよう、標柱の設置や整備を進めるとともに、展示公開や印刷物等で市民にわかりやすく紹介します。 ・ 市民とりわけ子どもたちが、学校や地域において、地域の伝統文化や文化財を学習、体験できる機会の充実を図ります。	(2) 有形文化財の保存と活用 ・ 建造物・絵画・工芸品・典籍など歴史的または芸術的な価値を持つ文化的所産の保存・活用に努めます。また、修復が必要なものは計画的に進めます。	(3) 無形文化財の継承 ・ 演劇、音楽、工芸技術その他の無形の文化的所産について、継承に努めるとともに、映像等による記録化を図ります。	(4) 民俗文化財の継承、収集保存と活用 ・ 祭礼や民俗芸能、伝統行事や伝統芸能等について、継承に努めるとともに、映像等による記録化を図ります。 ・ 暮らしや生業に係る資料について系統的に収集し、その価値をわかりやすく伝えます。 ・ 資料館の廃止にあわせ、分散している民俗資料を集約し、整理作業等を行うことのできる施設を整備します。
	(5) 記念物の保護と活用 ・ 史跡・名勝・天然記念物についての調査を行い、保存、整備・活用に努めます。その価値をわかりやすく伝えるとともに、景観の一部として、まちづくりに積極的に活かします。	(6) 埋蔵文化財の保護と活用 ・ 埋蔵文化財について、分布図の整備を進めるとともに、調査や出土品の公開を通じて、周知・活用に努めます。また、安曇野の歴史にとって特に貴重な遺跡は、主体的に調査を進めます。 ・ 分散している出土資料を集約し、整理作業等を行うことのできる施設を整備します。		
実施事業評価及び課題	<b>【実施事業】</b> (1) 文化財標柱・説明板、「いわれの地」標柱設置を進めている。また、文化財マップを作成し配布をおこなった(文化課)。 (2) 重文曾根原家住宅、県宝光久寺の無料公開日を設けて市民に親しんでいただいている。また、重文曾根原家住宅を活用して「昔の暮らし体験講座」を実施している(文化課)。 (2) 有形文化財の保存修理に対して、修理方針等の指導を行なうとともに修理事業に対して助成をおこなった(文化課)。 (3)(4) 無形の文化的所産、祭礼や民俗芸能、伝承行事の取材と記録化を進めている(文化課)。 (4) 博物館の付属施設として文化財資料センターを開設し、民俗・考古等資料の集約、整理を進めている(文化課)。 (5) 「中房温泉の膠状珪酸および珪華」について、H23に保存管理計画を策定した。現地研修会を開催するとともにこれからの保存、整備、活用について検討している(文化課)。 (6) 埋蔵文化財の適正な保全が図られるよう研修を開催するとともに手引書の配布をおこなった(文化課)。 (6) 必要に応じ、記録保存のための発掘調査を行ない、現地説明会の開催、出土遺物等の展示を行なった(文化課)。 (6) 豊科郷土博物館の常設展示等で、市内の閉館した資料館で収蔵していた埋蔵文化財を展示している(文化課)。			

## 安曇野市文化振興計画施策評価シート

4-2

主要施策	4 学びたい安曇野の文化			
施策	2 書誌資料の保存と活用	歴史資料として重要な文書、資料、その他の記録の収集及び保存をし、広く市民の学習利用に供します。		
具体的な取り組み	(1) 古文書の整理と保存 ・ 市内に伝わる古文書について、所在を確認し目録を作成します。また、古文書学習グループと協働で読み下しを行い、活用を図ります。 ・ 個人所有の古文書について保存のための支援を行います。	(2) 歴史的価値ある行政文書の保存と活用 ・ 歴史資料として重要な公文書について、一定のルールに基づいて系統的かつ継続的に移管・収集・保存活用される仕組みを整備します。 ・ 収集保存並びに調査研究、普及啓発活動を行う文書館機能をもった施設を整備します。	(3) デジタルアーカイブの推進 ・ 必要な資料についてデジタル化を進め、資料保存を図るとともに多方面での利活用に供します。	(4) 市史(誌)の編さん ・ 『安曇野市史(誌)』の計画的かつ継続的な刊行を目指し、編さん事業に着手します。
実施事業評価及び課題	<p><b>【実施事業】</b></p> (1) (3) 市内に伝わる古文書の所在調査を行ない、借用した古文書については、デジタル化及び整理作業、目録作成を行なっている(文化課)。 (2) 安曇野市公文書等選別収集ガイドラインに沿って各課から持込まれた歴史的な文書等の整理及び配架作業を行った(総務課)。 (2) 「歴史的価値ある公文書」については、H28以降、総務部庶務法規担当から文化課へ移管され、保存活用へ向けた取り組みがスタートする(文化課)。 (2) H27.11に策定した「新市立博物館構想」の中で、文書館の設置構想を示した(文化課)。 (2) (3) 旧町村誌編纂時に収集した資料のデジタル化を進めるとともに、郷土の先人に関わる資料の収集整理を行なっている(文化課)。 (3) 古文書、写真等資料のデジタル化を進め、資料保存を図っている。また散逸の危機にある8mmフィルム等の映像史料については、H27から公共施設・各家庭に呼びかけ、デジタル化を行ない保存活用に取り組んでいる(文化課)。 (4) 近い将来訪れる市誌編纂事業に向けて、資料収集、資料整理を行っている(文化課)。 <p><b>【課題】</b></p> (2) 映像及び録音された資料は、それらを再生する機材がないため表題等が明記されていない場合に資料の内容を確認ができない状況にある(総務課)。 (2) 現在穂高会館内に保管庫を設置しているが、保管スペースが手狭になりつつある。今後新たに収集及び調査研究するためには、保管庫の増設が必要と思われる(総務課)。			

安曇野市文化振興計画施策評価シート

主要施策	5 育てたい安曇野の文化				
施策	1 地域文化を支える人材の育成	次代の文化活動の担い手の育成に努めます。特に、子どもたちが、学校、地域、家庭などの身近な場所で参加、体験、学習できるような文化活動、教育機会の充実を図ります。 また、専門的な人材を確保し、市民の多様な文化芸術活動を支える体制を充実させます。			
具体的な取り組み	(1) 学校における文化芸術教育の充実 ・ 子どもたちが個々にもっている能力を引き出し、感性を磨き、創造性豊かな人間形成がなされるように、文化芸術の鑑賞・創作体験の機会を提供します。 ・ 大学生による中学生の楽器演奏指導事業、能楽教室、放課後子ども教室、美術館・博物館等の講座などで、子どもたちが様々な文化芸術を体験できるようプログラムを提供します。	(2) 芸術家の育成支援 ・ 芸術家を育成支援するために、成果発表の場となる展覧会やコンサートなどを継続的に開催します。 ・ 山岳写真、自然写真分野の新人発掘を目的に、「田淵行男賞写真作品公募」を定期的に行います。	(3) 専門的な人材の確保 ・ 文化施設の管理運営、マネジメントにあたる人材、さらに学芸員や司書、社会教育主事など文化芸術に携わる専門的な人材を確保し、市民の文化芸術活動を支えます。	(4) 生涯学習リーダーバンクの充実と活用 ・ 生涯学習リーダーバンクを充実し、文化芸術に関する登録者の活躍の場を広げ、文化芸術活動に取り組む市民の技術の向上に努めます。	
	(5) ボランティアの育成 ・ 文化施設において活動を支えるボランティアを育成します。また、そうした人材が活躍できる場を確保します。				
実施事業評価及び課題	<p><b>【実施事業】</b></p> <p>(1) 毎年、小中学校2校において能楽教室を開催し、伝統芸能に接する機会を設けている(文化課)。  (1) 市内の美術館博物館等から学校に作品を持ち寄り、学校ミュージアムを年2校ずつ実施している(文化課)。  (1) 小学生が美術館や博物館に足を運んでいただけるよう、実行委員会主催でミュージアムパスポート、ミュージアムスタンプラリーなどの事業を実施している(文化課)。  (1) 東京藝術大学交流事業を、穂高東中・西中吹奏楽部対象事業から、市内全中学校吹奏楽部対象に拡げた(文化課)。  (1) 早春賦音楽祭において、小中学生のステージを設けるなど発表機会の充実・拡大を目指した(文化課)。  (1) 豊科近代美術館で、中高美術部展を開催し発表機会の充実を目指した(文化課)。  (1) 豊科郷土博物館主催で、市内小学校へ出向いて「昔の暮らし体験教室」や、「縄文土器をつくろう！」などの講座を開催した(文化課)  (2) 穂高交流学習センターで、あづみの新進公開オーディションで選出された方々のコンサートを開催している(図書館交流課)。  (2) 山岳写真、自然写真分野の新人発掘を目的に、3年ごとに田淵行男賞写真作品公募を実施している(文化課)。  (2) 安曇野高橋節郎記念美術館南の蔵、貞享義民記念館企画展示室などを利用して地域作家に発表の機会を設けている(文化課)。  (3) 公共図書館の図書館司書について、待遇改善を図るとともに安定雇用と研修などを通じたスキルアップを図るための取り組みを行っている(図書館交流課)。  (3) 民具の扱い方や土器の作り方といったノウハウを職員間で(次の世代の職員へ)引き継いでいる(文化課)。  (3) 市内美術館博物館が地域の核となるよう、勤務する学芸員らを対象とした学芸員研修会を開催し、資質の向上を図っている(文化課)。  (4) 生涯学習リーダーバンクの要綱を改正し、更新制度と登録推進期間を設けた(生涯学習課)。  (4) 有償ボランティアとして音響照明スタッフ、レセプションистを公募し、交流学習センターの貸館事業や自主事業を支えていただいている(図書館交流課)。  (5) 読み聞かせボランティアや朗読ボランティアの方々に、研修の機会を提供することでスキルアップを図り、ボランティアと連携して図書館事業を行っている(図書館交流課)。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>(3) (5) H27.11策定の「安曇野市新市立博物館構想」において、準備段階からの人材の確保及び育成を掲げた。体制作りが課題となる(文化課)。</p>				

安曇野市文化振興計画施策評価シート

主要施策	5 育てたい安曇野の文化			
施策	2 地域文化の創造			
	安曇野の風土と先人たちの営みによって培われ育まれてきた文化を土台に、新たな安曇野の文化、個性あふれる魅力的な文化を創造していくことが大事です。そのために必要な環境の整備と文化を支える協働の仕組みづくりを推進します。			
具体的な取り組み	(1) 協働による地域文化学習 ・ 郷土安曇野について、市民と協働で学習を深めます。また、その成果をさまざまな方法で発信します。 ・ 図書館や博物館の地域研究資料を充実し、市民の学習を支援します。	(2) 文化芸術関連団体との連携 ・ 市民グループをはじめ芸術文化協会、安曇野アートライン推進協議会、安曇野スタイルネットワークなど諸団体と連携・協働して文化芸術活動を推進します。	(3) 支援環境の整備 ・ 企業のメセナ活動など、文化活動を行う主体を地域社会全体が幅広く支援できるよう、望ましい環境の整備に努めます。	(4) 安曇野文化財団構想 ・ 安曇野市の文化振興の一翼を担う組織として、市の外郭団体である財団法人豊科文化財団の(仮)安曇野市文化財団への発展改組並びに自主事業の充実を促します。
実施事業評価及び課題	<p><b>【実施事業】</b></p> <p>(1) H27安曇野検定合格者を対象とした「ブラッシュアップ講座」において、グループ学習を行い成果発表会を開催している(生涯学習課)。</p> <p>(1) 図書館において、地域研究資料の収集を積極的に行っている(図書館交流課)。</p> <p>(1)(2) 「安曇野の系譜を探る会」や「三郷郷土研究会」といった市民団体からの要請に応じる形で博物館職員等が講師を務めている(文化課)。</p> <p>(2) 各地域の芸術文化協会に、運営補助金を交付し支援している(生涯学習課)。</p> <p>(2) 子供たちが良い音楽に触れる機会をと「童謡祭り」を開催している。あわせて市内小中学生を対象とした「作詞・作曲コンクール」を実施し、多くの子どもたちの音楽への興味と関心を高めている(豊科公民館)。</p> <p>(2) H10から豊科地域で活躍するコーラスグループの日ごろの練習成果の披露と交流促進を目的に「豊科地域コーラスグループ交流発表会」を行っている(豊科公民館)。</p> <p>(2) 堀金文化祭の中で、堀金芸術文化協会を中心に据えた実行委員会で「堀金芸能祭」を実施し、堀金地域における文化振興の機会を設けている(堀金地域課)。</p> <p>(2) 明科芸術文化協会と連携・協働し、明科地域文化祭において運営等に協力し合い、日頃の練習成果(芸能ほか)を発表し、盛大に開催している(明科公民館)。</p> <p>(2) 穂高文化協会と連携し、協会加入団体及び広く地域住民の学習・成果の発表の場として、穂高文化祭を開催している(穂高地域課 穂高公民館)。</p> <p>(2) 穂高交流学習センターにて、安曇野スタイルネットワークと安曇野スタイル展を開催している(図書館交流課)。</p> <p>(2) 穂高交流学習センターにて、安曇野案内人倶楽部と安曇野さんぽ市を開催している(図書館交流課)。</p> <p>(2) 三郷芸術文化協会を実行委員に据え「三郷祭」と冠のついた文化展や芸能祭を実施し、三郷地域における文化振興の機会を設けている(三郷公民館)。</p> <p>(2) 安曇野アートライン加盟施設で、サマースクール、ナイトミュージアムなどの共同事業を行っている(文化課)。</p> <p>(2) 市民、諸団体と実行委員会を組織し、早春賦音楽祭、信州安曇野薪能などの事業を行っている。また、文化芸術活動を行う団体等に対し、補助金を交付している(文化課)。</p> <p>(3) 企業からの協賛を得て、薪能などの事業を実施している(文化課)。</p> <p>(3) ハーモニックコンサートなど、企業が行うメセナ活動に協力している(学校教育課・文化課)。</p> <p>(4) H24.4、公益法人制度改革にあわせ、財団法人豊科文化財団が公益財団法人安曇野文化財団に発展改組した。また、従来、豊科地域内の施設のみを指定管理していたが、H26から穂高陶芸会館の指定管理を受けるなど、事業の幅を広げた(文化課)。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>(2) 芸術文化協会は会員の減少、高齢化が進行しており、活性化及び加入者増に向けての施策を行う必要がある(生涯学習課)。</p>			



安曇野市文化振興計画施策評価シート

5-3

主要施策	5 育てたい安曇野の文化						
施策	3 文化資源の発掘と活用				<p>大勢の人に安曇野の文化を知っていただくこと、ふれていただくことは、多様で広範な文化芸術活動の展開に貢献するものです。情報通信技術を活用した情報発信などに努め、市民をはじめ、観光客、友好都市住民、外国人らとの出会いと交流を深めます。また、文化芸術が新たな需要や高い付加価値を生み出す源泉であることにかんがみ、産業活動との連携を推進していきます。</p>		
具体的な取り組み	<p>(1) 情報の収集と発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報通信技術 (ICT) など様々な媒体を活用しながら、文化芸術に関するさまざまな情報の収集と発信に努めます。</li> <li>市が所蔵する文化財や美術品等のデータベースを作成し、公開することを目指します。</li> </ul>	<p>(2) 商業・観光との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の伝統文化や文化財を活用した観光振興を推進し、文化資源から付加価値を生み出します。</li> <li>文化芸術を高め、地域の活性化につなげます。</li> </ul>	<p>(3) 友好都市・姉妹都市との文化交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友好都市や姉妹都市等との文化交流を促進し、異なった文化についての相互理解を深め友好の絆を深めます。また、連携を深め、所蔵する美術作品の相互貸借や共同事業、巡回事業の実施を目指します。</li> </ul>	<p>(4) 多様な文化との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な文化施策を図るため、国・長野県・近隣市町村・諸機関・諸団体との連携や交流を深めます。</li> <li>交流機会を通じ、安曇野の文化の再認識と、その魅力の発信に努めます。</li> <li>外国籍市民や旅行者への文化情報の提供や各種事業における交流機会の充実に努め、国際性豊かな市民感覚を育みます。</li> </ul>			
実施事業評価及び課題	<p><b>【実施事業】</b></p> <p>(1) 各館がホームページを開設し、展示資料やイベントなどの情報を発信している(文化課)。</p> <p>(1) 田淵行男記念館では、H24から資料のデータベース化と公開を始めた。他館では、H27から統一システムによるデータベース化の検討を始めている。実現には、新市立博物館構想との調整や、費用、入力体制等の課題がある(文化課)。</p> <p>(1) (2) H27.11 「新市立博物館構想」を策定し、事業・活動構想の中で発信・連携事業を取り上げ、「発信」の基本的な考え方、「発信」の活動内容について謳った。具現化を図りたい(文化課)。</p> <p>(2) 高橋節郎記念美術館が実施する「そば猪口アート展」は 新そばと食の感謝祭に参加するなどの連携を図っている(文化課)。</p> <p>(2) 「信州安曇野薪能」において、H27より市外からの観客の方々に提供するため、「安曇野尽し早春弁当」を改良し「安曇野尽し夏版弁当」の開発を行なった(商工労政課)。</p> <p>(2) 安曇野の食文化についての郷土博物館の企画に参加し、江戸期の殿様食の再現を、商工会飲食部会の協力により、レシピを基に再現した(商工労政課)。</p> <p>(2) H25.3 安曇野市観光振興ビジョンを策定した。「安曇野暮らしツーリズム」を観光振興の理念とし、「水・農・歴史・文化・芸術・食・コミュニティなど地域資源」を活用し、市民と来訪者の交流を通じ「安曇野暮らし」を知り、広く伝え、磨きをかけ、さらに輝かせていくことで、交流人口の拡大を推進している。歴史・文化、芸術をテーマにした戦略プロジェクト(施策)では、「歴史・文化、芸術を継承・創出します」「歴史・文化、芸術と連携します」「歴史・文化、芸術体験を充実させます」「安曇野の歴史・文化、芸術を積極的にPRします」を掲げた(観光交流促進課)。</p> <p>(2) 毎年、穂高川右岸早春賦歌碑前で「早春賦まつり」を開催している。市内3小学校やコーラスグループが参加し、幅広い世代、来訪者が早春賦を通じた交流を行っている(観光交流促進課)。</p> <p>(2) 安曇族サミットの開催など安曇族や八面大王など歴史ロマンに関連した誘客(交流人口の拡大)を推進している(観光交流促進課)。</p> <p>(2) 穂高神社や満願寺・松尾寺などの神社仏閣とそこでの祭礼、保高宿などのまちなみ、歴史や史跡等を活用した誘客(交流人口の拡大)を推進している(観光交流促進課)。</p>						

<p>実施事業 評価及び 課題</p>	<p>(2) 田園風景や屋敷林、農業用水路など風土や民俗に関連した誘客、味噌づくりや漬物づくりなど農業体験を通じた誘客を推進している(観光交流促進課)。  (2) 礫山美術館・高橋節郎記念美術館をはじめ市内に多い美術館を活用した誘客(鑑賞や体験を通じた交流人口の拡大)を推進している(観光交流促進課)。  (2) 文化財等の観光資源に、東屋・ベンチなどの休息施設やトイレを整備し、利便性の向上を図っている(観光交流促進課)。  (2) 観光情報として、文化芸術についても情報化を推進し、国内外へ発信(WiFiを含む)を図っている(観光交流促進課)。  (2) 文化財等の観光資源に対し、周遊バス運行、歩道の整備、ユニバーサルデザインの推進などの環境整備を図っている(観光交流促進課)。  (2)(4) 安曇野に点在する美術館と行政で安曇野アートを組織し、共同で事業を実施したり、観光客等の誘客を図っている(文化課)。  (3)(4) 武蔵野市への芸術文化の旅(武蔵野文化事業団主催事業観賞)を開催している(政策経営課)。  (3)(4) 安曇野市への武蔵野市民ツアーをとおして本市文化の紹介と市民交流をしている(政策経営課)。  (3)(4) 武蔵野市立小中学校美術展への本市豊科地域小中学校生徒作品(絵画)を展示した(学校教育課・政策経営課)。  (3)(4) 福岡市東区との青少年交流事業(相互訪問)をとおして、相互文化・歴史の研鑽と市民交流をしている(政策経営課)。  (3)(4) 江戸川区民まつりで、本市芸能グループのステージ発表、区内団体との交流(ダンス交流)をしている(生涯学習課)。  (3)(4) 三郷市文化祭、三郷町民文化祭において、本市三郷小中学校生徒作品(絵画、書道)を展示し交流している(学校教育課)。  (3)(4) 本市三郷産業展で、三郷市・三郷町小中学校生徒作品を展示している(学校)。  (3)(4) 三郷・安曇野(みさと・さんごう・あづみの)友好都市交流推進協議会主催の「三郷・安曇野住民ふれあい事業」をとおして本市文化の紹介と市民交流をしている。(政策経営課)。  (3)(4) 真鶴町との青少年交流事業(相互訪問)をとおして、相互文化・歴史の研鑽と市民交流をしている(政策経営課)。  (3)(4) 東金市の青少年体験事業の受入れをとおしての本市の文化を紹介している(生涯学習課、政策経営課)。  (3)(4) 高橋節郎記念美術館「そば猪口アート展」を、山形県白鷹町、愛知県瀬戸市に巡回し、安曇野の文化を発信している(文化課)。  (3)(4) 愛知県豊田市美術館、長野県信濃美術館等と実行委員会を組織し、巡回で「生誕百年高橋節郎展」を開催した(文化課)。  (3)(4) 海外姉妹都市訪日団へ日本文化の紹介をした(政策経営課)。  (3)(4) 海外姉妹都市訪日団による民俗音楽コンサートの開催及び市内グループとのジョイントコンサートを開催した(政策経営課)。  (4) 国営アルプスあづみの公園、県営烏川緑地、観光事業者等と会議を持ち、情報交換等を行っている(文化課)。  (4) 豊科郷土博物館で長野県立歴史館との連携講座を実施し、県レベルの広い視野からの安曇野市像を市民に伝えるよう工夫している(文化課)。  (4) 豊科近代美術館「宮芳平展」、高橋節郎記念美術館「生誕百年高橋節郎展」「そば猪口アート展」など、全国の美術館と連携し巡回展を開催している(文化課)。  (4) 本市出身のJICAボランティアによる報告会開催並びに赴任地に関する展覧会を開催している(政策経営課)。  (4) 民間団体による外国人交流を支援している(政策経営課)。  <b>【課題】</b>  (1)(2) 「新市立博物館構想」で謳った「発信の基本的な考え方」、「発信」の活動内容についての具現化(文化課)。  (2) 既存の観光関連事業者の枠組みを超えた、「安曇野暮らしリズム」のプラットフォームとなる推進組織の構築が課題となっている(観光交流促進課)。</p>
-----------------------------	--